

藤沢市  
介護保険サービス利用状況調査  
報告書

令和2年3月

藤 沢 市



# 目 次

<b>第 1 章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	2
2. 調査対象及び調査方法 .....	2
3. 回収状況 .....	2
4. 調査項目 .....	3
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	3
<b>第 2 章 調査結果の詳細</b> .....	5
1. 家族や生活状況について .....	6
(1) 調査票の回答者 .....	6
(2) 性別 .....	6
(3) 年齢 .....	7
(4) 居住地区 .....	8
(5) 家族構成 .....	9
(6) 日中独居の状況 .....	11
(7) 介護度 .....	12
(8) 施設等への入所・入居の申し込み状況 .....	14
(9) 現在抱えている傷病 .....	17
(10) 歯の本数 .....	19
(11) 入れ歯の使用状況 .....	20
(12) 食事をかんで食べる時の状態 .....	21
(13) 要介護認定を申請したときの目的 .....	23
2. 家族や親族からの介護について .....	25
(1) 家族や親族からの介護・介助の頻度 .....	25
(2) 主な介護・介助者の続柄 .....	26
(3) 主な介護・介助者との同居の有無 .....	27
(4) 主な介護・介助者の年齢 .....	28
(5) 主な介護者から受けている介護・介助 .....	30
(6) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族 .....	31
3. 主な介護者について .....	32
(1) 主な介護者が不安に感じる介護等 .....	32
(2) 主な介護者の勤務形態 .....	34
(3) 主な介護者の働き方の調整等 .....	35
(4) 主な介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援 .....	36
(5) 主な介護者の就労の持続可能性 .....	38
(6) 主な介護者の「ダブルケア」の状況 .....	40
(7) 市へ最も望む支援 .....	42

4. 介護保険サービスについて	44
(1) 介護保険サービス利用の有無	44
(2) 介護保険サービスを利用していない理由	45
(3) 介護保険サービスの利用状況と満足度	47
(4) ケアプランやケアマネジャー等の満足度	49
(5) ケアプランやケアマネジャーに対する不満	49
(6) 今後利用したいサービス	51
(7) 利用している介護保険外サービス	53
(8) かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無	55
(9) 訪問診療の受診状況	56
(10) 自宅を訪問している方	57
(11) 介護保険料の負担感	58
(12) 今後の介護保険とサービスのあり方	58
(13) 介護保険サービス利用時の自己負担割合	59
(14) 介護保険サービスの利用時の自己負担の負担感	59
5. 生きがい・楽しみについて	60
(1) 生きがい・今後してみたいこと	60
6. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて	64
(1) 外出頻度	64
(2) 現在の住居であれば助かる地域の手助け	66
7. 介護予防・日常生活支援総合事業の検討	69
(1) 通いたいと思う交流の場	69
(2) 通いの場へ自身で通うことの可否	71
(3) 通いの場への移動時間及び移動手段	72
(4) 通いの場に自身で通えない理由	73
(5) 通いの場に通うための必要な支援	73
8. 介護保険制度全体について	74
(1) 健康、福祉、介護のことで困ったときの相談先	74
(2) 「いきいきサポートセンター」の認知度	75
(3) いきいきサポートセンターの利用に対する満足度	77
(4) いきいきサポートセンターを知ったきっかけ	78
(5) 認知症の方に対する重点的施策	79
(6) 人生最期の時に話しておくこと	80
(7) 最期を過ごしたい場所	81
(8) 自由意見	83

# 第1章 調査の概要

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査実施の目的

介護保険事業は、3年ごとに介護保険事業計画の見直しが行われ、第8期介護保険事業計画（令和2年度から令和4年度＝第8期）の策定に向けた基礎資料の調査が必要となり、介護サービスの質の向上とニーズを適確に把握することが求められる。

こうした観点から、市内13生活圏域における介護サービスの利用者及び未利用者を対象として、介護保険について「どのような認識や要望をもっているのか」「サービス利用に際して問題が生じていないか」などの実態を適確に把握し、次期介護保険事業計画の改定に向けた基礎資料として活用するためにアンケート調査を実施することが求められる。

また、この調査結果は、過去の調査結果との比較を基に本市の介護保険をさらに使いやすい制度とするために、サービスを提供する事業者に対して利用者ニーズの適切な情報提供等を図ることを目的とする。

### 2. 調査対象及び調査方法

調査対象	要介護（要支援）認定者のうち、介護保険施設入所者を除く被保険者の中から、13生活圏域ごとに、3,000人を原則無作為に抽出
調査方法	郵送による発送・回収
調査期間	令和2年1月17日(金)～2月5日(水)

### 3. 回収状況

地区名	調査数（人）	回収数（人）	回収率（%）
片瀬	177	103	58.2%
鶴沼	418	233	55.7%
辻堂	278	202	72.7%
村岡	168	103	61.3%
藤沢	356	243	68.3%
明治	179	61	34.1%
善行	328	150	45.7%
湘南大庭	205	125	61.0%
六会	240	141	58.8%
湘南台	177	112	63.3%
遠藤	99	28	28.3%
長後	231	140	60.6%
御所見	144	67	46.5%
(その他・不明)	—	55	
合計	3,000	1,763	58.8%

## 4. 調査項目

- ・被保険者本人や家族の生活状況について
- ・家族や親族からの介護について
- ・主な介護者について
- ・介護保険サービスについて
- ・生きがい・楽しみについて
- ・普段の生活の中での不安や心配ごとについて
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の検討
- ・介護保険制度全体について

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・報告書に掲載されている用語は次の通りである。

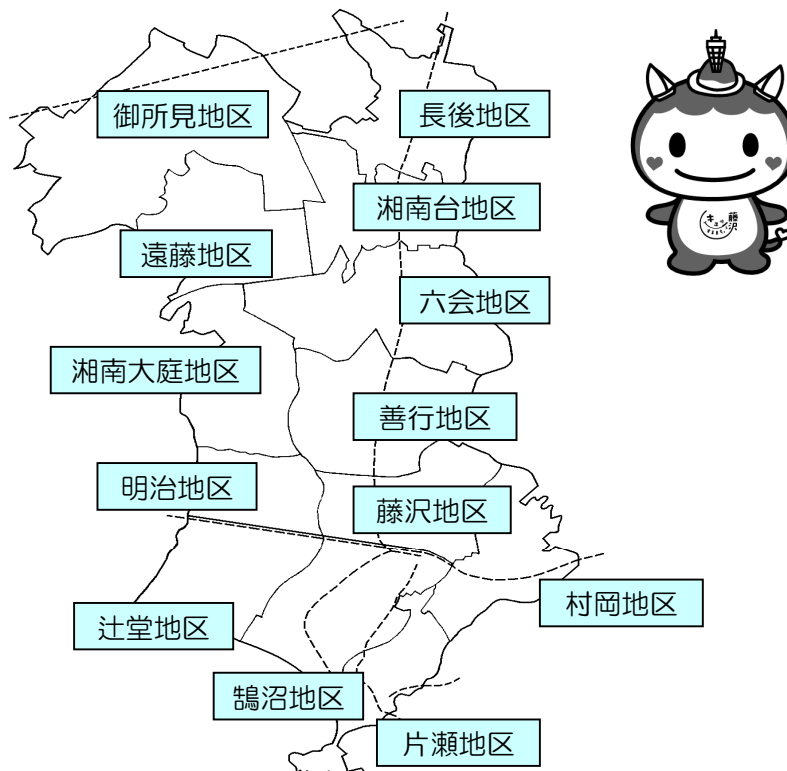
### 【介護度別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
軽度	問7 介護度で「要支援1」「要支援2」「要介護1」のいずれか
中度	問7 介護度で「要介護2」「要介護3」のいずれか
重度	問7 介護度で「要介護4」「要介護5」のいずれか

### 【介護者の年齢別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
40代以下	問17 介護者の年齢で「20歳未満」「20代」「30代」「40代」のいずれか
50・60代	問17 介護者の年齢で「50代」「60代」のいずれか
70歳以上	問17 介護者の年齢で「70代」「80歳以上」のいずれか

【日常生活圏域別】



掲載の地区名	左記に該当する地区
御所見	用田・葛原・菖蒲沢・打戻・瀬郷・宮原
長後	長後・高倉・下土棚
遠藤	石川5～6丁目・石川の一部・遠藤の一部
湘南台	今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・円行2丁目・石川の一部・桐原町・湘南台1～7丁目・土棚
六会	亀井野の一部・亀井野1～4丁目・今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・石川の一部・石川1～4丁目・西俣野の一部・天神町1～3丁目・遠藤の一部
湘南大庭	大庭の一部・石川の一部・遠藤の一部
善行	藤沢(北)・善行1～7丁目・本藤沢1～7丁目・善行団地・立石1～4丁目・花の木・みその台・善行坂1～2丁目・白旗1～4丁目・大庭の一部・稲荷・稲荷1丁目・亀井野の一部・西俣野の一部
明治	辻堂神台1～2丁目、辻堂新町1～4丁目・羽鳥1～5丁目・城南1～5丁目
藤沢	朝日町・藤沢(南)・藤沢1～5丁目・本町1～4丁目・鶴沼の一部・鶴沼神明1～5丁目・西富・西富1～2丁目・大鋸・大鋸1～3丁目・藤が岡1～3丁目
村岡	弥勒寺・弥勒寺1～4丁目・宮前・小塚・高谷・渡内・渡内1～4丁目・柄沢・村岡東1～4丁目・川名・川名1～2丁目
辻堂	辻堂1～6丁目・辻堂元町1～6丁目、辻堂太平台1～2丁目・辻堂東海岸1～4丁目・辻堂西海岸1～3丁目
鶴沼	鶴沼の一部・南藤沢・鶴沼東・鶴沼海岸1～7丁目・鶴沼松が岡1～5丁目・鶴沼桜が岡1～4丁目・鶴沼藤が谷1～4丁目・本鶴沼1～5丁目・鶴沼花沢町・鶴沼橋1～2丁目・鶴沼石上1～3丁目・片瀬
片瀬	片瀬1～5丁目・片瀬海岸1～3丁目・片瀬山1～5丁目・片瀬目白山・江の島1～2丁目



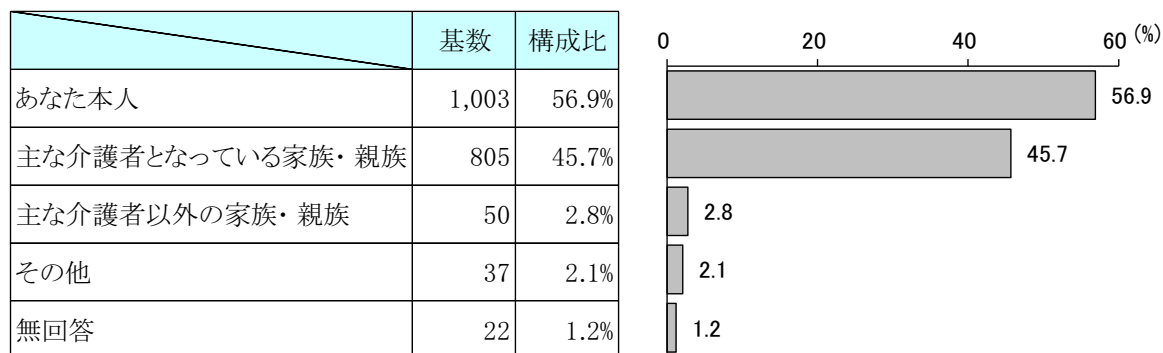
## 第2章 調査結果の詳細

## 1. 家族や生活状況について

### (1) 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

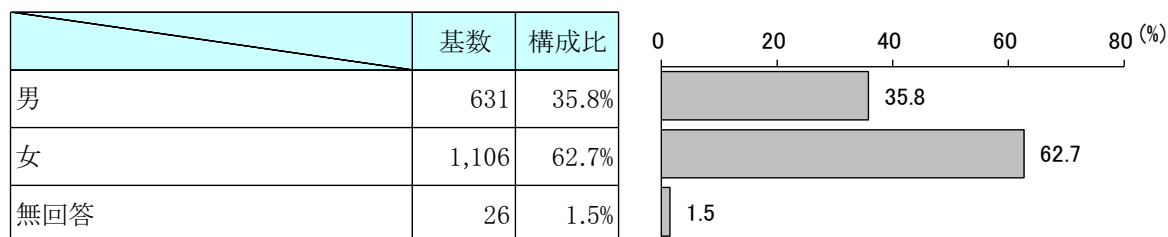
調査票の回答者は、「あなた本人」が56.9%、「主な介護者となっている家族・親族」が45.7%となっている。



### (2) 性別

問2 あなた本人の性別についてご回答ください。(1つだけ○印)

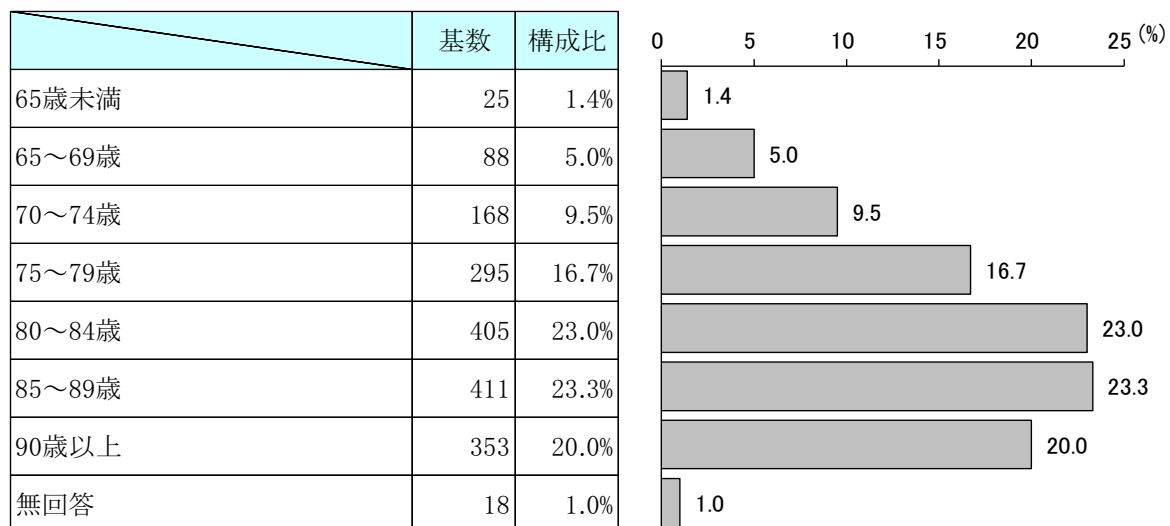
性別は、「男性」が35.8%、「女性」が62.7%となっている。



## (3) 年齢

問3 あなた本人の年齢についてご回答ください。(1つだけ○印)

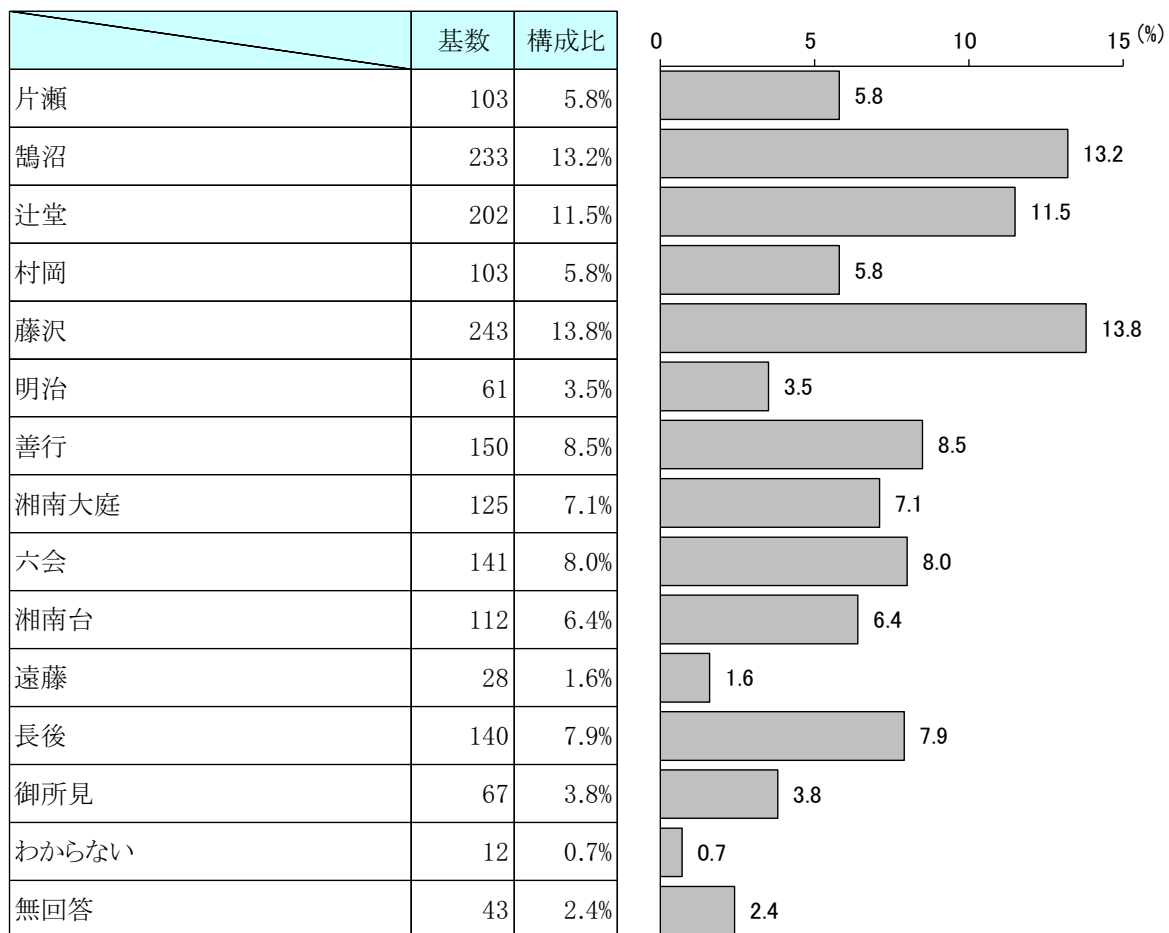
年齢は、「85～89歳」が23.3%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.0%、「90歳以上」が20.0%となっている。



(4) 居住地区

問4 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。(1つだけ○印)

居住地区は、「藤沢」が13.8%で最も多く、次いで「鶴沼」が13.2%、「辻堂」が11.5%となっている。

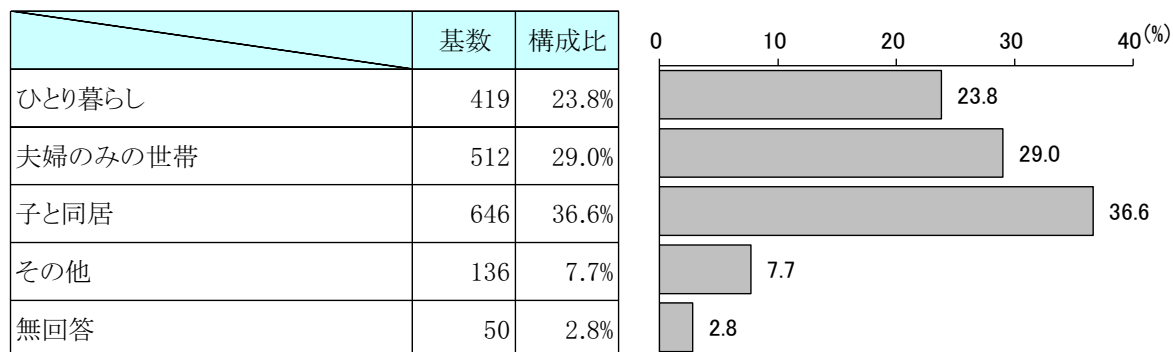


## (5) 家族構成

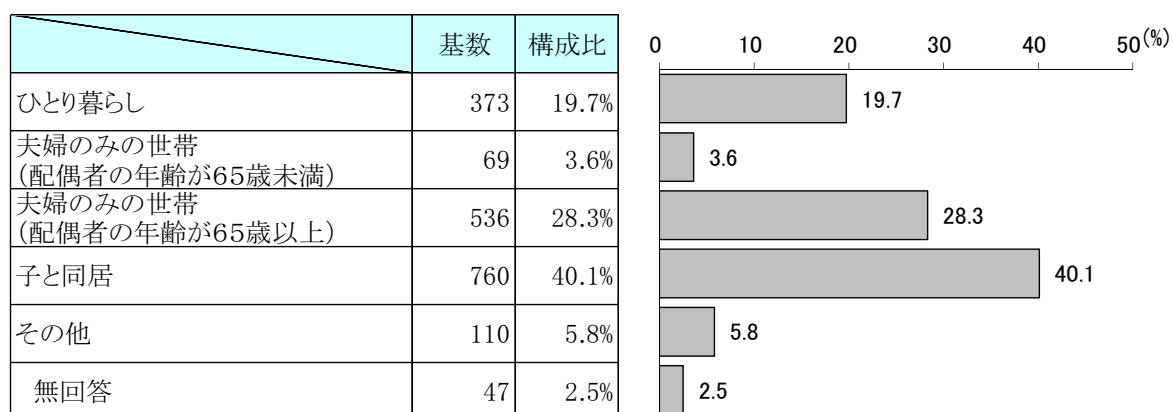
問5 あなた本人の家族構成についてご回答ください。(1つだけ○印)

家族構成は、「子と同居」が36.6%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が29.0%、「ひとり暮らし」が23.8%となっている。

前回調査結果と比較すると、「子と同居」が3.5ポイント減少し、「ひとり暮らし」が4.1ポイント増加している。



## ○前回調査結果



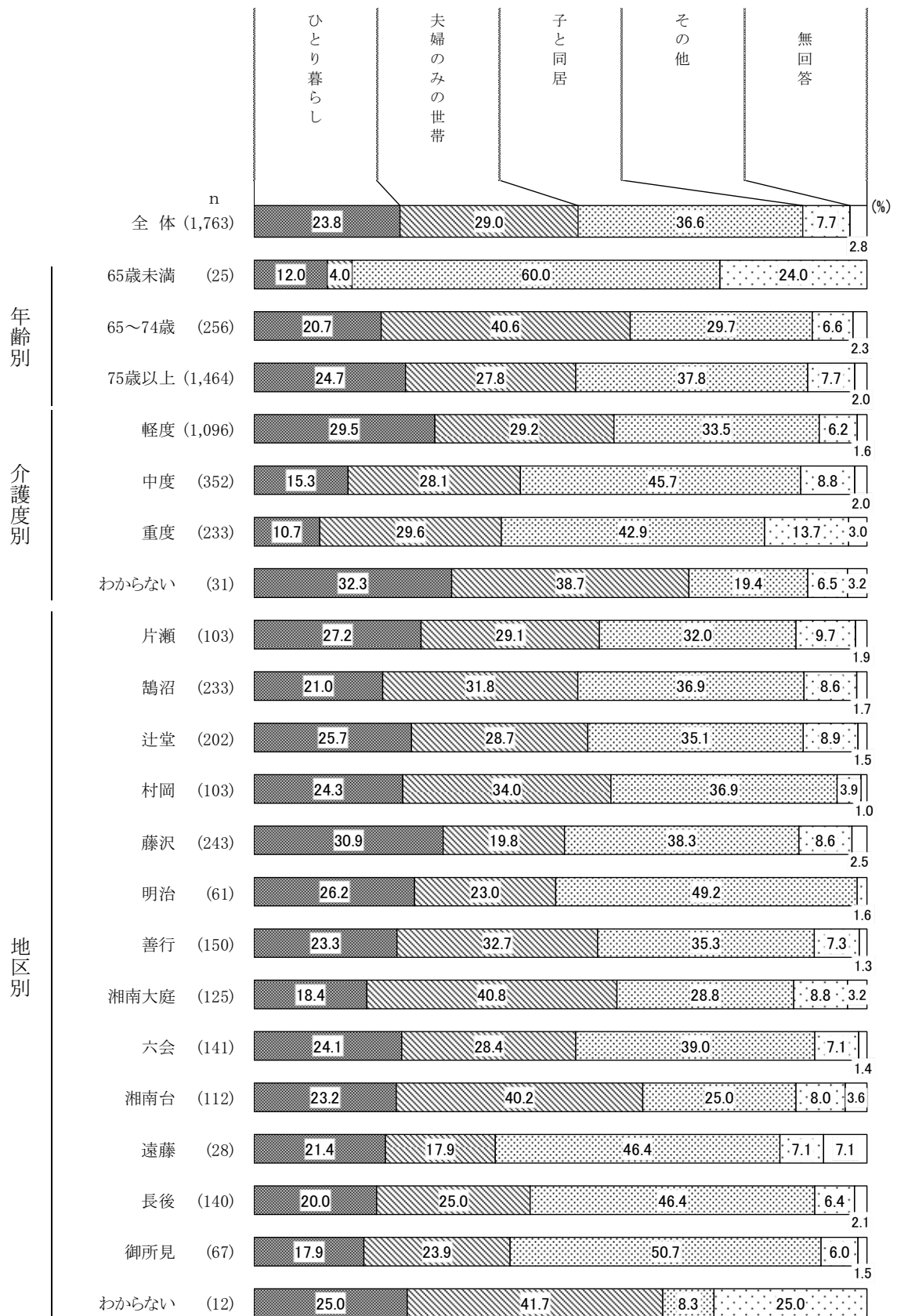
年齢別で見ると、『65歳未満』および『75歳以上』では「子と同居」がそれぞれ60.0%、37.8%で最も多くなっている。『65～74歳』では「夫婦のみの世帯」が40.6%で最も多くなっている。

介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて、「子と同居」の割合は多くなる傾向にある。

地区別で見ると、『湘南大庭』および『湘南台』では「夫婦のみの世帯」がそれぞれ40.8%、40.2%で最も多くなっている。※次ページ参照

第2章 調査結果の詳細

○家族構成／年齢別、介護度別、地区別

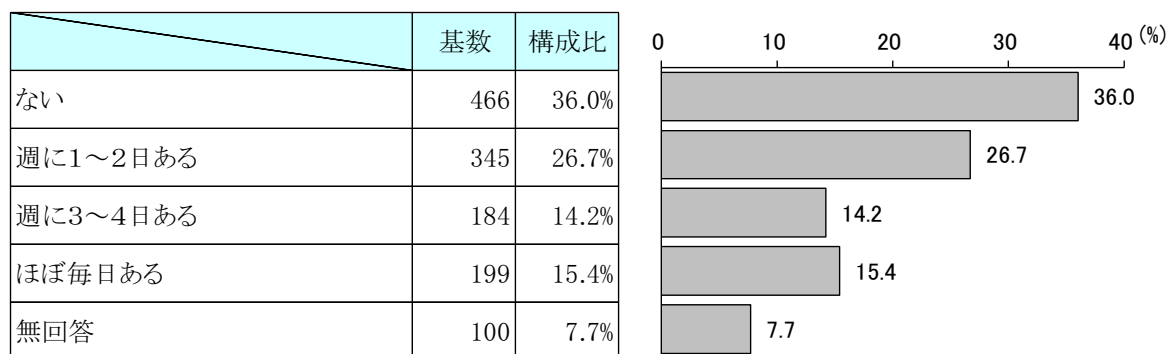


## (6) 日中独居の状況

問6 《問5で「夫婦のみの世帯（配偶者の年齢が65歳未満）」～「その他」のいずれかに回答した方のみ》

日中、一人になることはありますか。（1つだけ○印）

日中独居の状況は、「ない」が36.0%、「週に1～2日ある」が26.7%となっている。



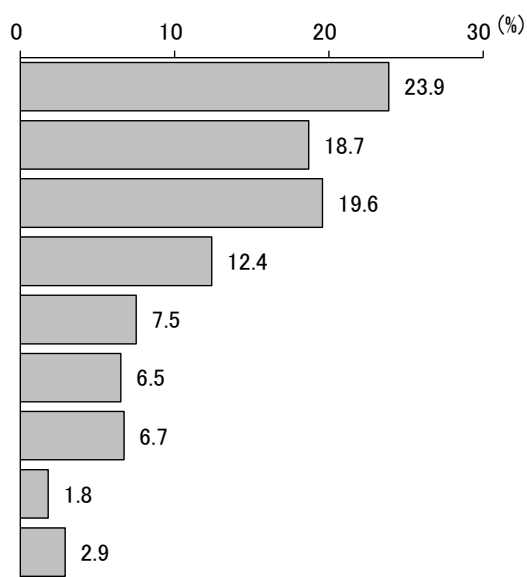
(7) 介護度

問7 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

介護度は、「要支援1」が23.9%で最も多く、次いで「要介護1」が19.6%、「要支援2」が18.7%となっている。

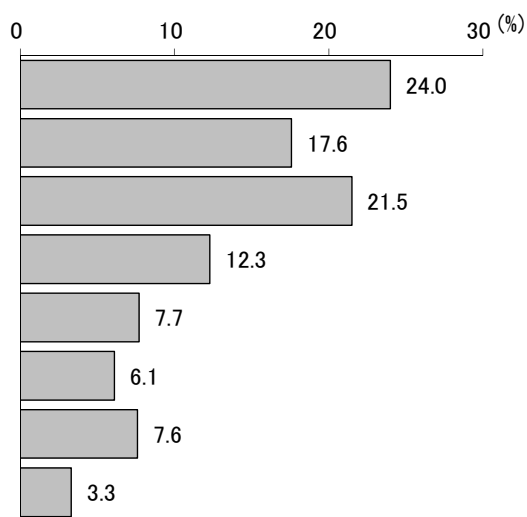
前回調査結果と比較すると、「要介護1」が1.9ポイント減少している。

	基数	構成比
要支援1	422	23.9%
要支援2	329	18.7%
要介護1	345	19.6%
要介護2	219	12.4%
要介護3	133	7.5%
要介護4	115	6.5%
要介護5	118	6.7%
わからない	31	1.8%
無回答	51	2.9%



○前回調査結果

	基数	構成比
要支援1	455	24.0%
要支援2	333	17.6%
要介護1	407	21.5%
要介護2	233	12.3%
要介護3	145	7.7%
要介護4	115	6.1%
要介護5	144	7.6%
無回答	63	3.3%



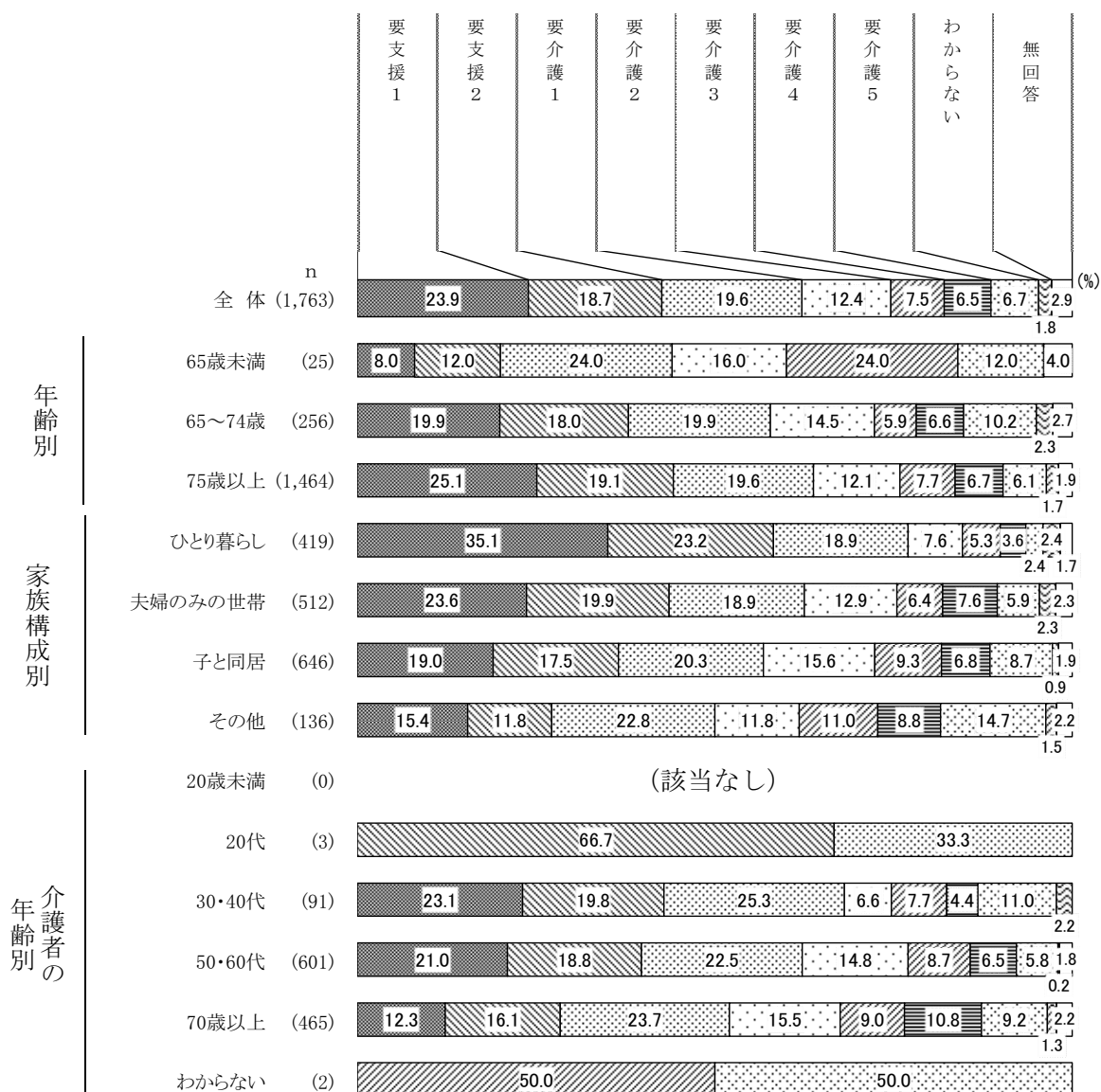


年齢別でみると、『65歳未満』では「要介護1」および「要介護3」がそれぞれ24.0%で最も多くなっている。『75歳以上』では「要支援1」が25.1%で最も多くなっている。

家族構成別でみると、『ひとり暮らし』および『夫婦のみの世帯』では「要支援1」がそれぞれ35.1%、23.6%で最も多くなっている。

介護者の年齢別でみると、いずれも「要介護1」が2割以上で最も多くなっている。

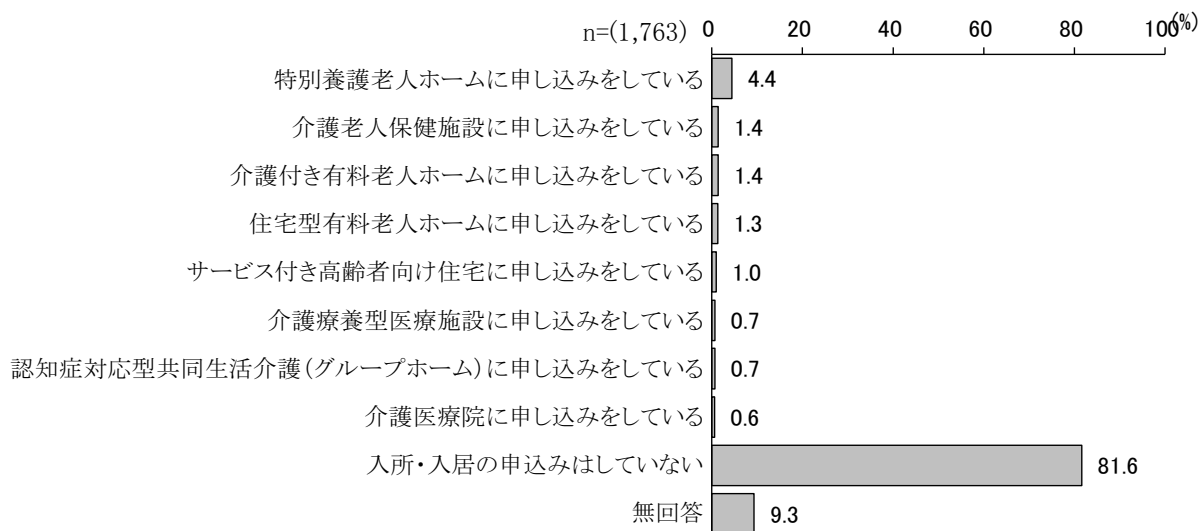
○介護度／年齢別、家族構成別、介護者の年齢別



(8) 施設等への入所・入居の申し込み状況

問8 施設等への入所・入居の申し込み状況について、ご回答ください。また、申し込みをしている方は、何カ所申し込みをしているかもご回答ください。(複数回答可)

施設等への入所・入居の申し込み状況は、「特別養護老人ホームに申し込みをしている」が4.4%、次いで「介護老人保健施設に申し込みをしている」、「介護付き有料老人ホームに申し込みをしている」がそれぞれ1.4%となっている。一方で、「入所・入居の申込みはしていない」は81.6%となっている。



家族構成別でみると、いずれも「入所・入居の申込みはしていない」が最も多く、7割以上となっている。

介護度別でみると、『重度』では「特別養護老人ホームに申し込みをしている」が16.7%となっている。

介護者の年齢別でみると、いずれも「入所・入居の申込みはしていない」が最も多く、8割以上となっている。※次ページ参照

○施設等への入所・入居申し込み状況／家族構成別、介護度別、介護者の年齢別

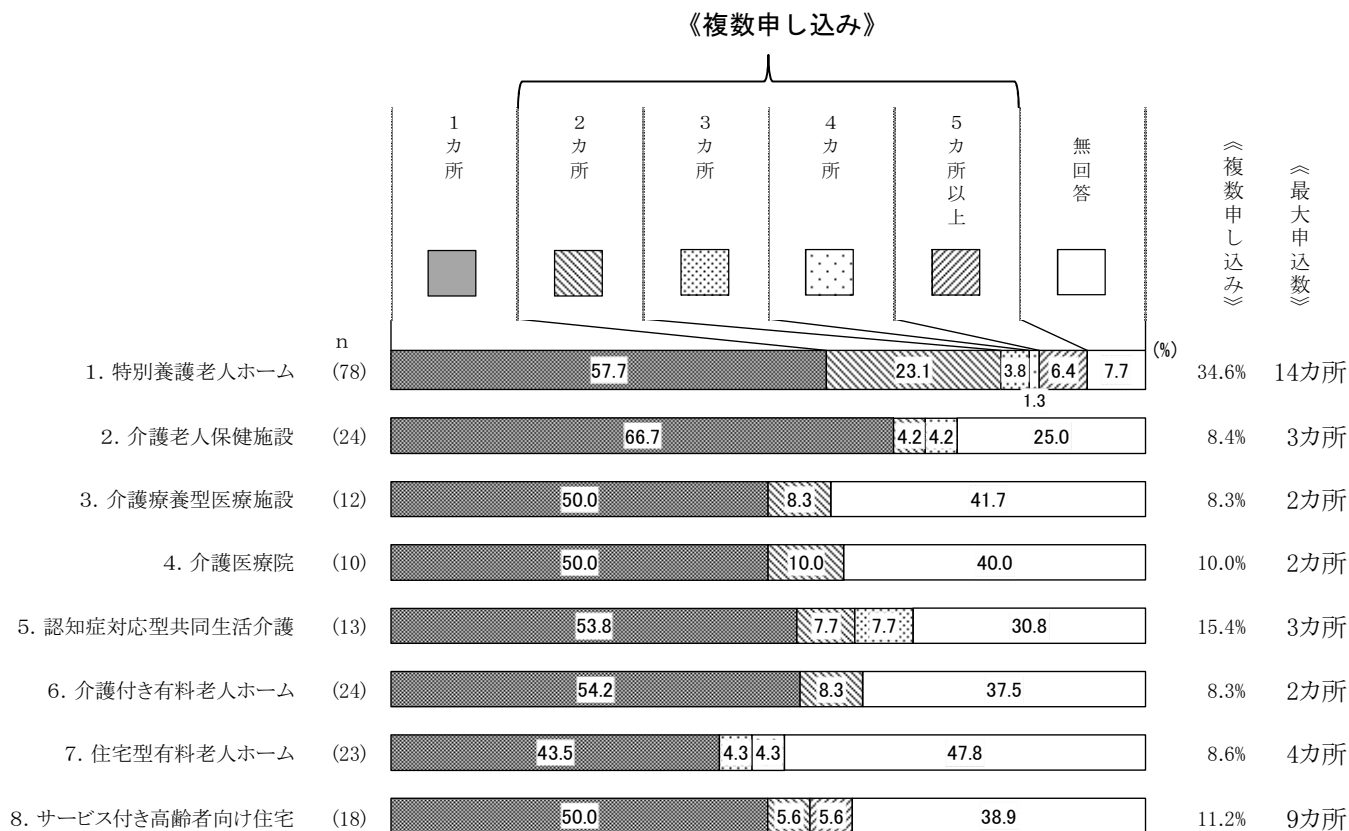
	調査数 (件)	特別養護老人ホームに申し込みをしている	介護老人保健施設に申し込みをしている	介護付き有料老人ホームに申し込みをしている	住宅型有料老人ホームに申し込みをしている	サービス付き高齢者向け住宅に申し込みをしている	(%)
全体	1763	4.4	1.4	1.4	1.3	1	
問5 家族構成別							
ひとり暮らし	419	2.1	0.7	1.7	2.4	1.7	
夫婦のみの世帯	512	4.3	1.2	0.4	0.8	0.4	
子と同居	646	5.7	2.2	1.5	1.1	0.9	
その他	136	5.9	0.7	2.9	0.7	0.7	
問7 介護度別							
軽度	1096	0.9	0.8	0.9	1	1	
中度	352	7.4	2.6	2.3	1.7	0.9	
重度	233	16.7	1.7	2.1	1.7	0.4	
わからない	31	-	-	-	-	-	
問17 主な介護者の方の年齢							
40歳以下	94	7.4	3.2	3.2	2.1	2.1	
50・60代	601	4.5	1.8	2.3	1.3	1.3	
70歳以上	465	6.2	1.1	0.2	0.4	0.2	
わからない	2	50	-	-	50	-	

	調査数 (件)	介護療養型医療施設に申し込みをしている	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に申し込みをしている	介護医療院に申し込みをしている	入所・入居の申込みはしていない	無回答	(%)
全体	1763	0.7	0.7	0.6	81.6	9.3	
問5 家族構成別							
ひとり暮らし	419	-	0.5	-	79.7	11.5	
夫婦のみの世帯	512	0.6	0.6	0.6	85.4	8.4	
子と同居	646	1.2	0.9	1.1	83.7	5.7	
その他	136	0.7	1.5	-	77.2	9.6	
問7 介護度別							
軽度	1096	0.4	0.5	0.5	87.9	8.4	
中度	352	0.9	1.4	0.6	74.1	9.1	
重度	233	1.7	0.9	0.9	70.8	6	
わからない	31	-	-	-	87.1	12.9	
問17 主な介護者の方の年齢							
40歳以下	94	1.1	2.1	2.1	80.9	3.2	
50・60代	601	0.7	0.7	0.7	82.2	7.5	
70歳以上	465	0.6	1.1	0.4	84.5	6.7	
わからない	2	-	-	-	-	-	

## 第2章 調査結果の詳細

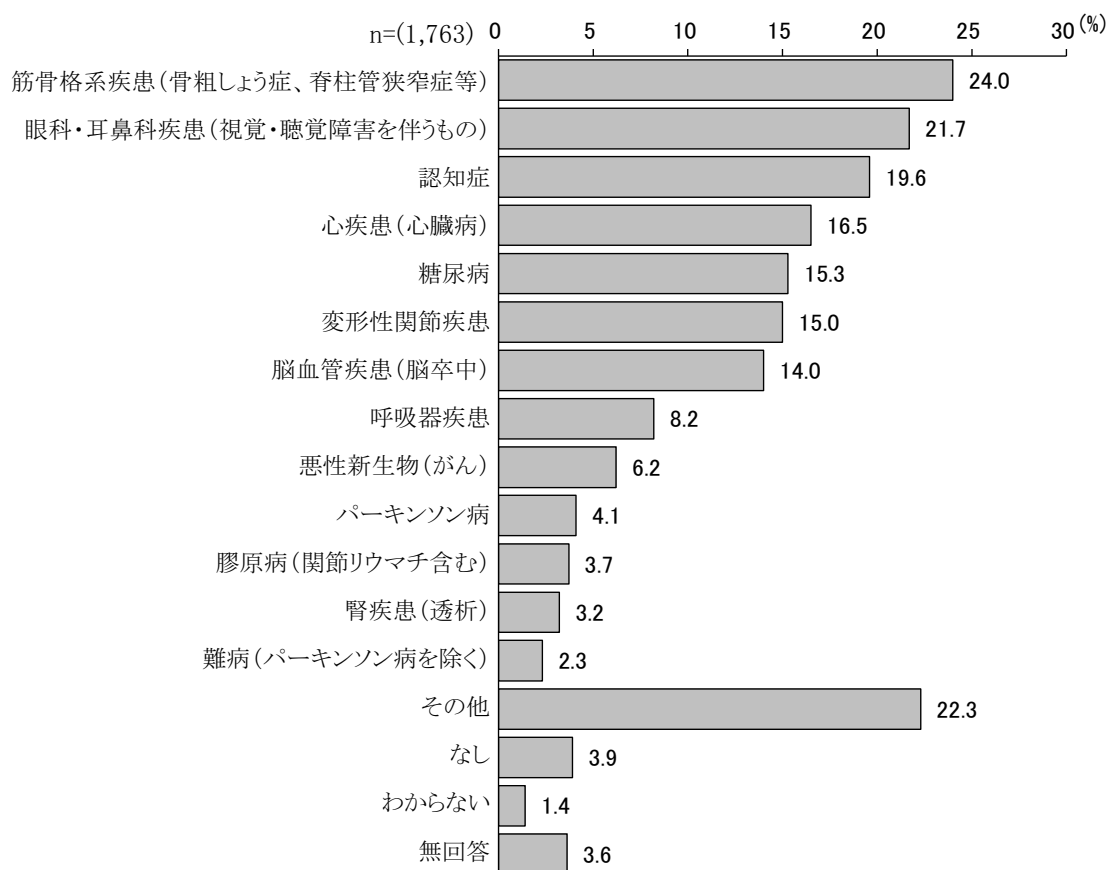
施設等への入所・入居の申し込み箇所数は、7.住宅型有料老人ホームを除く各施設で「1カ所」が最も多くなっている。申し込みをしている数が2カ所以上の《複数申し込み》の割合をみると、「特別養護老人ホーム」が34.6%と最も多く、次いで「認知症対応型共同生活介護」が15.4%、「サービス付き高齢者向け住宅」が11.2%となっている。最大申込数をみると、「特別養護老人ホーム」が14カ所と最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が9カ所、「住宅型有料老人ホーム」が4カ所となっている。



## (9) 現在抱えている傷病

問9 あなた本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数回答可)

現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が24.0%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が21.7%、「認知症」が19.6%となっている。



第2章 調査結果の詳細

性・年齢別でみると、男性では『65～74歳未満』の「脳血管疾患（脳卒中）」が29.8%で最も多くなっている。女性では『75歳以上』の「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が29.3%で最も多くなっている。

介護度別でみると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」では介護度が重くなるにつれて割合は少なくなる傾向にあるが、「認知症」は介護度が軽度から中度、重度になると割合が多くなっている。

○現在抱えている傷病／性・年齢別、介護度別

	調査数 (件)	窄し 症等 (件)	筋骨 格系 疾患 (骨 粗 しょう 症、 脊 柱 管 狭 窄 症 等)	伴 (一 視 覚 ・ 耳 鼻 科 疾 患 を 伴 う もの )	認 知 症	心 疾 患 (心 臓 病 )	糖 尿 病	変 形 性 関 節 疾 患	中 脳 血 管 疾 患 (脳 卒 中 )	呼 吸 器 疾 患	悪 性 新 生 物 (が ん )	(%)
全 体	1763	24.0	21.7	19.6	16.5	15.3	15.0	14.0	8.2	6.2		

性・年齢別

男性 65歳未満	8	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	
男性 65～74歳	131	9.9	15.3	9.9	10.7	19.1	4.6	29.8	3.8	9.2		
男性 75歳以上	492	19.3	22.6	18.1	21.7	21.7	7.1	19.5	11.8	8.1		
女性 65歳未満	17	23.5	11.8	35.3	5.9	-	17.6	11.8	5.9	11.8		
女性 65～74歳	123	22.0	19.5	10.6	11.4	15.4	14.6	22.0	4.1	5.7		
女性 75歳以上	963	29.3	22.8	23.1	15.5	11.8	20.7	8.1	7.6	4.9		

問7 介護度別

軽度	1096	27.4	24.4	12.0	17.7	16.1	18.0	11.3	8.7	6.4		
中度	352	20.2	17.6	36.1	16.2	15.3	10.5	16.8	8.2	6.3		
重度	233	13.3	12.9	36.1	10.3	12.4	8.2	24.0	6.0	6.0		
わからない	31	12.9	22.6	9.7	12.9	16.1	6.5	12.9	6.5	3.2		

	調査数 (件)	パ ー キ ン ソ ン 病	マ チ 含 む ) 膠 原 病 (関 節 リ ウ マ チ 含 む )	腎 疾 患 (透 析 )	難 病 (パ ー キ ン ソ ン 病 を 除 く )	そ の 他	な し	わ か ら な い	無 回 答	(%)
全 体	1763	4.1	3.7	3.2	2.3	22.3	3.9	1.4	3.6	

性・年齢別

男性 65歳未満	8	12.5	-	-	-	25.0	-	-	25.0	
男性 65～74歳	131	10.7	3.1	7.6	6.9	22.9	2.3	2.3	1.5	
男性 75歳以上	492	4.1	1.0	4.3	2.0	20.7	2.8	1.2	3.3	
女性 65歳未満	17	-	5.9	-	-	17.6	-	-	5.9	
女性 65～74歳	123	5.7	10.6	4.9	4.9	17.9	2.4	2.4	2.4	
女性 75歳以上	963	3.0	4.4	1.9	1.6	23.8	4.8	1.2	3.6	

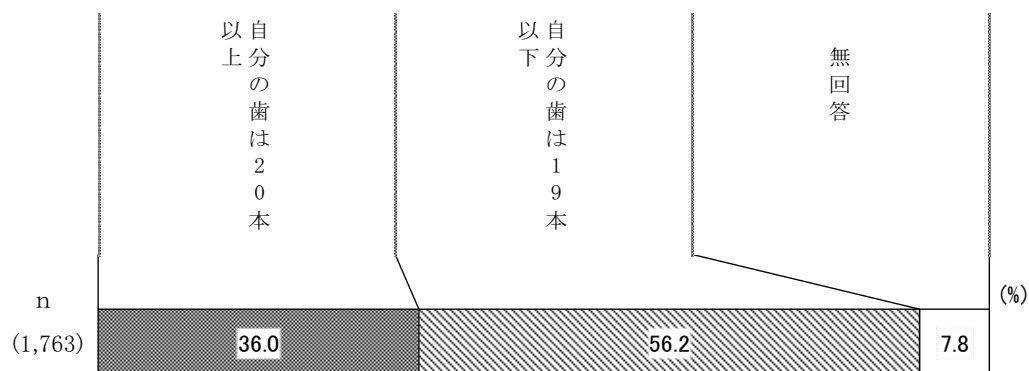
問7 介護度別

軽度	1096	3.4	4.0	3.1	2.2	23.5	4.0	0.9	3.1	
中度	352	5.1	4.5	3.7	1.7	24.4	3.4	0.9	3.4	
重度	233	6.0	1.7	2.6	4.3	17.2	2.1	3.4	3.0	
わからない	31	-	-	3.2	-	12.9	12.9	9.7	9.7	

(10) 歯の本数

問10 歯の数について、ご回答ください。(1つだけ○印)

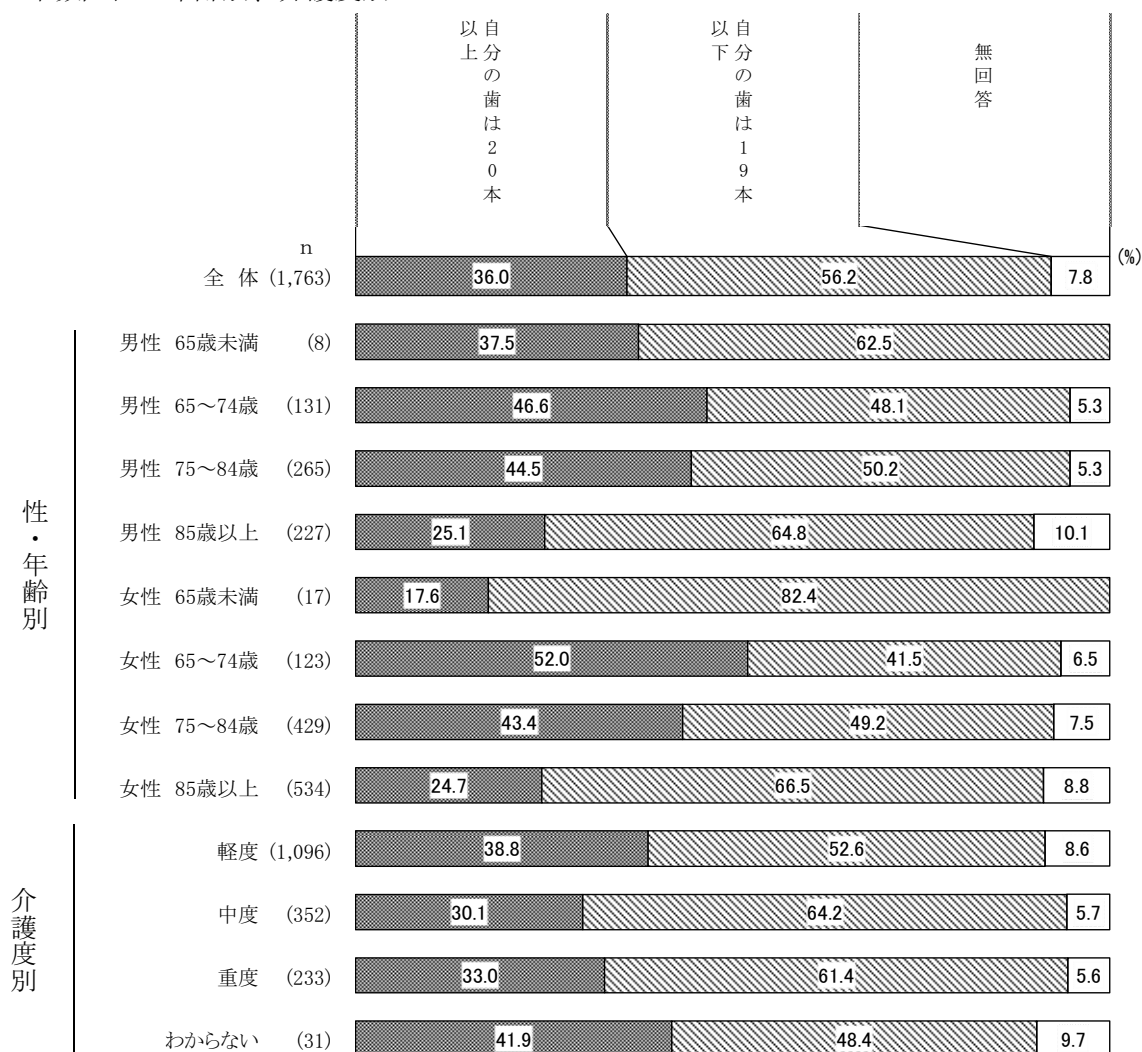
歯の本数は、「自分の歯は20本以上」が36.0%、「自分の歯は19本以下」が56.2%となっている。



性・年齢別でみると、『男性85歳以上』と『女性85歳以上』では「自分の歯は19本以下」がいずれも6割以上となっている。

介護度別でみると、中度以上で「自分の歯は19本以下」が6割以上となっている。

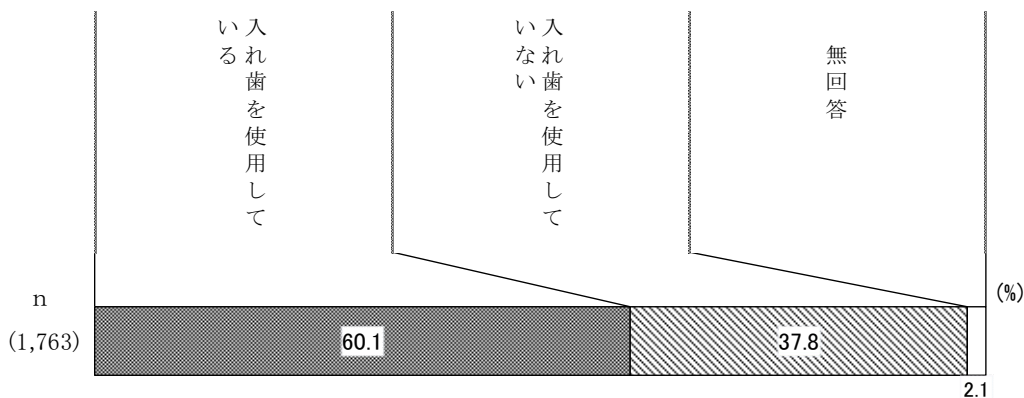
○歯の本数／性・年齢別、介護度別



(11) 入れ歯の使用状況

問11 入れ歯の使用状況について、ご回答ください。(1つだけ○印)

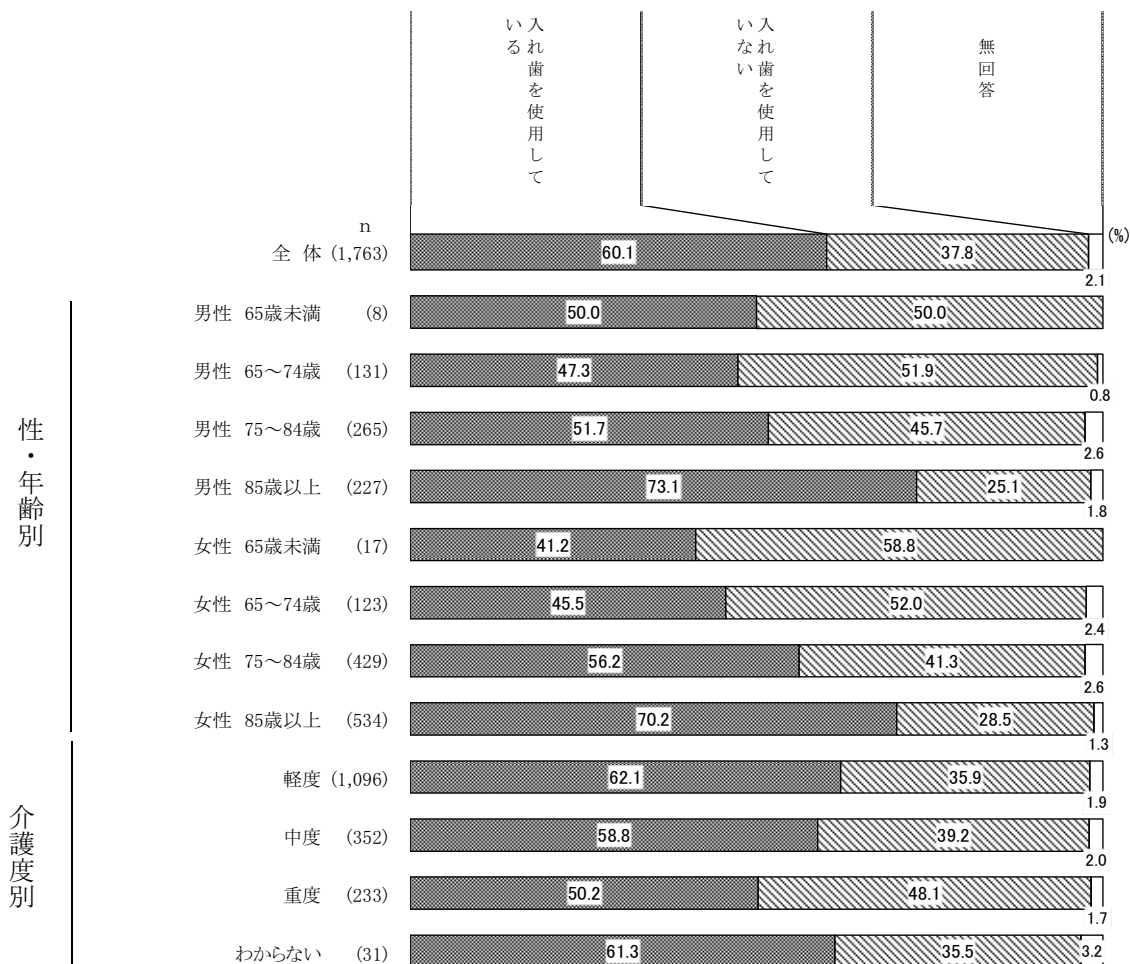
入れ歯の使用状況は、「入れ歯を使用している」が60.1%、「入れ歯を使用していない」が37.8%となっている。



性・年齢別でみると、『男性85歳以上』と『女性85歳以上』では「入れ歯を使用している」がいずれも7割以上となっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「入れ歯を使用している」の割合は少なくなる傾向にある。

○入れ歯の使用状況／性・年齢別、介護度別

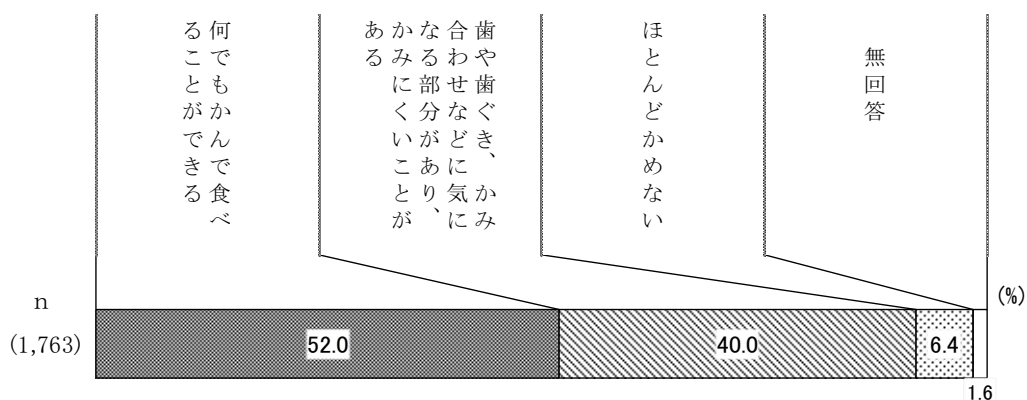




(12) 食事をかんで食べる時の状態

問12 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つだけ○印)

食事をかんで食べる時の状態は、「何でもかんで食べることができる」が52.0%、「歯や歯ぐき、かみ合わせなどに気になる部分があり、かみにくいことがある」が40.0%となっている。

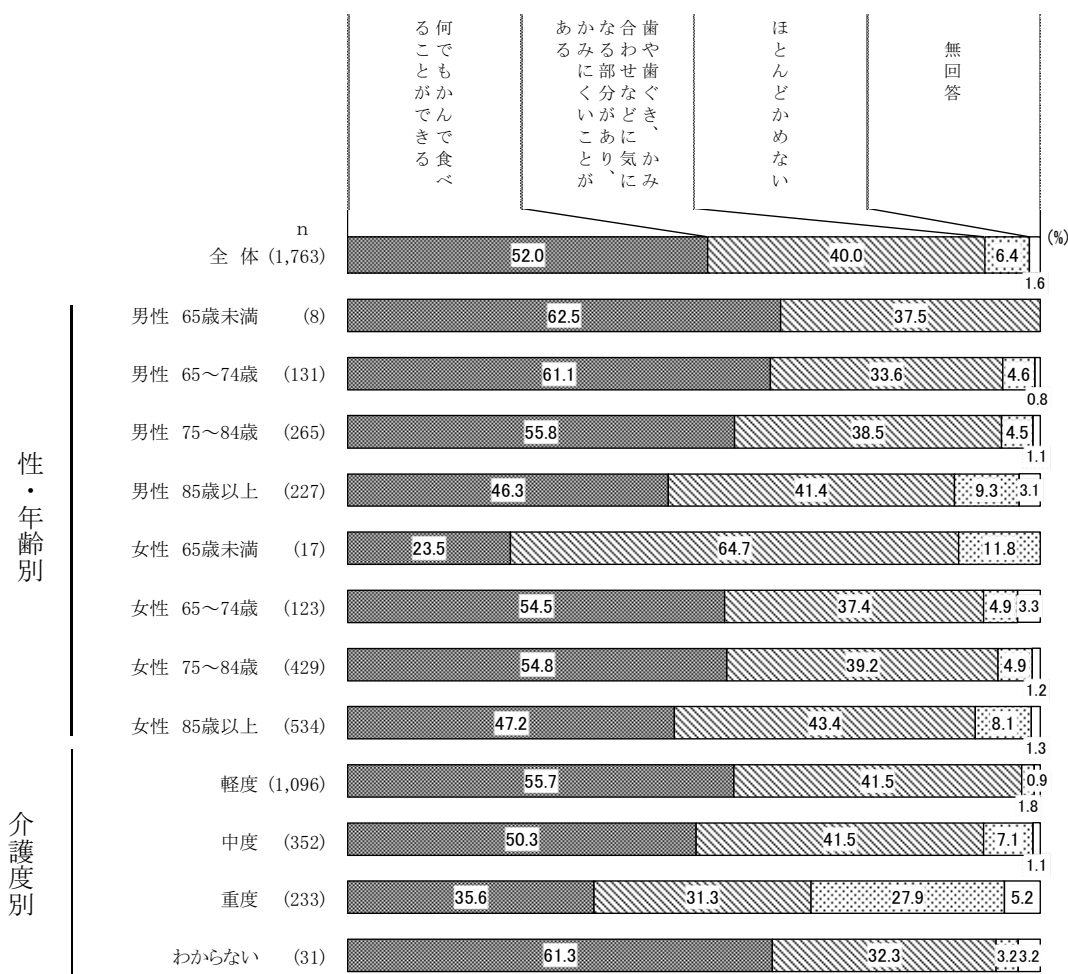


## 第2章 調査結果の詳細

性・年齢別で見ると、男女とも『65～74歳』および『75～84歳』では「何でもかんで食べることができる」が5割以上となっているが、男女とも『85歳以上』では4割台となっている。

介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて「何でもかんで食べることができる」の割合は少なくなる傾向にある。

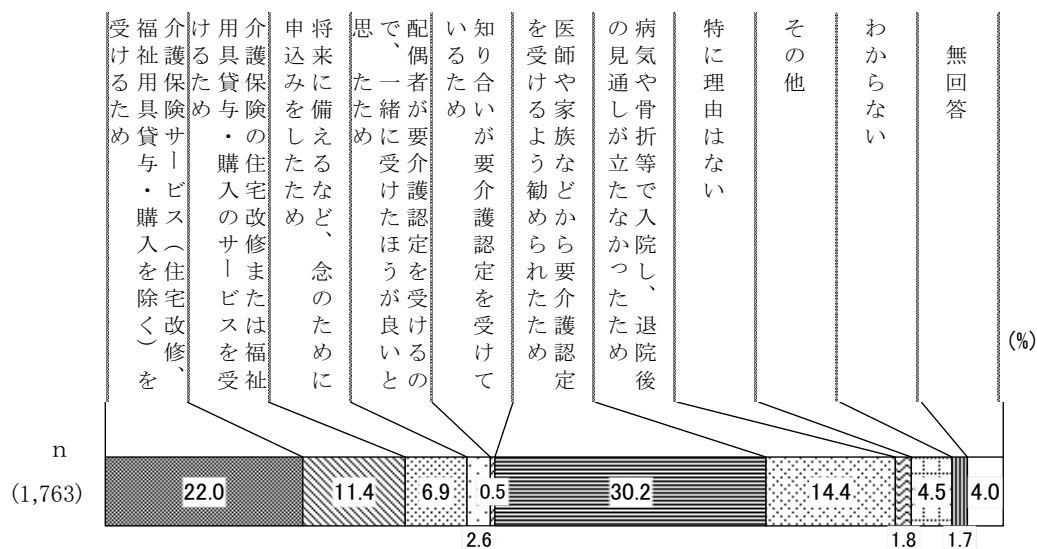
○食事をかんで食べる時の状態／性・年齢別、介護度別



(13) 要介護認定を申請したときの目的

問13 要介護認定を初めて申請したときの目的は何ですか。(1つだけ○印)

要介護認定を申請したときの目的は、「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が30.2%で最も多く、次いで「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」が22.0%、「病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため」が14.4%となっている。

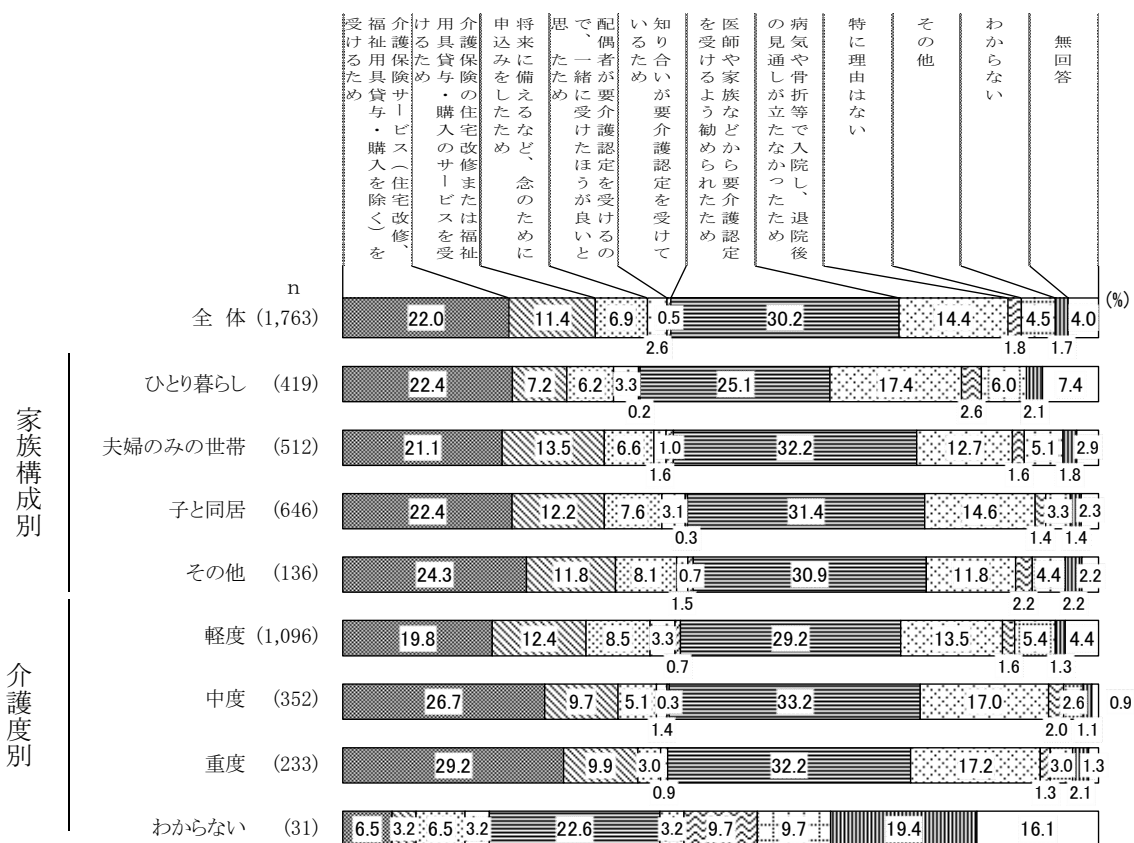


## 第2章 調査結果の詳細

家族構成別で見ると、いずれも「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が2割以上で最も多くなっている。

介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」の割合は多くなる傾向にある。

### ○要介護認定を申請したときの目的／家族構成別、介護度別

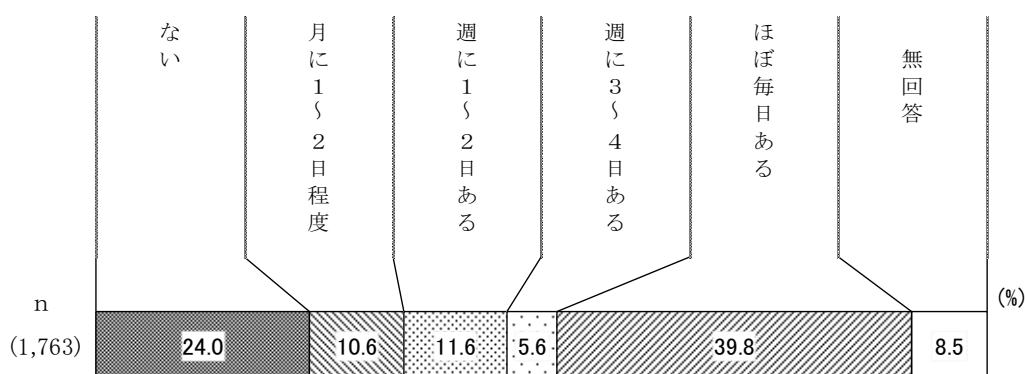


## 2. 家族や親族からの介護について

### (1) 家族や親族からの介護・介助の頻度

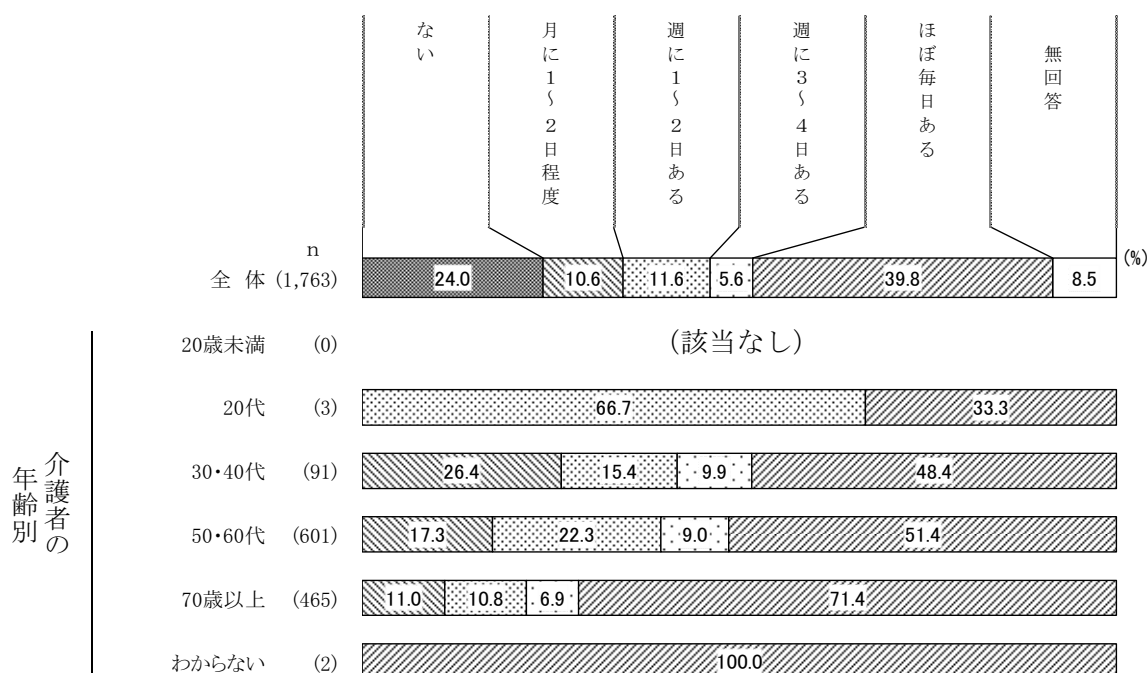
問14 ご家族やご親族の方からの介護・介助（内容は問18を参照ください）は、どのくらいの頻度でありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護・介助を含む）（1つだけ○印）

家族や親族からの介護・介助の頻度は、「ほぼ毎日ある」が39.8%で最も多く、次いで「ない」が24.0%、「週に1～2日ある」が11.6%となっている。



介護者の年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「ほぼ毎日ある」の割合は多くなる傾向にある。

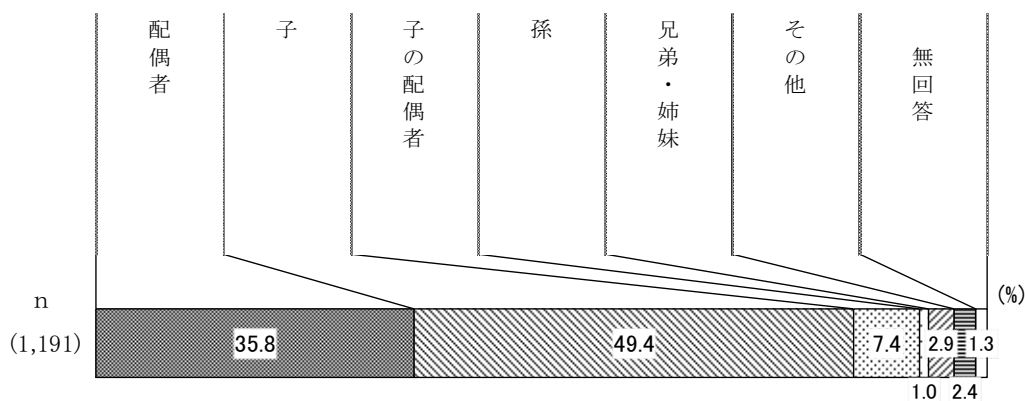
#### ○家族や親族からの介護の頻度／介護者の年齢別



(2) 主な介護・介助者の続柄

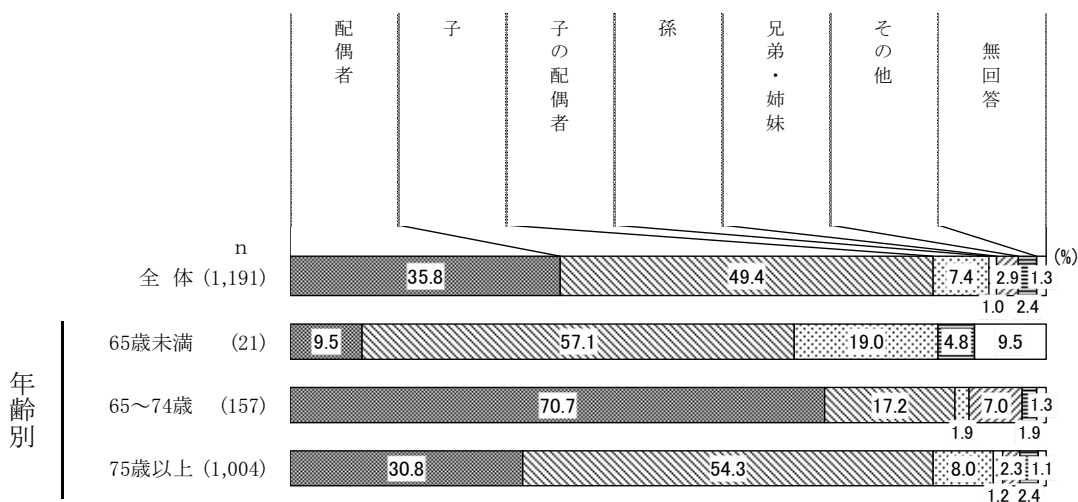
問15 《問14で「月に1～2日程度」～「ほぼ毎日ある」と回答した方のみ》主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つだけ○印)

主な介護・介助者の続柄は、「子」が49.4%で最も多く、次いで「配偶者」が35.8%となっている。



年齢別でみると、『65歳未満』『75歳以上』では「子の配偶者」がそれぞれ57.1%、54.3%で最も多くなっている。『65～74歳』では「配偶者」が70.7%で最も多くなっている。

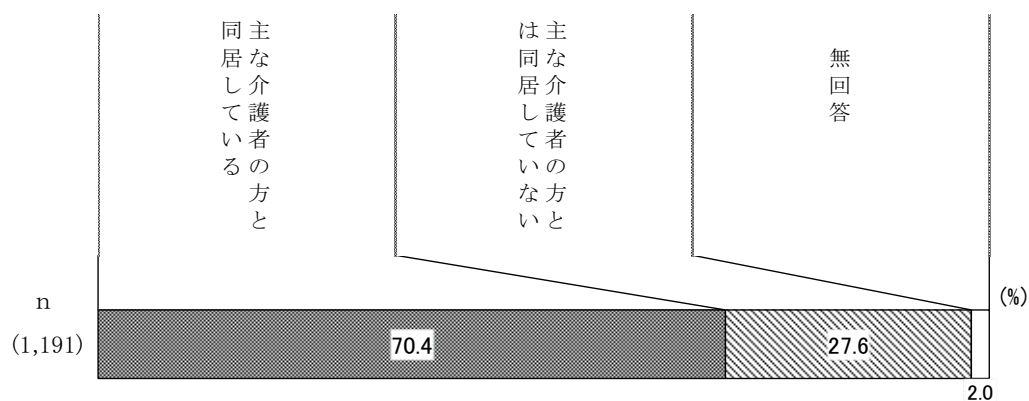
○主な介護・介助者／年齢別



(3) 主な介護・介助者との同居の有無

問16 主に介護・介助している方（以下「主な介護者の方」）との同居の有無について、ご回答ください。（1つだけ○印）

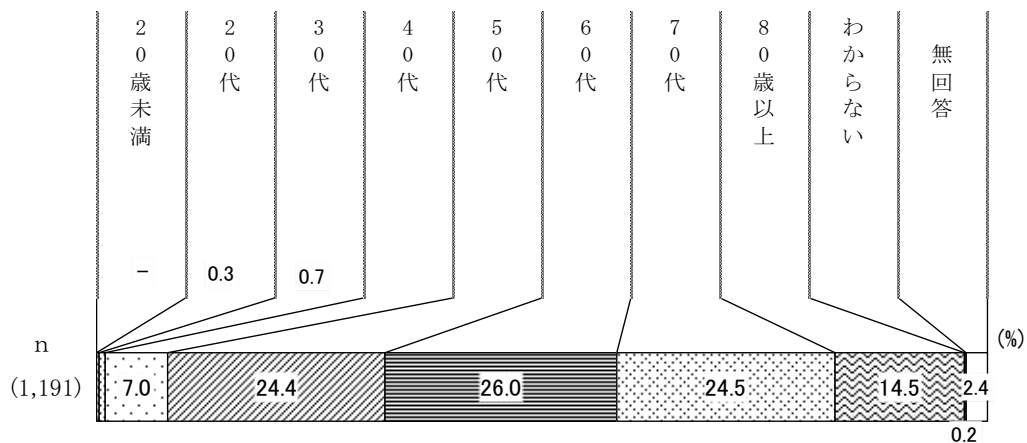
主な介護・介助者との同居の有無は、「主な介護者の方と同居している」が70.4%、「主な介護者の方とは同居していない」が27.6%となっている。



(4) 主な介護・介助者の年齢

問17 主な介護者の方の年齢をご回答ください。(1つだけ○印)

主な介護・介助者の年齢は、「60代」が26.0%で最も多く、次いで「70代」が24.5%、「50代」が24.4%となっている。

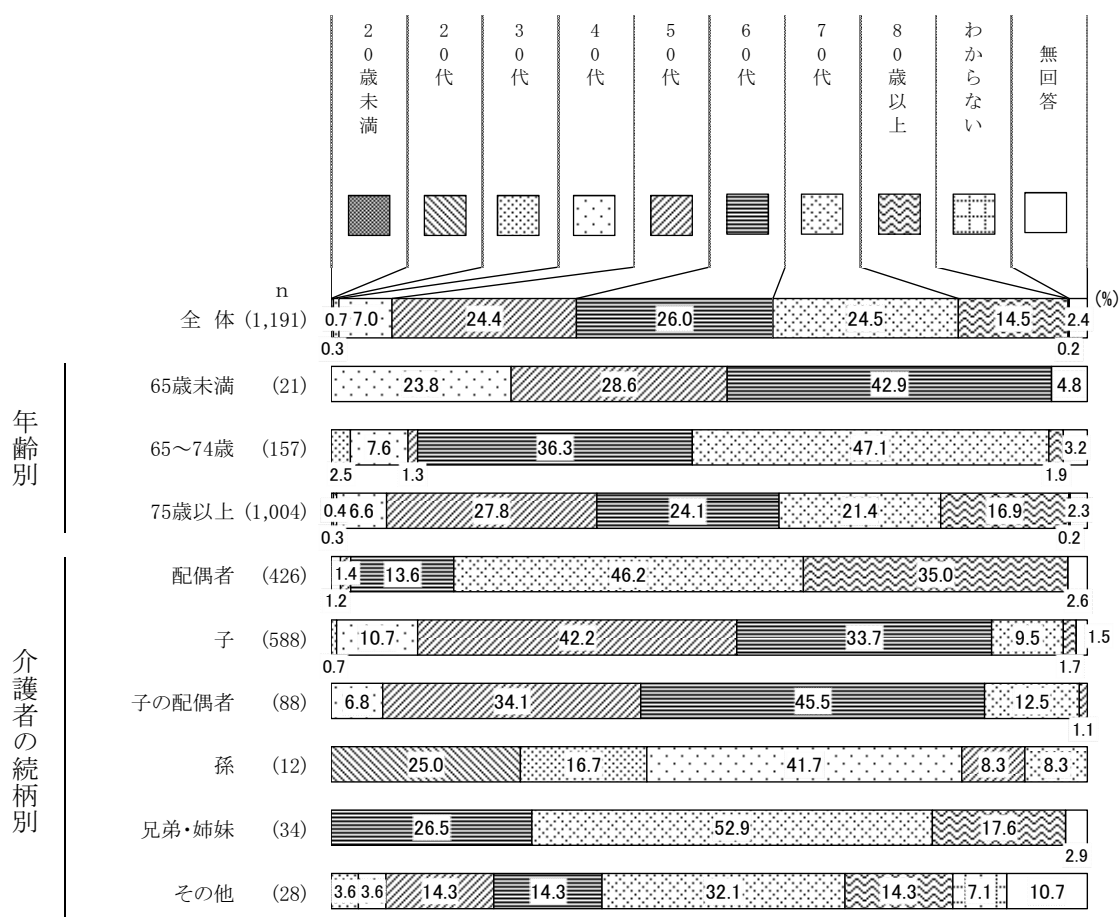




年齢別で見ると、『65歳未満』に対する介護者の方は「60代」が42.9%で最も多くなっている。『65～74歳未満』では「70代」が47.1%で最も多くなっている。

介護者の続柄別で見ると、『配偶者』において「70代」が46.2%で最も多くなっている。『子』では「50代」が42.2%で最も多くなっている。

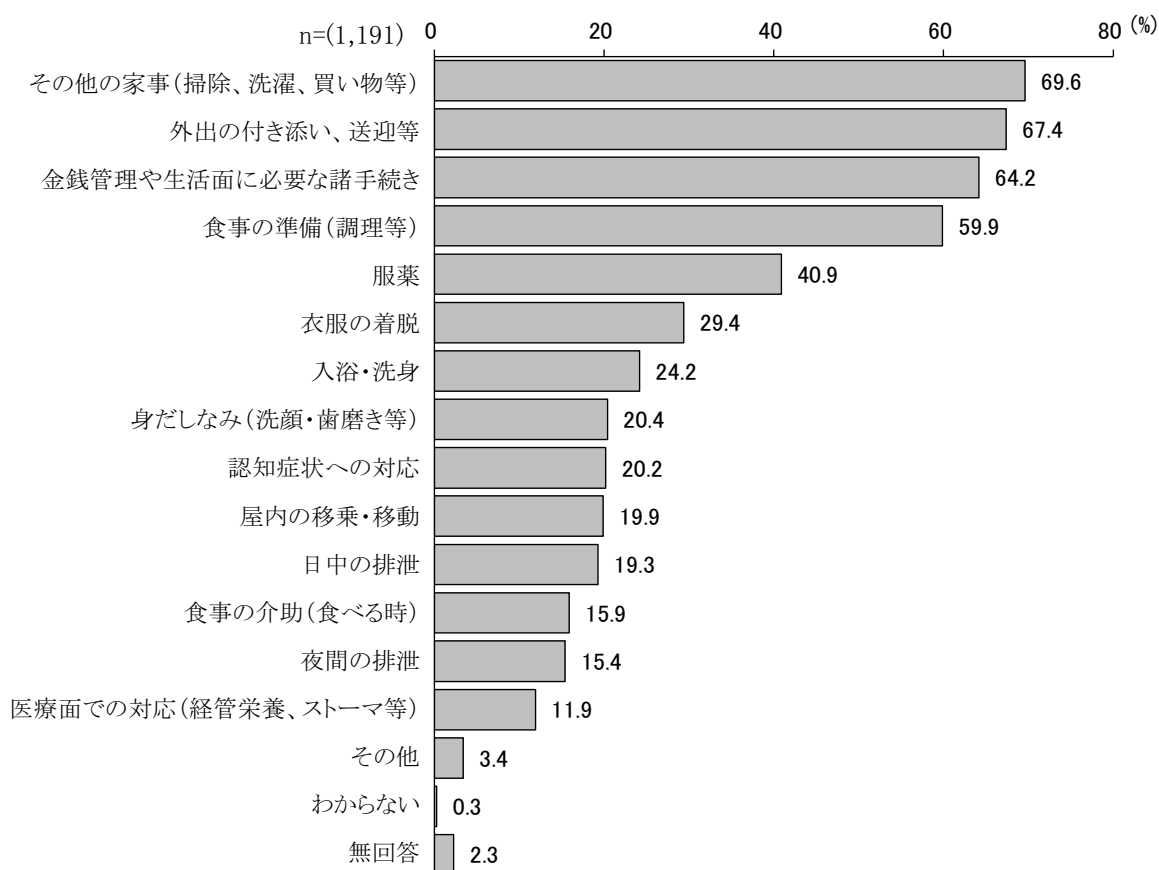
○主な介護・介助者の年齢／年齢別、介護者の続柄別



(5) 主な介護者から受けている介護・介助

問18 主な介護者の方から受けている介護・介助について、ご回答ください。(複数回答可)

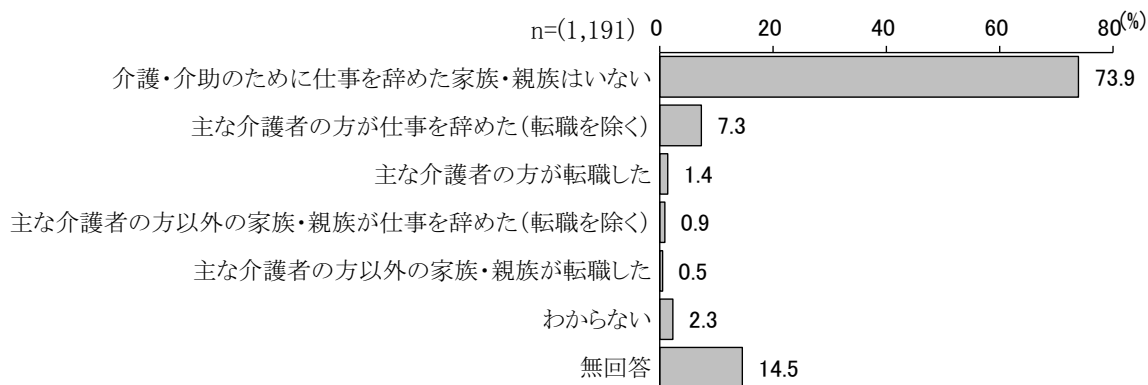
主な介護者から受けている介護・介助は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が67.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.2%となっている。



(6) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族

問19 ご家族やご親族の中で、あなたの介護・介助を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）  
（複数回答可）

介護を理由に仕事を辞めた家族・親族は、「主な介護者の方が仕事を辞めた（転職を除く）」が7.3%となっている。一方、「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は73.9%となっている。



介護度別でみると、いずれも「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が6割以上で最も多くなっている。

介護者の年齢別でみると、いずれも「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が7割以上で最も多くなっている。また、『重度』では「主な介護者の方が仕事を辞めた（転職を除く）」が1割半ばで『軽度』、『中度』と比較すると多くなっている。

○介護を理由に仕事を辞めた家族・親族／介護度別、介護者の年齢別

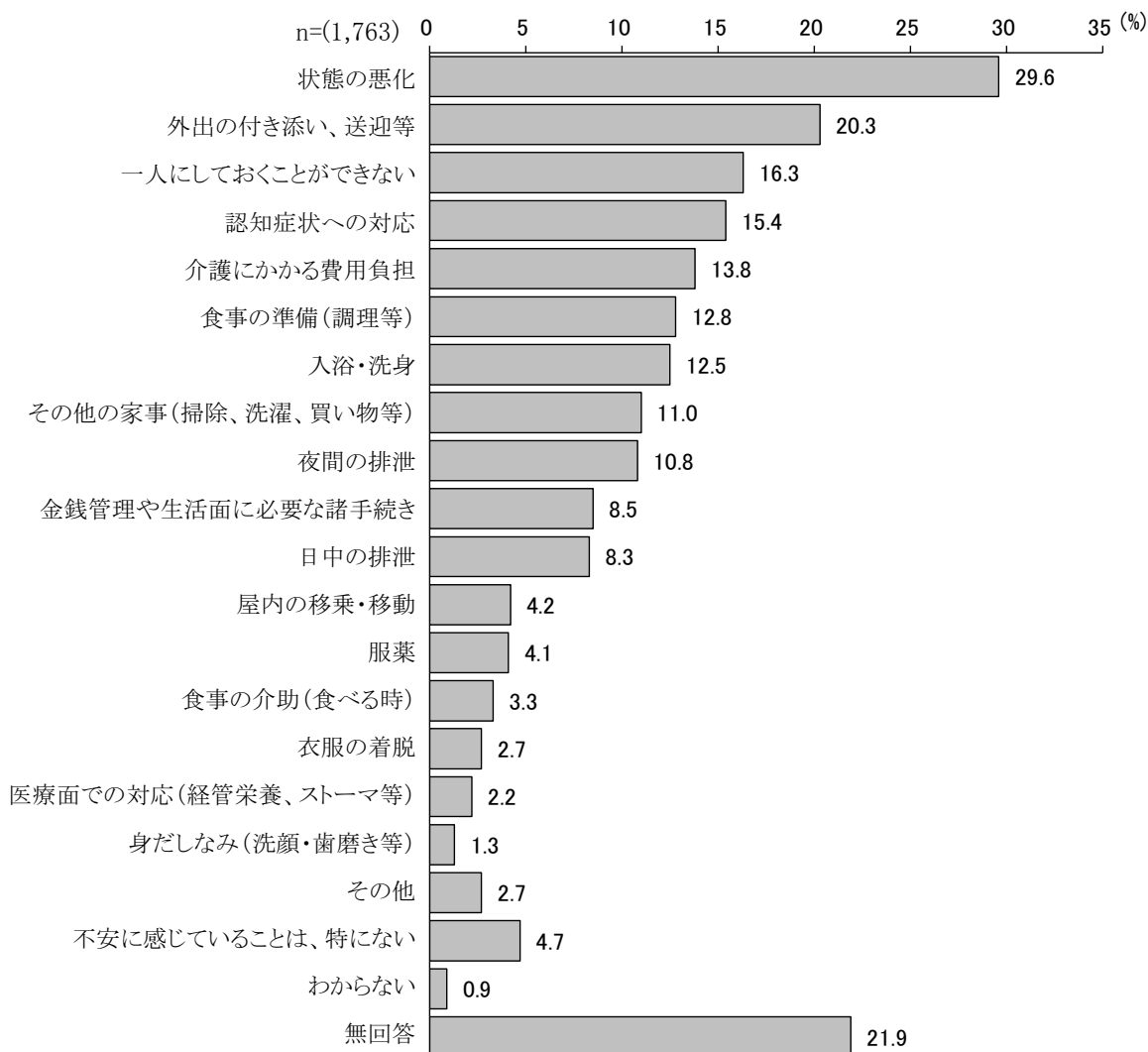
	調査数 (件)	辞めた・介助の親族には仕事を	主な介護者の方(転職を除く)が仕事を辞めた	主な介護者の方が転職した	主な介護者の方以外(転職を除く)の家族・親族が仕事を辞めた	主な介護者の方以外(転職を除く)の家族・親族が転職した	わからない	無回答
全体	1191	73.9	7.3	1.4	0.9	0.5	2.3	14.5
問7 介護度別								
軽度	697	77.5	4.7	1.1	0.6	0.6	2.2	13.8
中度	275	71.3	9.8	2.2	1.8	0.7	2.2	13.5
重度	187	65.8	13.4	1.6	1.1	-	1.6	17.6
わからない	10	50.0	-	-	-	-	20.0	30.0
問17 主な介護者の方の年齢								
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	3	100.0	-	-	-	-	-	-
30・40代	91	73.6	9.9	1.1	-	-	1.1	15.4
50・60代	601	77.2	7.8	2.3	1.0	0.5	2.0	10.0
70歳以上	465	71.8	6.7	0.4	0.9	0.6	3.0	17.4
わからない	2	100.0	-	-	-	-	-	-

### 3. 主な介護者について

#### (1) 主な介護者が不安に感じる介護等

問20 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで○印可)

主な介護者が不安に感じる介護等は、「状態の悪化」が29.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が20.3%、「一人にしておくことができない」が16.3%となっている。



介護度別でみると、いずれも「状態の悪化」が2割以上となっている。

介護者の年齢別でみると、いずれも「状態の悪化」が3割以上となっている。

○主な介護者が不安に感じる介護等／介護度別、介護者の年齢別

	調査数 (件)	状態の悪化	外出の付き添い、送迎等	一人にしておくことができない	認知症状への対応	介護にかかる費用負担	食事の準備（調理等）	入浴・洗身	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	夜間の排泄	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	日中の排泄
全体	1763	29.6	20.3	16.3	15.4	13.8	12.8	12.5	11.0	10.8	8.5	8.3

問7 介護度別

軽度	1096	26.6	24.9	10.8	14.3	10.2	14.5	11.3	14.5	5.5	9.6	3.8
中度	352	38.6	16.2	25.9	21.3	21.6	12.5	19.0	5.4	23.3	6.8	17.3
重度	233	36.5	6.0	31.8	15.5	20.6	6.9	9.4	3.0	18.9	5.2	15.9
わからない	31	12.9	6.5	3.2	-	-	9.7	6.5	9.7	6.5	9.7	6.5

問17 主な介護者の方の年齢

20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-
30・40代	91	30.8	24.2	20.9	20.9	23.1	18.7	12.1	18.7	9.9	20.9	8.8
50・60代	601	43.6	24.3	21.6	23.0	18.6	13.0	12.8	12.5	15.3	9.0	11.0
70歳以上	465	36.1	27.1	25.6	17.2	16.3	20.4	18.9	12.0	14.6	9.7	11.4
わからない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数 (件)	屋内の移乗・移動	服薬	食事の介助（食べる時）	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	その他	不安に感じていることは、特になし	わからない	無回答
全体	1763	4.2	4.1	3.3	2.7	2.2	1.3	2.7	4.7	0.9	21.9

問7 介護度別

軽度	1096	3.8	4.9	1.2	2.2	1.9	1.0	3.0	6.2	0.9	24.5
中度	352	4.0	2.8	5.4	3.4	2.0	1.7	2.0	2.0	0.3	10.2
重度	233	6.9	1.7	11.6	3.9	3.9	0.9	3.0	2.1	0.9	18.5
わからない	31	3.2	9.7	-	3.2	-	9.7	-	3.2	6.5	45.2

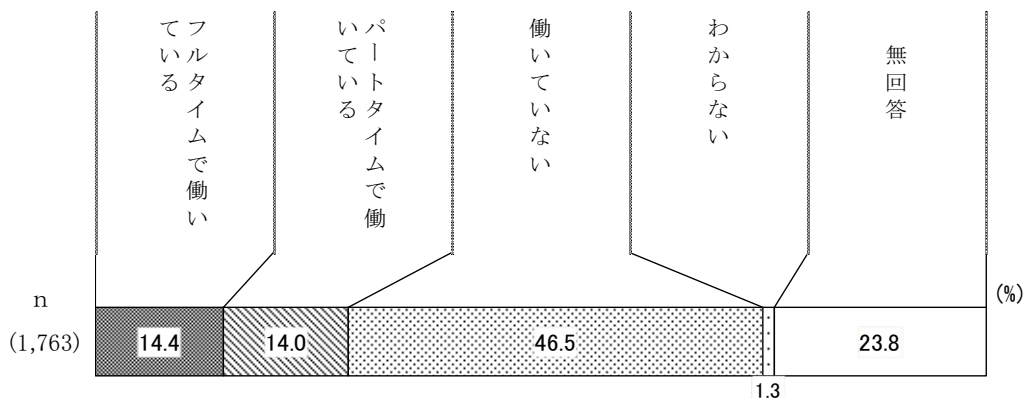
問17 主な介護者の方の年齢

20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30・40代	91	6.6	3.3	2.2	1.1	1.1	1.1	2.2	5.5	-	3.3
50・60代	601	5.3	4.2	3.2	1.2	2.8	1.2	3.3	4.3	0.5	3.3
70歳以上	465	5.4	5.8	6.2	5.4	3.4	1.3	3.0	4.7	0.2	4.3
わからない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(2) 主な介護者の勤務形態

問21 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○印)

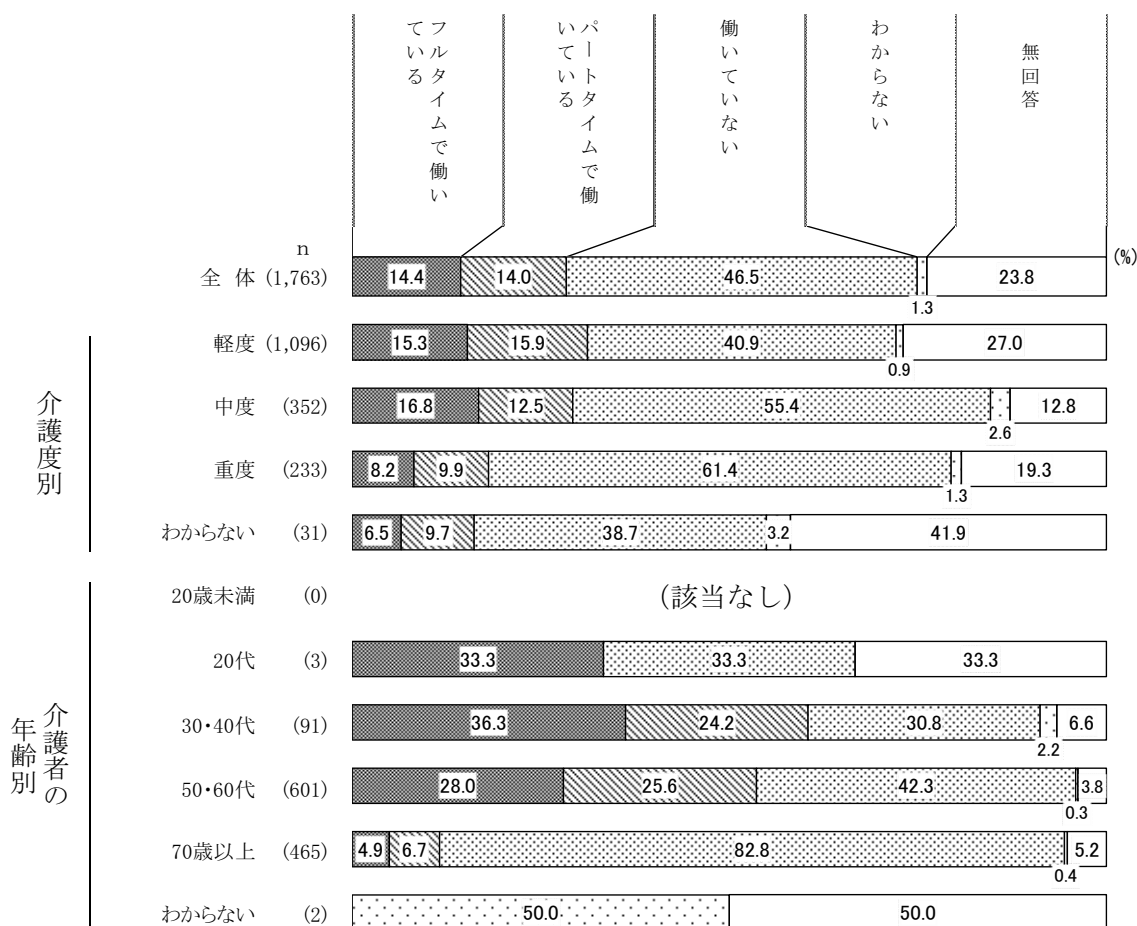
主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が14.4%、「パートタイムで働いている」が14.0%となっている。一方、「働いていない」は46.5%となっている。



介護度別で見ると、フルタイム・パートタイムとも介護度が重くなると「働いている」割合が少なくなっている。

介護者の年齢別で見ると、『30・40代』で「フルタイムで働いている」が36.3%で最も多くなっている。介護者の年齢が上がるほど、「働いている」の割合は少なくなる傾向にある。

○主な介護者の勤務形態／介護度別、介護者の年齢別

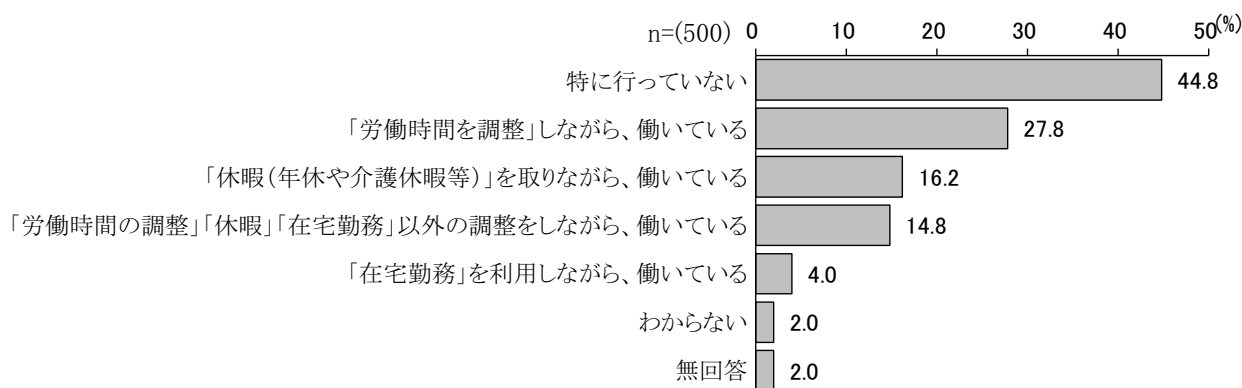


(3) 主な介護者の働き方の調整等

問22 《問21で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答可)

主な介護者の働き方の調整等は、「労働時間を調整」しながら、働いている」が27.8%、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が16.2%となっている。一方、「特に行っていない」は44.8%となっている。



介護度別でみると、『軽度』では「特に行っていない」が51.2%で最も多くなっている。『中度』『重度』では「労働時間を調整」しながら、働いている」がそれぞれ37.9%、47.6%で最も多くなっている。

介護者の勤務形態別でみると、フルタイムは労働時間の調整や休暇を取りながら働いている、パートタイムは労働時間または何らかの調整をしながら働いている傾向が見える。

○主な介護者の働き方の調整／介護度別、介護者の勤務形態別

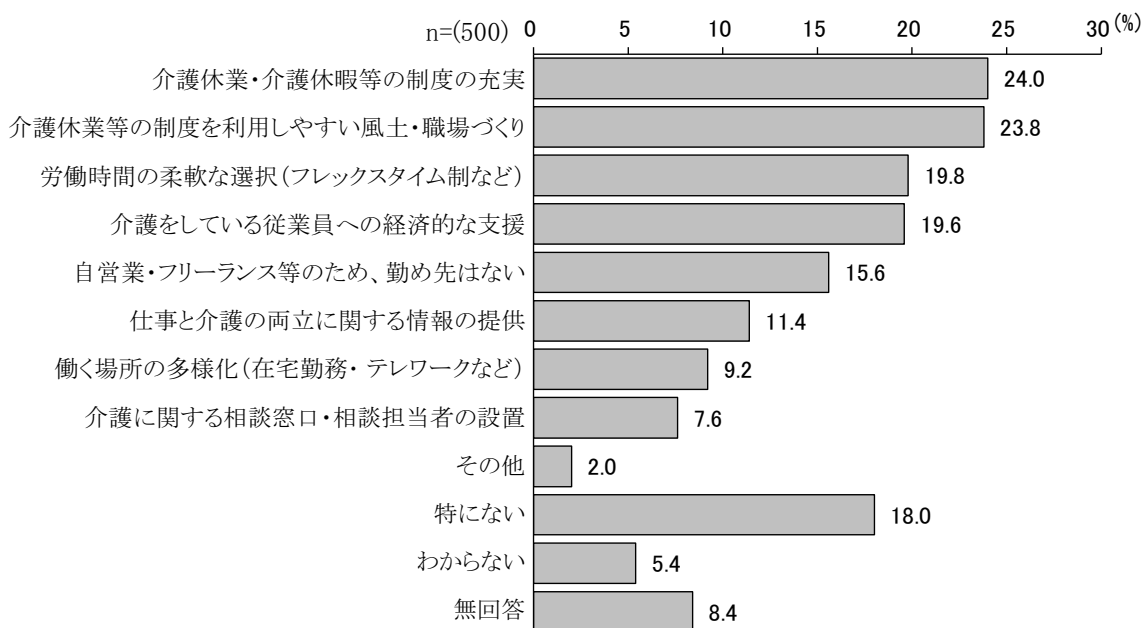
	調査数 (件)	特に行っていない	働「労働時間を調整」しながら、	を「休暇(年休や介護休暇等)」	が「在宅勤務」以外の調整の「調整をしな	働「在宅勤務」を利用しながら、	わからない	無回答
全体	500	44.8	27.8	16.2	14.8	4.0	2.0	2.0
問7 介護度別								
軽度	342	51.2	21.9	14.9	14.0	3.2	1.2	1.8
中度	103	31.1	37.9	21.4	13.6	5.8	2.9	2.9
重度	42	35.7	47.6	14.3	16.7	4.8	2.4	-
わからない	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	40.0	-
問21 主な介護者の方の現在の勤務形態								
フルタイムで働いている	253	50.2	24.1	26.1	8.7	4.7	1.2	1.2
パートタイムで働いている	247	39.3	31.6	6.1	21.1	3.2	2.8	2.8

(4) 主な介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援

問23 《問21で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○印可)

主な介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.0%で最も多く、次いで「介護休業等の制度を利用しやすい風土・職場づくり」が23.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が19.8%となっている。





介護度別で見ると、『軽度』では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」および「介護休業等の制度を利用しやすい風土・職場づくり」が25.4%で最も多くなっている。『中度』では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.2%で最も多くなっている。『重度』では「介護休業等の制度を利用しやすい風土・職場づくり」および「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」がそれぞれ26.2%で最も多くなっている。

介護者の勤務形態別で見ると、『フルタイムで働いている』場合で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.2%で最も多くなっている。

○主な介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援／介護度別、介護者の勤務形態別

	調査数 (件)	介護休業・介護休暇等の制度の充実	職場づくり等 の風土・	介護休業等の制度を利用しやすい風土・職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護への経済的支援	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	(%)
全体	500	24.0	23.8	19.8	19.6	15.6	11.4		
問7 介護度別									
軽度	342	25.4	25.4	19.3	19.3	11.7	11.1		
中度	103	25.2	20.4	21.4	19.4	23.3	11.7		
重度	42	14.3	26.2	26.2	23.8	26.2	16.7		
わからない	5	20.0	-	-	-	20.0	-		
問21 主な介護者の方の現在の勤務形態									
フルタイムで働いている	253	31.2	30.0	19.8	22.1	16.2	11.5		
パートタイムで働いている	247	16.6	17.4	19.8	17.0	15.0	11.3		

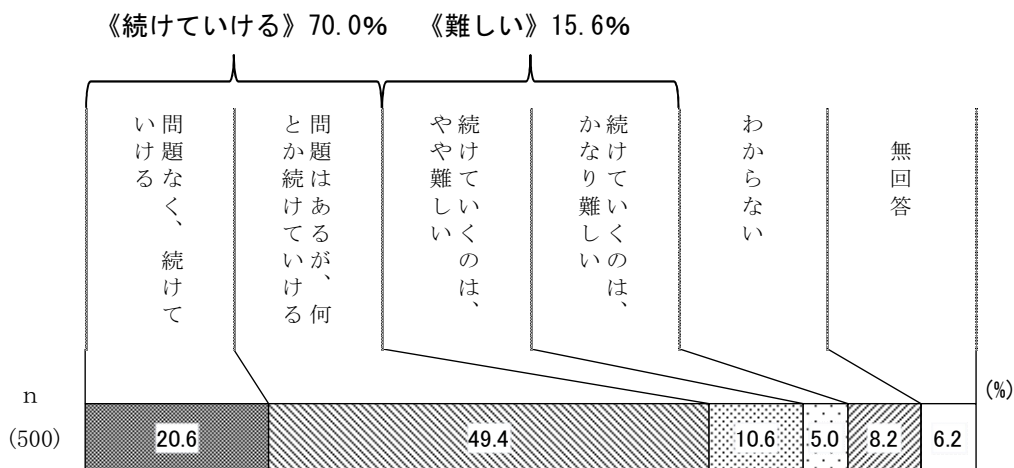
	調査数 (件)	在宅勤務の多様化（ワーク・ライフ・バランス）	職場・勤務場所の多様化	介護に関する相談窓口の設置	その他	特になし	わからない	無回答	(%)
全体	500	9.2	7.6	2.0	18.0	5.4	8.4		
問7 介護度別									
軽度	342	9.6	5.0	2.3	19.3	5.0	9.1		
中度	103	9.7	14.6	1.0	15.5	7.8	3.9		
重度	42	4.8	11.9	2.4	16.7	-	9.5		
わからない	5	-	20.0	-	-	40.0	-		
問21 主な介護者の方の現在の勤務形態									
フルタイムで働いている	253	12.3	9.5	1.2	11.9	5.5	6.7		
パートタイムで働いている	247	6.1	5.7	2.8	24.3	5.3	10.1		

(5) 主な介護者の就労の持続可能性

問24 《問21で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○印)

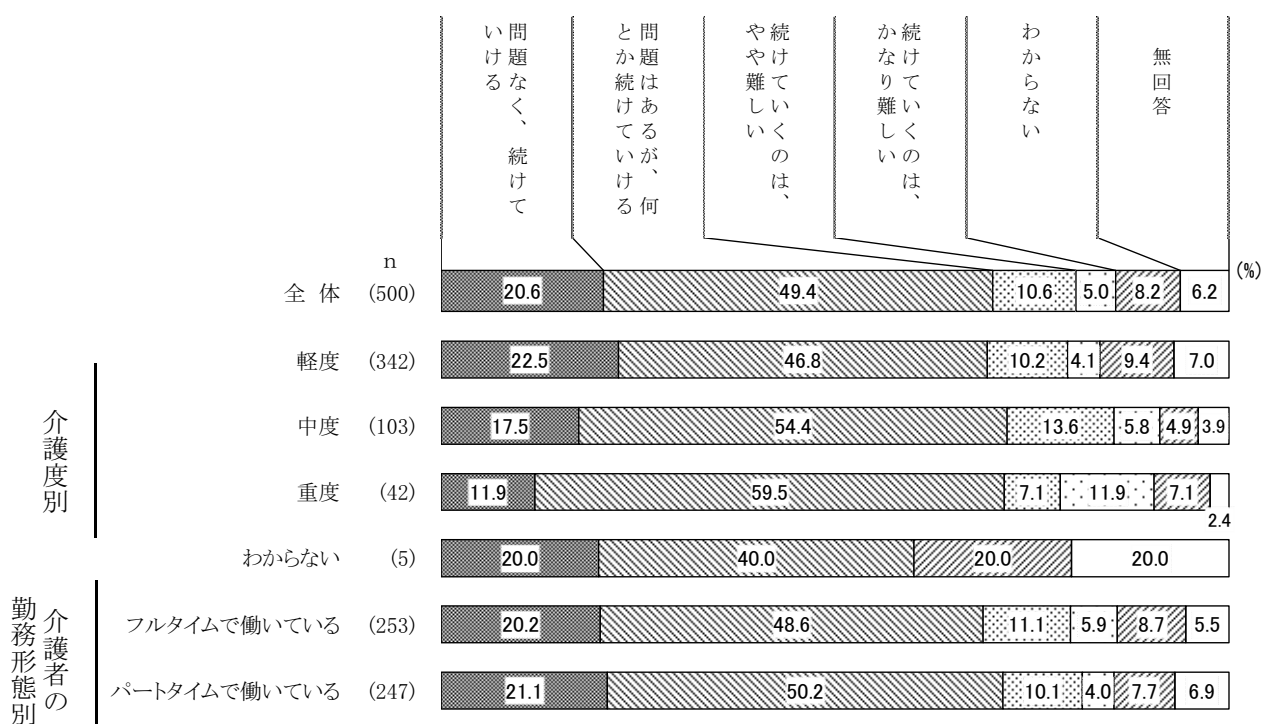
主な介護者の就労の持続可能性は、「問題はあるが、何とか続けていける」が49.4%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が20.6%で、これらを合わせた“続けていける(計)”は70.0%となっている。



介護度別でみると、いずれの状態も「問題はあるが、何とか続けていける」が4割以上となっている。

介護者の勤務形態別でみると、フルタイム・パートタイムともに「問題はあるが、何とか続けていける」がそれぞれ48.6%、50.2%で最も多くなっている。

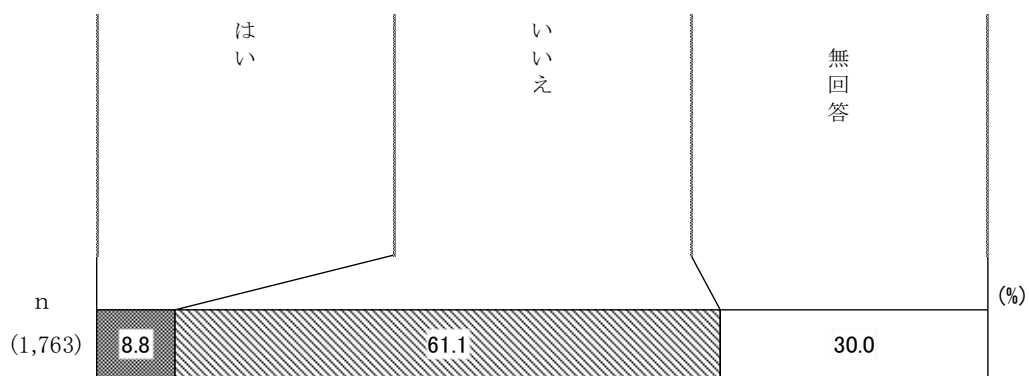
○主な介護者の就労の持続可能性／介護度別、介護者の勤務形態別



(6) 主な介護者の「ダブルケア」の状況

問25 主な介護者の方は、「ダブルケア」の状況にありますか。同居・別居は問いません。  
(1つだけ○印)

主な介護者の「ダブルケア」の状況は、「はい」が8.8%、「いいえ」が61.1%となっている。

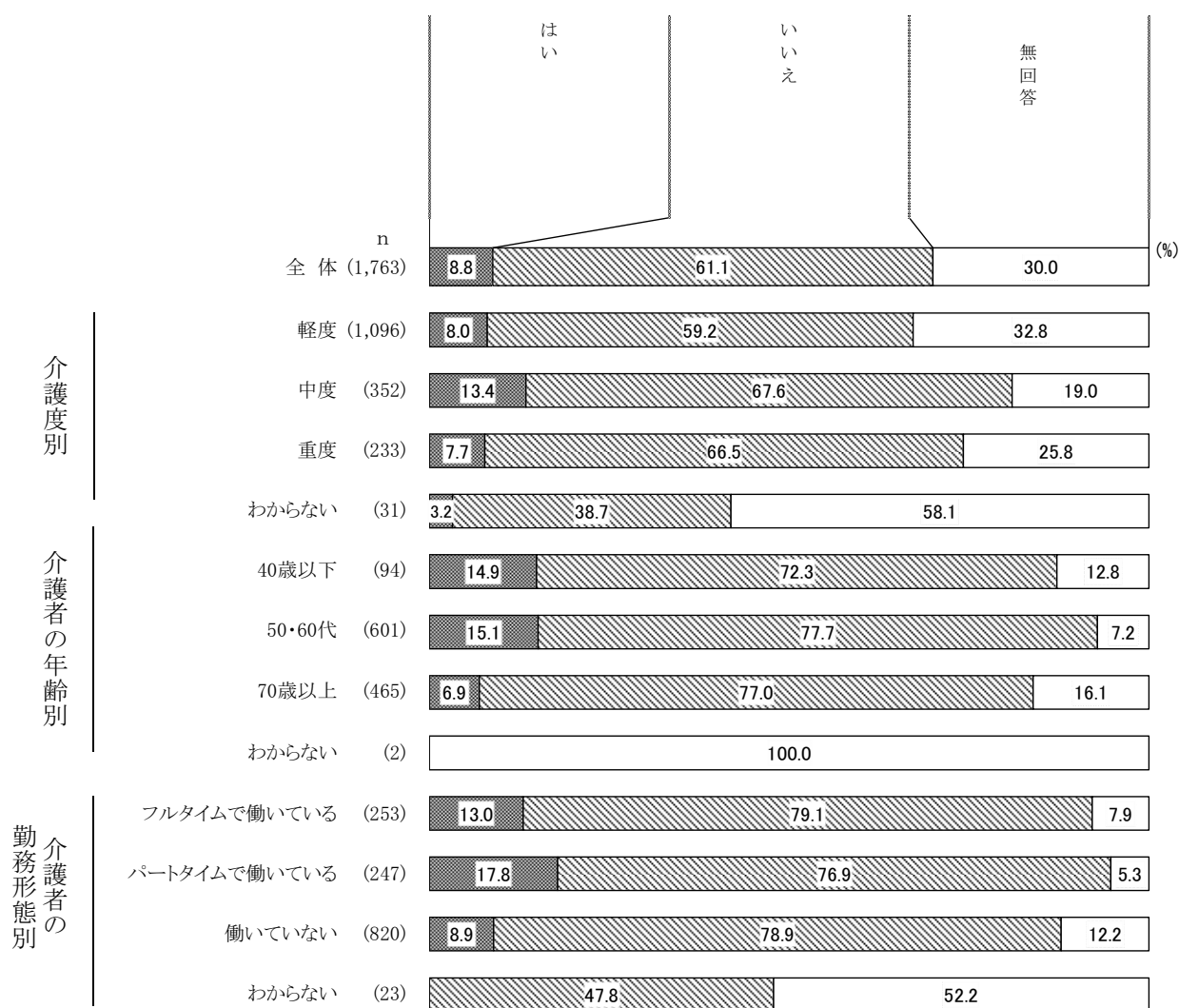


介護度別で見ると、いずれも「いいえ」が5割以上となっている。

介護者の年齢別で見ると、いずれも「いいえ」が7割以上となっている。

介護者の勤務形態別で見ると、いずれも「いいえ」が7割以上となっている。

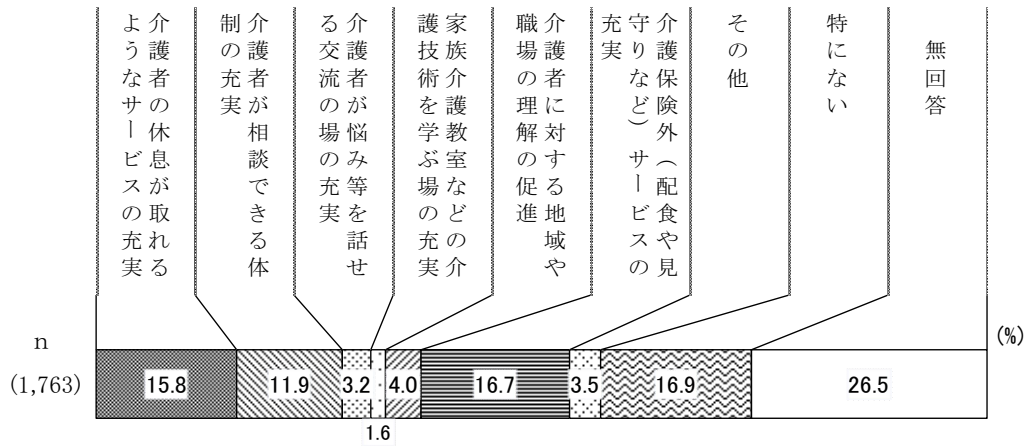
○主な介護者の「ダブルケア」の状況／介護度別、介護者の年齢別、介護者の勤務形態別



(7) 市へ最も望む支援

問26 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

市へ最も望む支援は、「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が16.7%、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が15.8%、「介護者が相談できる体制の充実」が11.9%となっている。一方で、「特にない」が16.9%となっている。

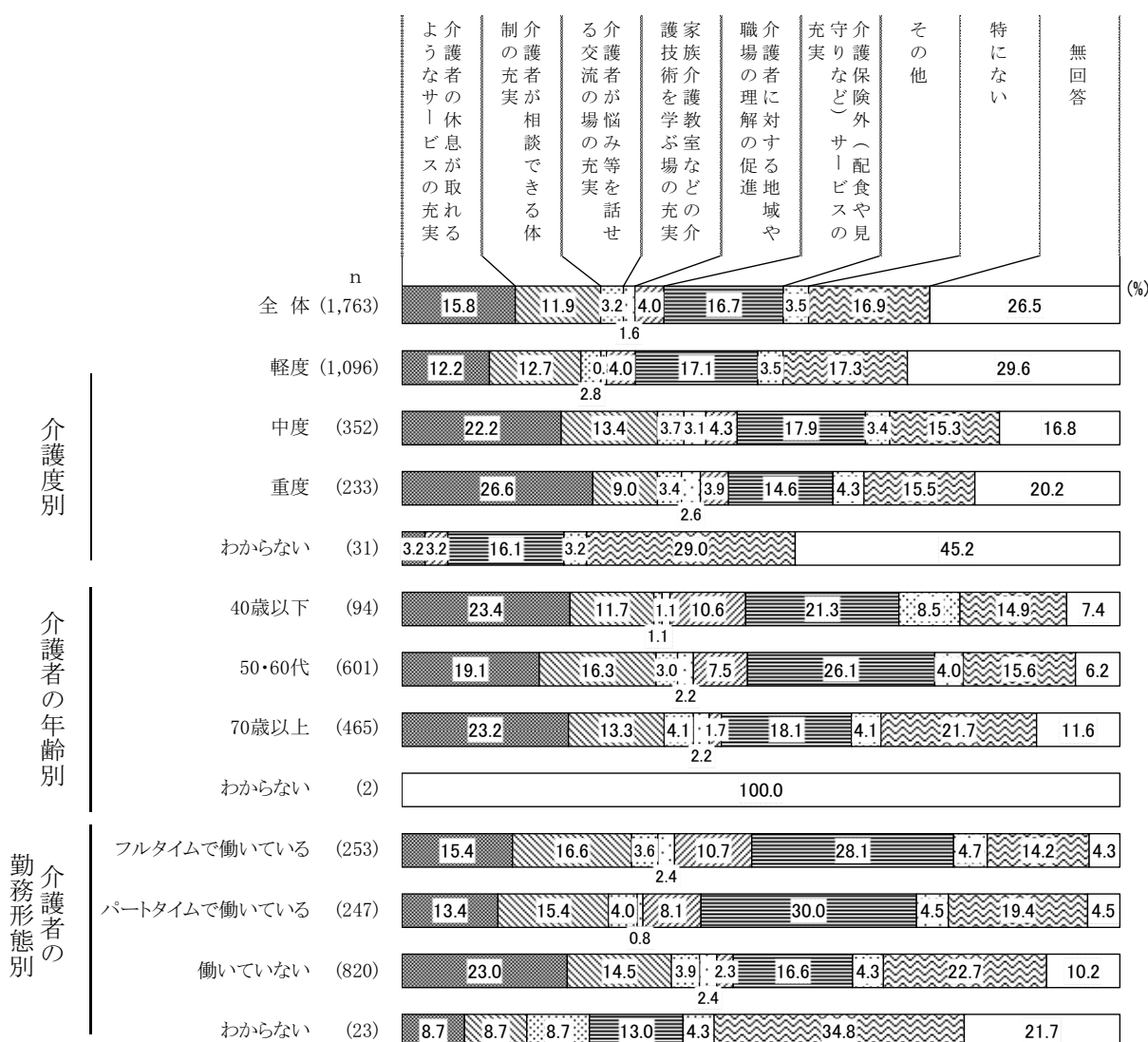


介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」の割合が多くなる傾向にある。

介護者の年齢別でみると、『40歳以下』および『70歳以上』では「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」がそれぞれ23.4%、23.2%で最も多くなっている。『50・60代』では「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が26.1%で最も多くなっている。

介護者の勤務形態別でみると、『フルタイムで働いている』および『パートタイムで働いている』では「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」がそれぞれ28.1%、30.0%で最も多くなっている。『働いていない』では「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が23.0%で最も多くなっている。

○市へ最も望む支援／介護度別、介助者の年齢別、介護者の勤務形態別

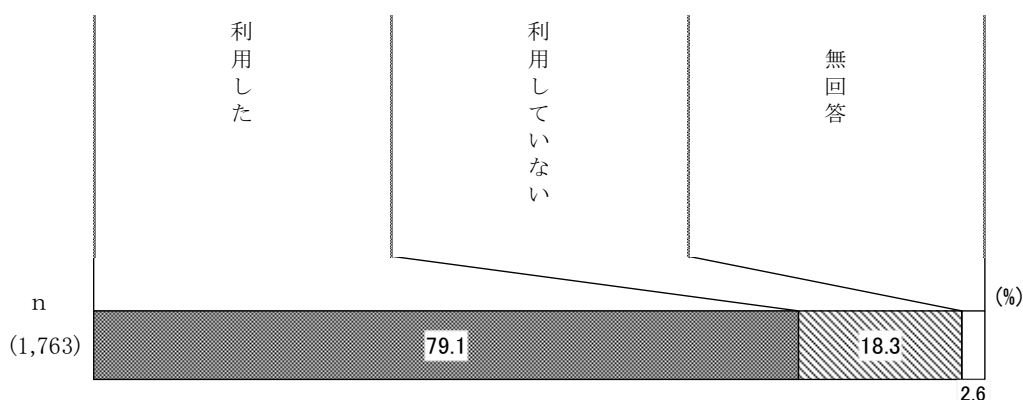


## 4. 介護保険サービスについて

### (1) 介護保険サービス利用の有無

問27 令和元年12月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。(1つだけ○印)

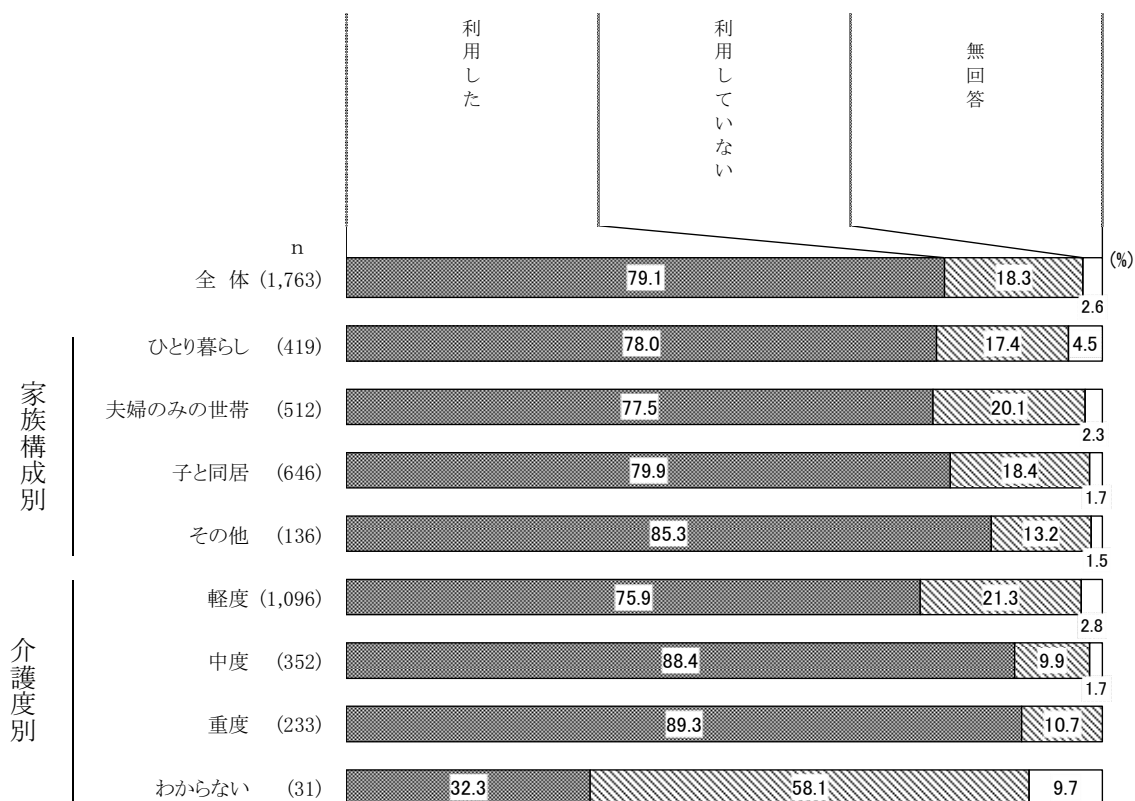
介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が79.1%、「利用していない」が18.3%となっている。



家族構成別でみると、いずれも「利用した」の割合が7割以上となっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「利用した」の割合は多くなる傾向にある。

○介護保険サービス利用の有無／家族構成別、介護度別

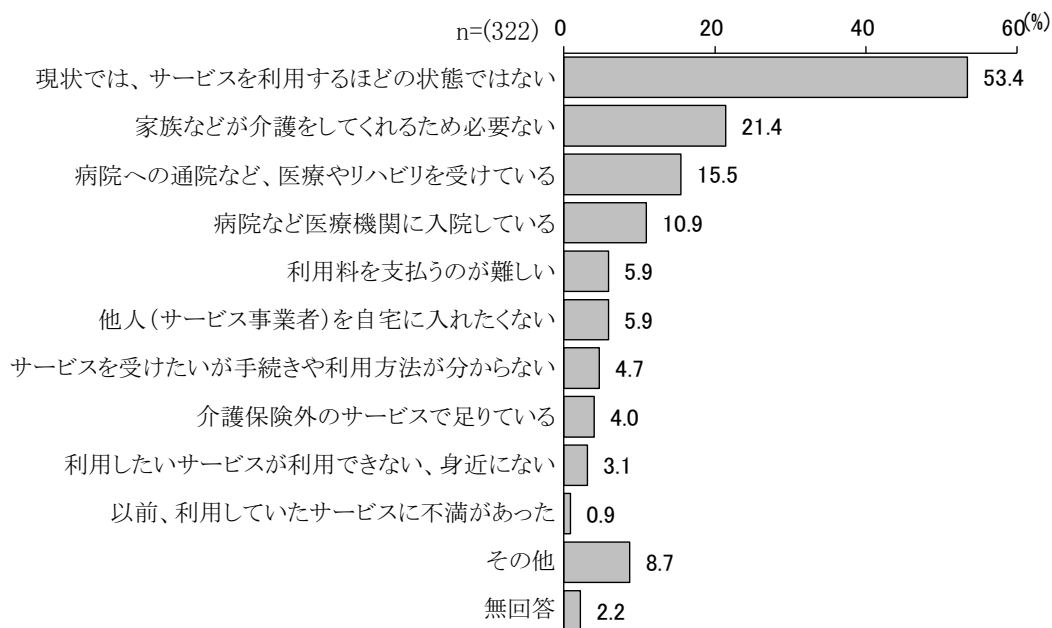




## (2) 介護保険サービスを利用していない理由

問28 《問27で「利用していない」と回答した方》 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.4%で最も多く、次いで「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が21.4%、「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が15.5%となっている。



第2章 調査結果の詳細

家族構成別でみると、いずれも「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が5割以上で最も多くなっている。

介護度別でみると、『軽度』では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が59.2%で最も多くなっている。『重度』では「病院など医療機関に入院している」が80.0%で最も多くなっている。

○介護保険サービスを利用していない理由／家族構成別、介護度別

	調査数 (件)	どビ現 のステ 状を以 てはす なほ	要し家 ない族 いくな れどが た介 め護 必を	りど病 を、院 受医へ けて療 てや通 いる院 ハな ビ	に病 入院 など して 医療 機関	が利 難用 し料 い支 払い の	れた業 たく者 くない(一 を自サ 宅ビ にス 入事	(%)
全体	322	53.4	21.4	15.5	10.9	5.9	5.9	

問5 家族構成別

ひとり暮らし	73	53.4	12.3	15.1	9.6	5.5	5.5	
夫婦のみの世帯	103	53.4	21.4	20.4	9.7	6.8	8.7	
子と同居	119	54.6	28.6	12.6	11.8	6.7	3.4	
その他	18	38.9	16.7	11.1	11.1	-	11.1	

問7 介護度別

軽度	233	59.2	24.0	17.6	1.7	6.4	6.4	
中度	35	40.0	25.7	14.3	25.7	8.6	8.6	
重度	25	-	4.0	4.0	80.0	-	-	
わからない	18	72.2	11.1	11.1	5.6	-	5.6	

	調査数 (件)	方がサ が手ビ 分続ス かきを らや受 ない利 け用た	ビ介 ス護 で保 足険 り外 ての いサ る	いス利 、が用 身利し 近用た にでい なきサ いな ビ	がた以 あサ前 っし、 たビ利 ス用 にして 満い	そ の 他	無 回 答	(%)
全体	322	4.7	4.0	3.1	0.9	8.7	2.2	

問5 家族構成別

ひとり暮らし	73	5.5	5.5	-	2.7	8.2	4.1	
夫婦のみの世帯	103	4.9	3.9	2.9	-	13.6	1.0	
子と同居	119	4.2	2.5	4.2	0.8	4.2	1.7	
その他	18	5.6	11.1	11.1	-	11.1	5.6	

問7 介護度別

軽度	233	5.2	4.7	3.9	0.9	7.3	2.1	
中度	35	5.7	-	2.9	-	11.4	-	
重度	25	-	4.0	-	-	12.0	4.0	
わからない	18	-	5.6	-	-	5.6	5.6	

(3) 介護保険サービスの利用状況と満足度

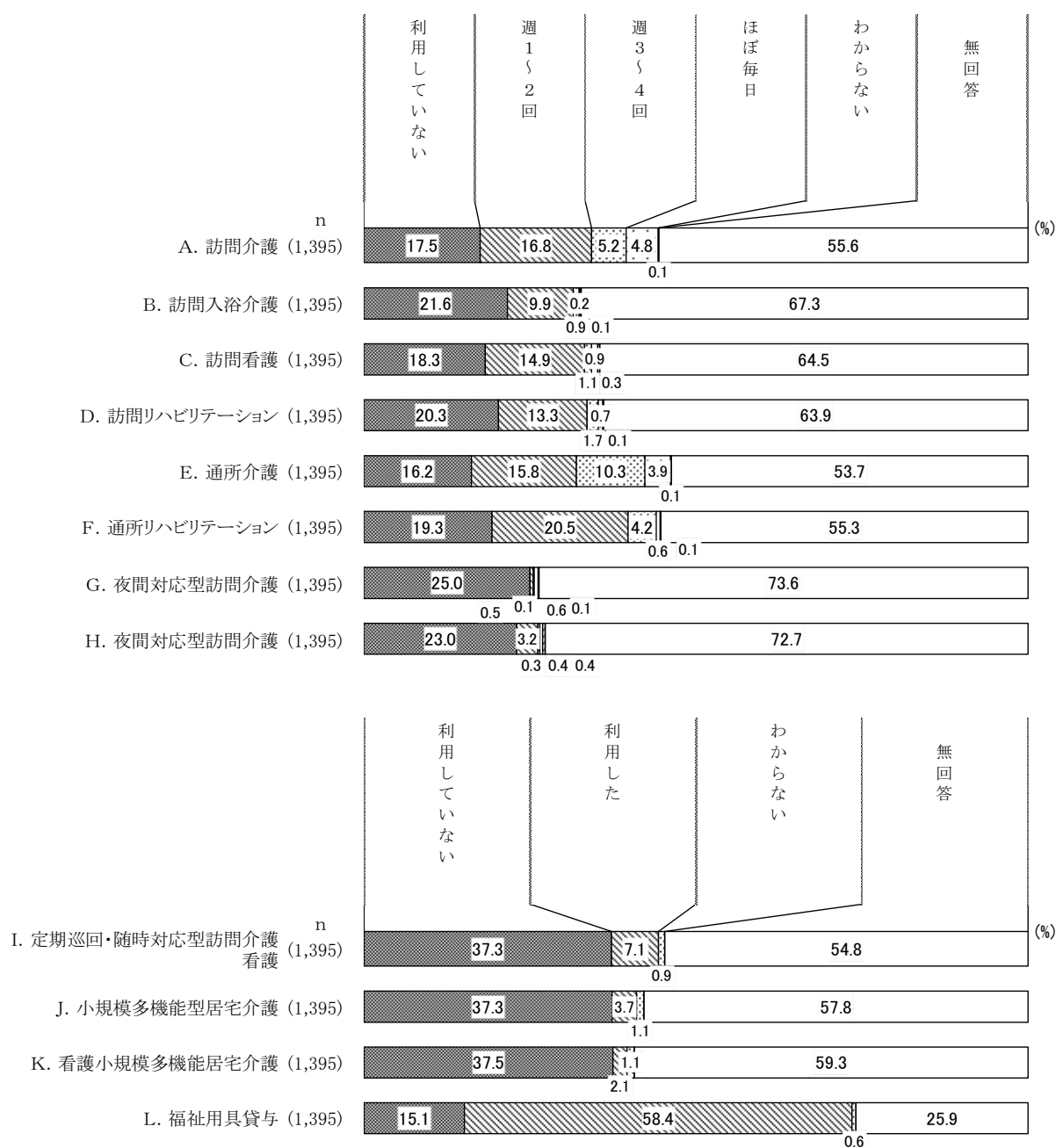
問29 《問27で「利用した」と回答した方》

以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください（それぞれ1つに○印）

また、利用したサービスの満足度をご回答ください。（それぞれ1つに○印）

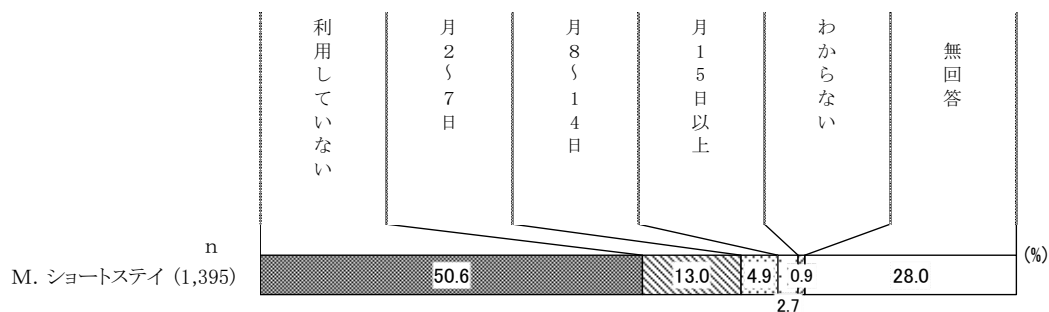
①介護保険サービスの利用状況

利用したサービスの利用状況は、以下の通りである。



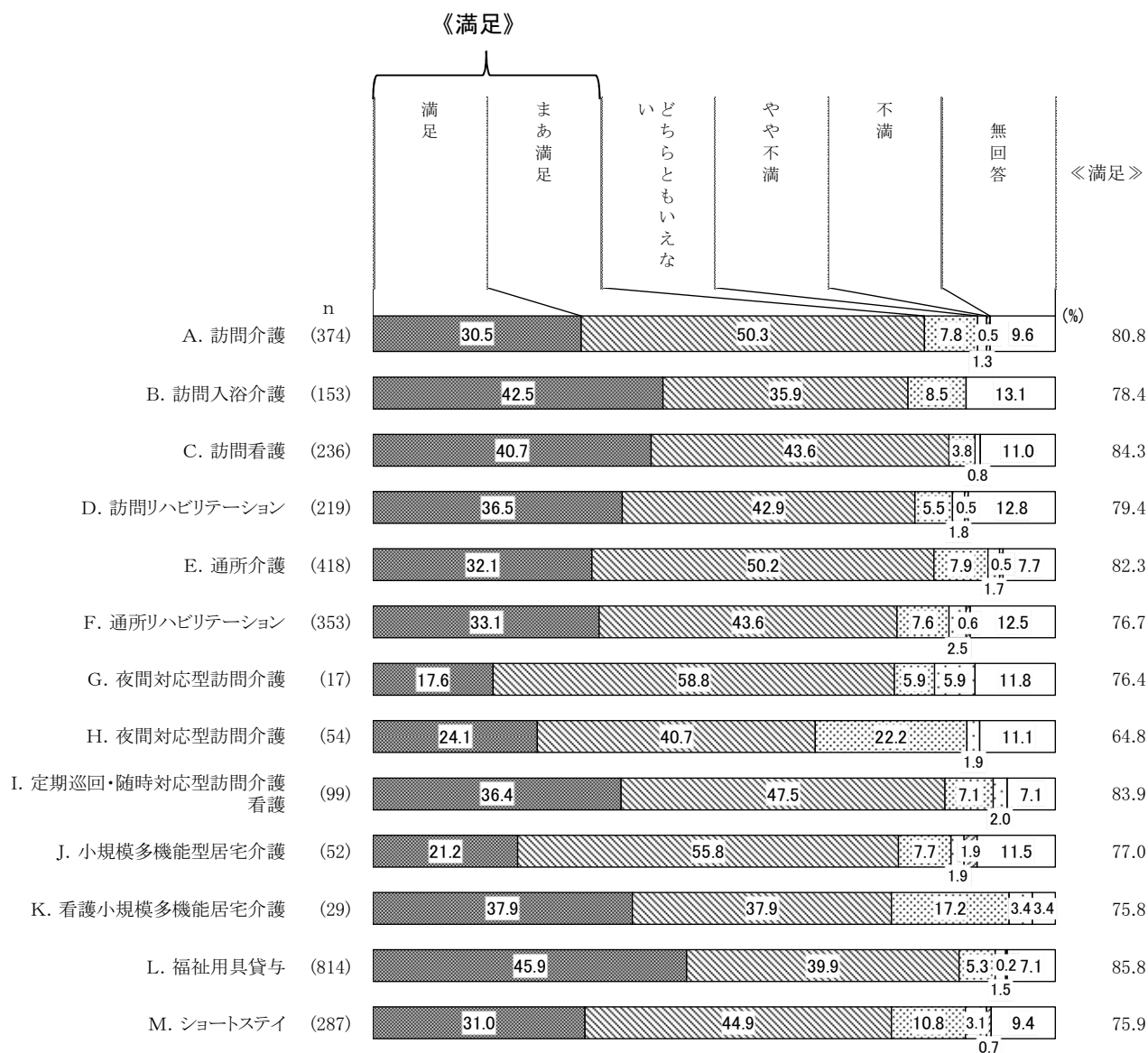
(次ページに続く)

## 第2章 調査結果の詳細



### ②介護保険サービスの満足度

「満足」「まあ満足」を合計した《満足》は、『L. 福祉用具貸与』が85.8%で最も多く、次いで『C. 訪問看護』が84.3%、『I. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護』が83.9%となっている。



(4) ケアプランやケアマネジャー等の満足度

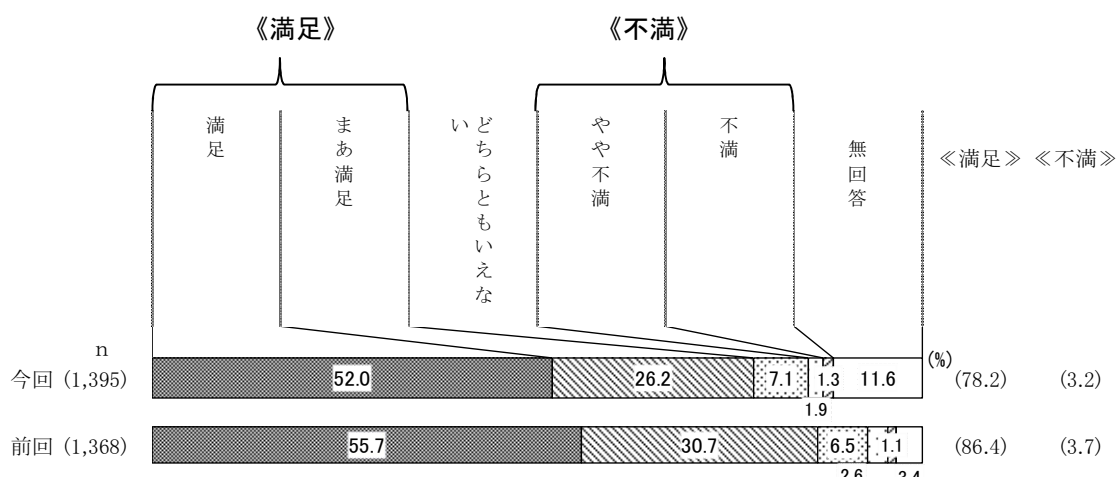
問30 《問27で「利用した」と回答した方》

介護保険サービスを利用する場合には、サービスの計画（ケアプラン）に基づいてサービスを利用する必要があります。ケアプランを作成するのは、主にケアマネジャーと呼ばれる介護の専門の方ですが、あなたは、現在のケアプランやケアマネジャー等の対応に満足していますか。（1つだけ〇印）

ケアプランやケアマネジャー等の満足度は、「満足」が52.0%で最も多く、次いで「まあ満足」が26.2%で、これらを合わせた“満足（計）”は78.2%となっている。

前回調査と比較すると、“満足（計）”は8.2ポイント減少している。

○ケアプランやケアマネジャー等の満足度／経年比較

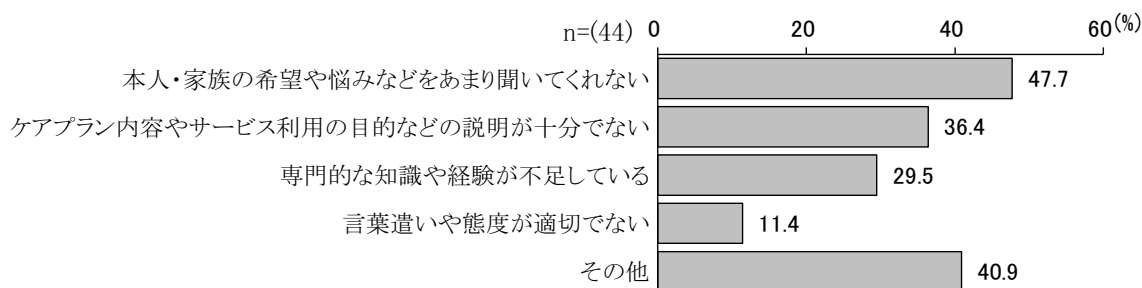


(5) ケアプランやケアマネジャーに対する不満

問31 《問30で「やや不満」「不満」と回答した方》

どのようなことに不満がありますか。（複数回答可）

ケアプランやケアマネジャーに対する不満は、「本人・家族の希望や悩みなどをあまり聞いてくれない」が47.7%で最も多く、次いで「ケアプラン内容やサービス利用の目的などの説明が十分でない」が36.4%、「専門的な知識や経験が不足している」が29.5%となっている。



## 第2章 調査結果の詳細

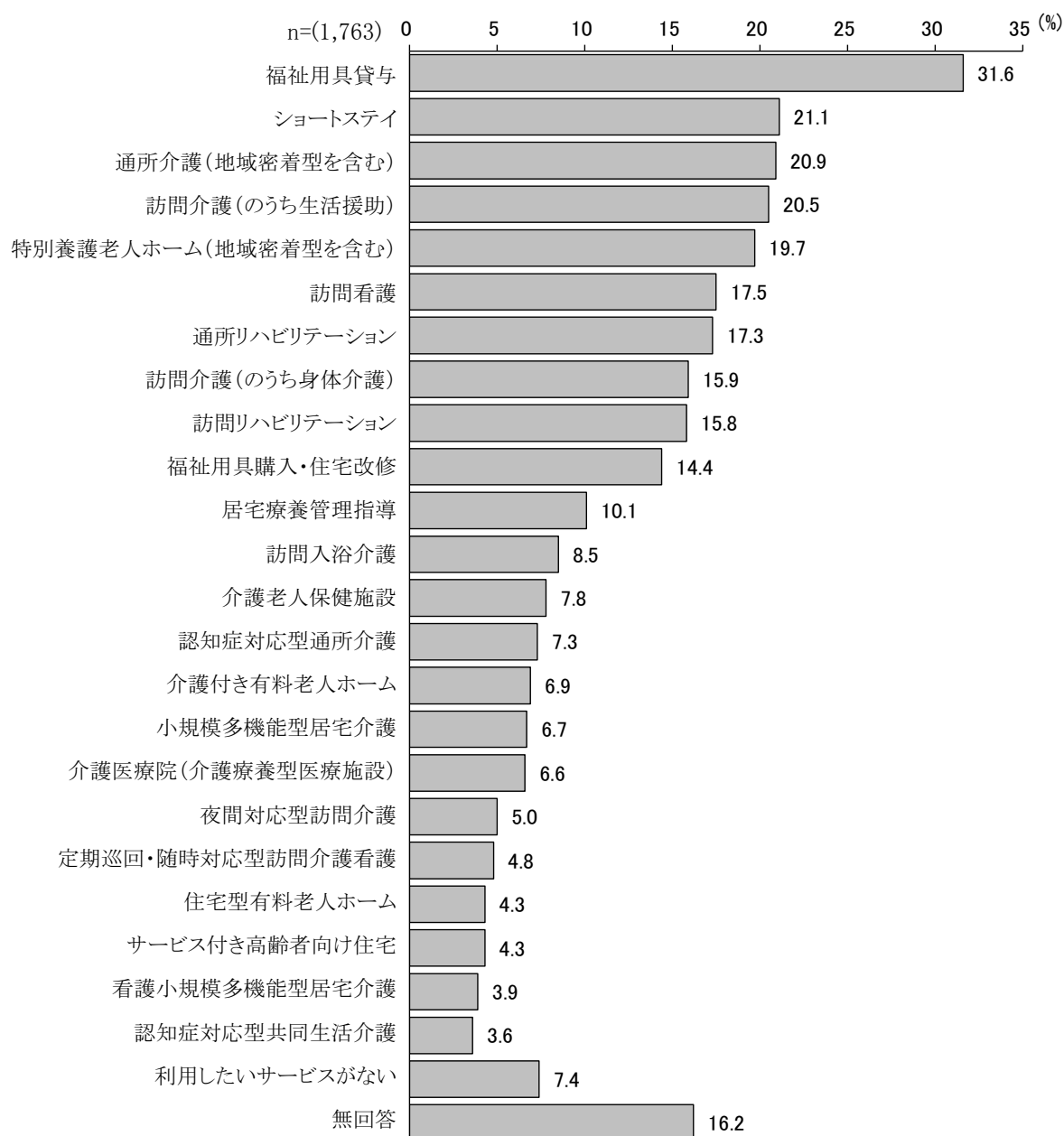
### ○その他の内容（一部抜粋）

- ・何かあると“すぐに入所を考えましょう”と言う。今日、今の現状を少しでも改善し、本人の安全を確保、介護者（私）の負担を減らしたいのに、その対応をとるより“入所”をすすめる。
- ・支援サービス時間が足りず、それを考えると本当にその場しのぎのみであり、諦めている。制約もきつく、例えば少し高い所の物を取って頂いたりする事や（軽い物）、買い物の店の選択等は時間内であっても、要求は出来ない。45分の優先はお願い事のバリエーションを増やして欲しい。
- ・事務的な所が有る。
- ・こちらの要望をほとんど聞き入れず、一方的にプランを立て押し付けられる。
- ・大切な提出書類をなくされた。約束を守らない。1ヶ月も放置された。自己中心で自分の考えを押しつける。
- ・無料（1割）の利用が可能でも教えてくれない。
- ・毎月A4の印刷用紙に署名、印するよう送ってくるのみ。具体的な相談や今後の計画について、何も話してくれない。責任者にTEL、相談してもものりくらりであり、何の解決にもならない。週4日行っているが、高い保険料と高い食事代を搾取してるにすぎない。どこへ相談すれば良いか。
- ・こちらが要望しないと具体的なアドバイスがもらえない。
- ・掃除を頼んでも娘がいると食堂リビングは掃除しない。本人が1日中椅子に座っている場所。
- ・心配する言葉を言うだけで、なにも具体的な提案をしてくれない（動いてくれない）。
- ・ヘルパーさん、看護師さんへの連絡ができていない。
- ・必要な時に必要なサービスを組めない。
- ・ビジネス的で親身でなく、本人の様子は把握しようともしてくれません（こちらから質問しないとそのまま放置）。施設に入居しているので、他のケアマネジャーに変えてもらうこともできません。
- ・あまり話を聞いてないと感じる時がある。
- ・通常の対応は書類をポストの投函のみ、あまり立寄らない。

## (6) 今後利用したいサービス

問32 自宅で生活するうえで、今後利用したい介護サービスはどれですか。1～24の番号に○印をつけてください。(複数回答可)

今後利用したいサービスは、「福祉用具貸与」が31.6%で最も多く、次いで「ショートステイ」が21.1%、「通所介護（地域密着型を含む）」が20.9%となっている。



家族構成別でみると、『ひとり暮らし』では「訪問介護（のうち生活援助）」が37.5%で最も多くなっている。『夫婦のみの世帯』および『子と同居』では「福祉用具貸与」がそれぞれ29.9%、34.1%で最も多くなっている。

介護度別でみると、いずれも「福祉用具貸与」が3割以上で最も多くなっている。※次ページ参照

第2章 調査結果の詳細

○今後利用したいサービス／家族構成別、介護度別

	調査数 (件)	福祉用具貸与	ショートステイ	通所介護 (地域密着型を含む)	訪問介護 (のうち生活援助)	特別養護老人ホーム (地域密着型を含む)	訪問看護	通所リハビリテーション	訪問介護 (のうち身体介護)	(%)
全体	1763	31.6	21.1	20.9	20.5	19.7	17.5	17.3	15.9	
問5 家族構成別										
ひとり暮らし	419	30.8	12.4	16.7	37.5	15.8	15.5	15.5	16.5	
夫婦のみの世帯	512	29.9	19.1	19.1	17.4	17.4	17.4	20.7	14.6	
子と同居	646	34.1	28.9	26.2	14.1	24.8	20.1	17.2	16.4	
その他	136	27.2	19.1	17.6	11.8	17.6	13.2	11.0	17.6	
問7 介護度別										
軽度	1096	31.7	16.5	20.1	24.0	15.0	15.2	19.8	12.9	
中度	352	32.4	31.5	27.0	17.6	29.8	17.9	16.2	22.2	
重度	233	33.5	30.5	20.2	11.6	29.6	29.6	8.2	23.6	
わからない	31	12.9	16.1	9.7	9.7	16.1	16.1	9.7	12.9	

	調査数 (件)	訪問リハビリテーション	福祉用具購入・住宅改修	居宅療養管理指導	訪問入浴介護	介護老人保健施設	認知症対応型通所介護	介護付き有料老人ホーム	小規模多機能型居宅介護	(%)
全体	1763	15.8	14.4	10.1	8.5	7.8	7.3	6.9	6.7	
問5 家族構成別										
ひとり暮らし	419	12.9	14.6	10.5	7.2	8.4	4.5	6.4	4.1	
夫婦のみの世帯	512	17.8	14.3	9.4	6.6	9.2	6.8	6.6	4.9	
子と同居	646	15.9	14.7	11.0	10.7	7.7	9.6	7.6	10.4	
その他	136	14.7	12.5	10.3	6.6	2.9	6.6	7.4	5.9	
問7 介護度別										
軽度	1096	14.7	14.8	6.8	6.4	8.3	5.1	7.1	6.1	
中度	352	14.8	16.5	14.8	9.7	7.4	13.6	8.2	8.5	
重度	233	22.3	9.4	20.6	17.6	7.3	9.0	6.4	7.3	
わからない	31	6.5	12.9	6.5	3.2	6.5	6.5	-	6.5	

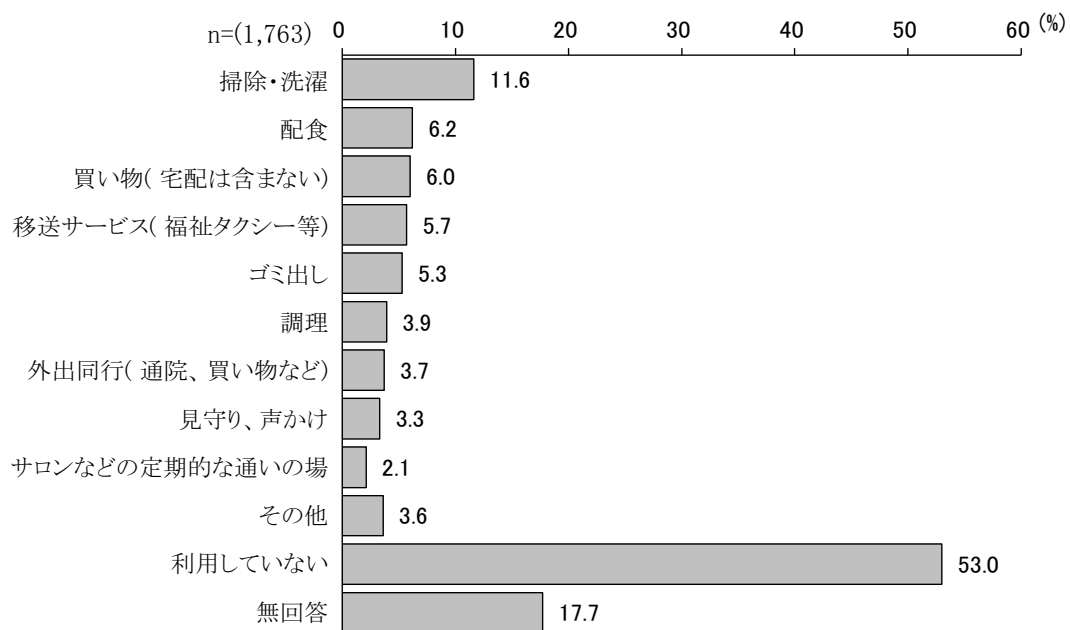
	調査数 (件)	(介護療養型医療施設)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	利用したいサービスがない	無回答	(%)
全体	1763	6.6	5.0	4.8	4.3	4.3	3.9	3.6	7.4	16.2	
問5 家族構成別											
ひとり暮らし	419	6.2	6.2	6.2	7.9	6.9	2.9	3.3	7.2	18.9	
夫婦のみの世帯	512	6.1	5.3	4.3	4.1	4.1	3.9	1.8	7.8	17.4	
子と同居	646	7.4	4.3	5.4	2.6	2.6	4.5	5.1	6.7	12.5	
その他	136	6.6	4.4	1.5	2.9	3.7	5.1	4.4	8.8	19.9	
問7 介護度別											
軽度	1096	5.3	3.8	5.0	4.2	5.0	3.6	3.2	7.8	16.1	
中度	352	7.7	5.7	3.7	4.3	4.3	3.1	5.7	4.0	10.8	
重度	233	11.2	10.7	6.9	5.2	0.9	7.3	3.0	6.9	16.3	
わからない	31	9.7	3.2	3.2	3.2	3.2	6.5	3.2	35.5	32.3	



## (7) 利用している介護保険外サービス

問33 現在、利用している『介護保険外サービス』の支援・サービスをご回答ください。  
(複数回答可)

利用している介護保険外サービスは、「掃除・洗濯」が11.6%で最も多く、次いで「配食」が6.2%、「買い物(宅配を含まない)」が6.0%となっている。一方で、「利用していない」は53.0%となっている。



第2章 調査結果の詳細

家族構成別でみると、『ひとり暮らし』では「掃除・洗濯」が28.2%で多くなっている。『夫婦のみの世帯』および『子と同居』では「利用していない」がそれぞれ50.2%、70.0%で最も多くなっている。

介護度別でみると、いずれも「利用していない」が5割以上で最も多くなっている。

介護者の年齢別でみると、いずれも「利用していない」が5割以上で最も多くなっている。

○利用している介護保険外サービス／家族構成別、介護度別、介護者の年齢別

	調査数 (件)	掃除・洗濯	配食	買わない物 (宅配は含)	移送サービス (福祉)	ゴミ出し	調理	(%)
全体	1763	11.6	6.2	6.0	5.7	5.3	3.9	

問5 家族構成

ひとり暮らし	419	28.2	10.7	15.8	5.5	14.3	6.0	
夫婦のみの世帯	512	7.6	5.7	4.7	8.4	3.3	4.3	
子と同居	646	4.2	3.7	1.2	3.9	0.6	1.5	
その他	136	8.1	5.9	2.2	4.4	6.6	4.4	

問7 介護度別

軽度	1096	13.1	5.2	6.5	3.4	5.1	3.6	
中度	352	9.4	8.5	5.1	8.0	5.1	4.5	
重度	233	8.2	8.6	5.2	14.6	6.4	5.2	
わからない	31	3.2	6.5	3.2	3.2	6.5	-	

問17 主な介護者の方の年齢

40歳以下	94	13.8	2.1	8.5	9.6	6.4	5.3	
50・60代	601	10.8	7.5	4.5	5.3	4.8	4.7	
70歳以上	465	5.6	5.8	2.8	8.2	2.8	1.9	
わからない	2	-	-	-	-	-	-	

	調査数 (件)	外出同行 (買い物など、 通院)	見守り、 声かけ	サロンなどの 定期的な 通いの場	その他	利用していない	無回答	(%)
全体	1763	3.7	3.3	2.1	3.6	53.0	17.7	

問5 家族構成

ひとり暮らし	419	7.2	7.6	3.6	5.0	32.0	15.5	
夫婦のみの世帯	512	2.9	2.3	2.5	4.5	50.2	21.3	
子と同居	646	1.2	0.9	0.9	2.5	70.0	14.6	
その他	136	5.9	5.9	0.7	1.5	55.9	22.1	

問7 介護度別

軽度	1096	3.2	2.8	2.9	4.3	52.0	16.8	
中度	352	4.0	3.4	-	2.6	59.1	16.5	
重度	233	4.3	5.6	-	1.3	54.5	17.6	
わからない	31	12.9	3.2	3.2	9.7	48.4	25.8	

問17 主な介護者の方の年齢

40歳以下	94	6.4	4.3	2.1	4.3	54.3	11.7	
50・60代	601	2.5	3.7	2.3	2.8	59.2	10.5	
70歳以上	465	2.6	1.5	2.2	3.9	58.3	17.0	
わからない	2	-	-	-	-	-	100.0	

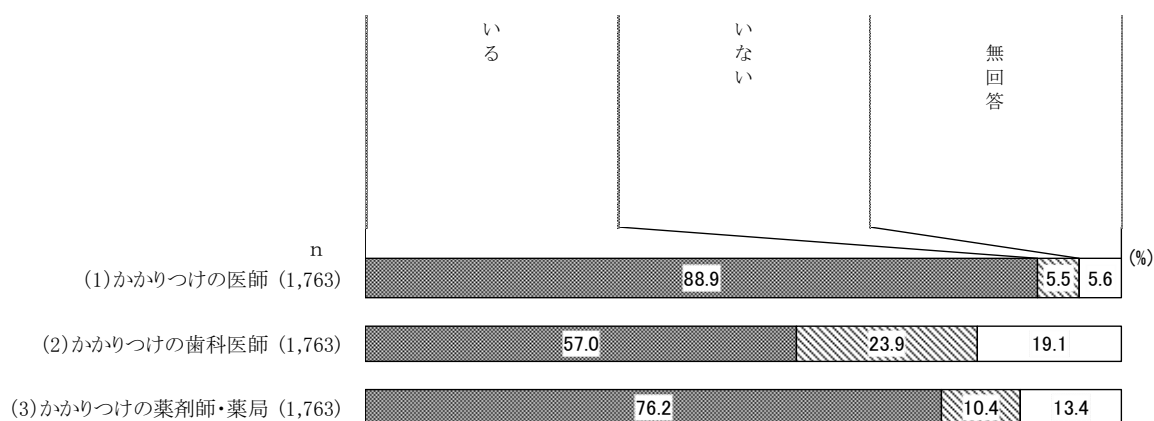
(8) かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無

問34 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

かかりつけ医師の有無は、「いる」が88.9%、「いない」が5.5%となっている。

かかりつけの歯科医師の有無は、「いる」が57.0%、「いない」が23.9%となっている。

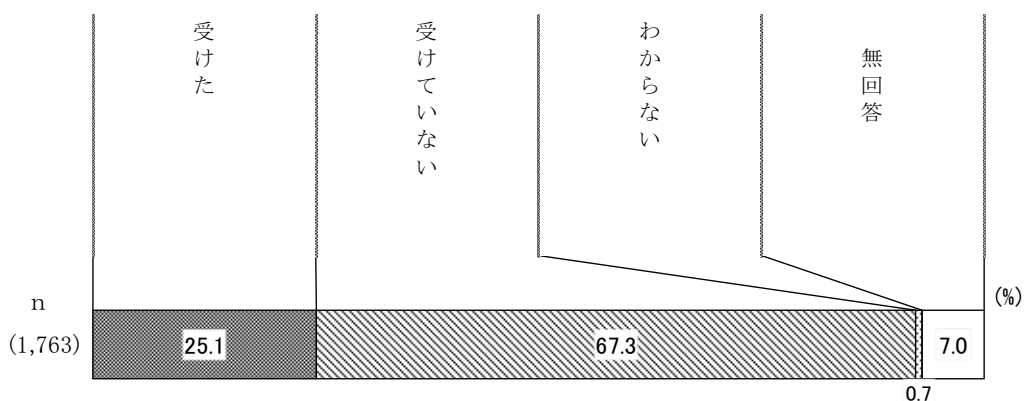
かかりつけ薬剤師・薬局の有無は、「いる」が76.2%、「いない」が10.4%となっている。



(9) 訪問診療の受診状況

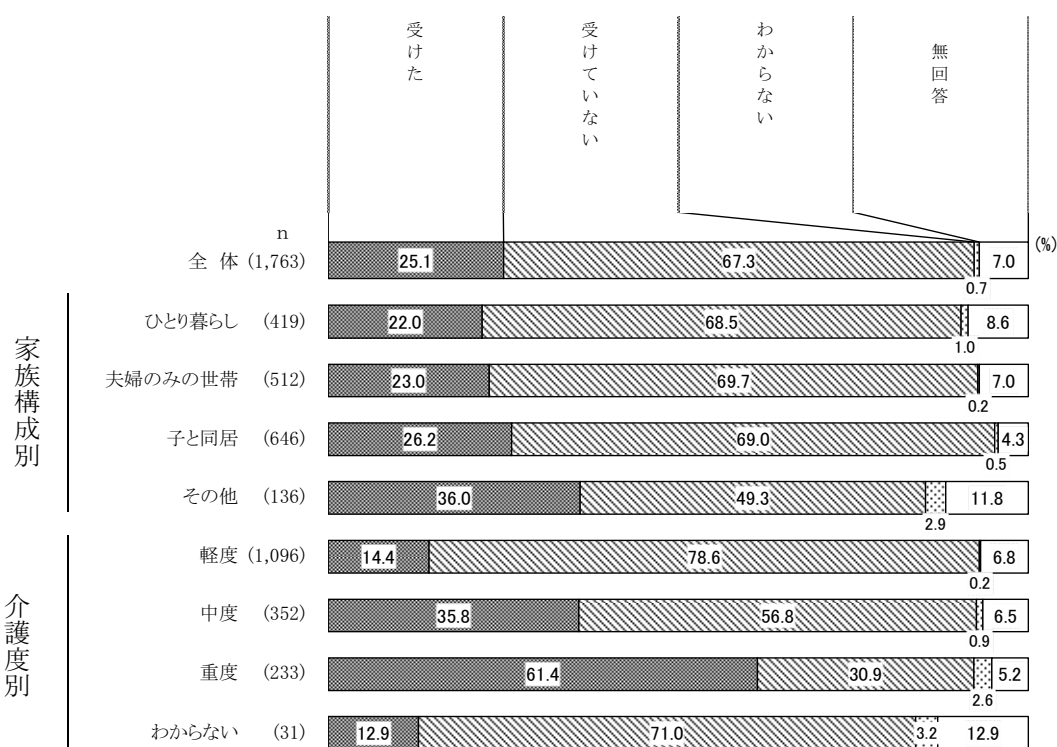
問35 あなたは、令和元年12月の1か月間に、医師や歯科医師、看護師などからの訪問により、診療を受けましたか。(1つだけ○印)

訪問診療の受診状況は、「受けていない」が67.3%で最も多く、次いで「受けた」が25.1%、「わからない」が0.7%となっている。



家族構成別でみると、いずれも「受けていない」が6割以上で最も多くなっている。介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「受けた」の割合が多くなる傾向にある。

○訪問診療の受診状況／家族構成別、介護度別

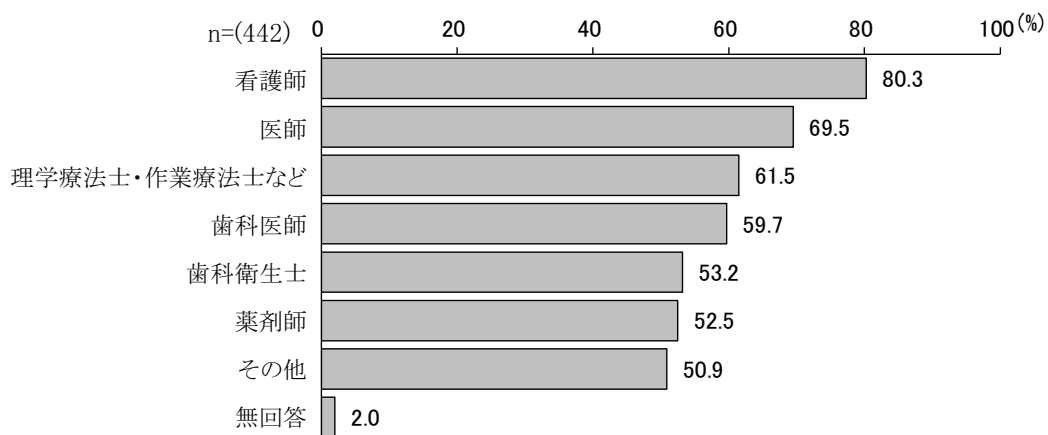


## (10) 自宅を訪問している方

## 問36 《問35で「受けた」と回答した方》

ご自宅を訪問しているのはどなたですか。また、訪問回数はどれくらいですか。(複数回答可)

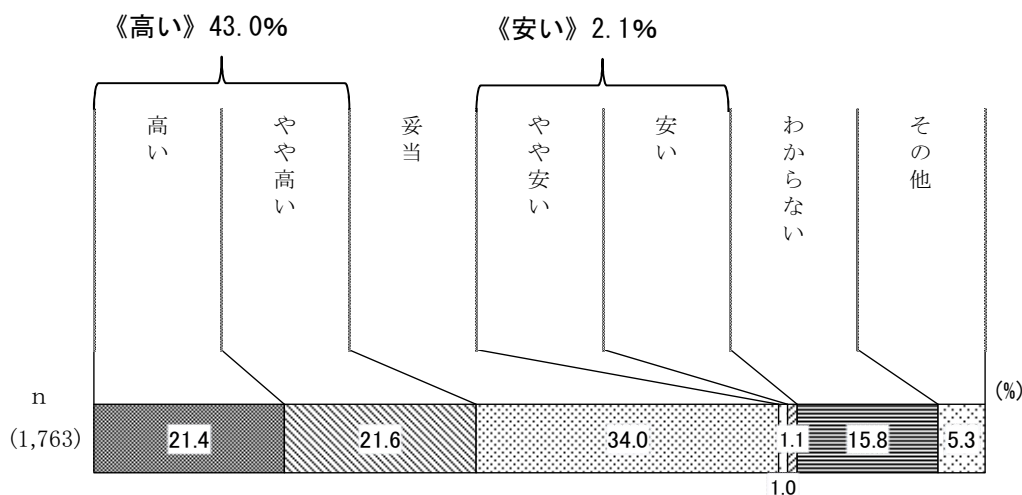
自宅を訪問している方は、「看護師」が80.3%で最も多く、次いで「医師」が69.5%、「理学療法士・作業療法士など」が61.5%となっている。



(11) 介護保険料の負担感

問37 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

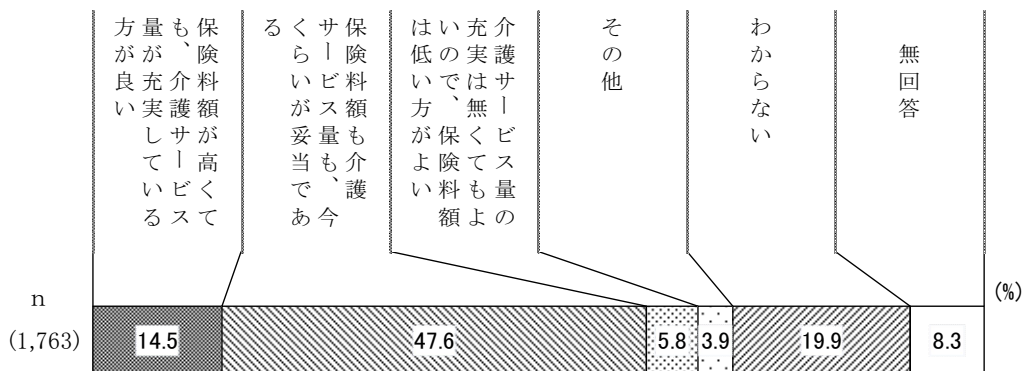
介護保険料の負担感は、「妥当」が34.0%で最も多く、次いで「やや高い」が21.6%となっており、「高い」(21.4%)を合わせると、「高い(計)」は43.0%である。



(12) 今後の介護保険とサービスのあり方

問38 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つだけ○印)

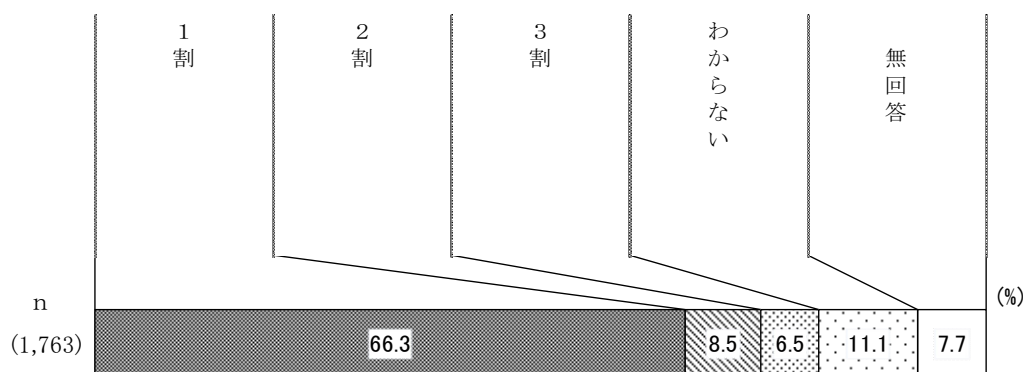
今後の介護保険とサービスのあり方は、「保険料も介護サービス量も、今くらいが妥当である」が47.6%で最も多く、次いで「わからない」が19.9%、「保険料が高くて、介護サービス量が充実している方がよい」が14.5%となっている。



(13) 介護保険サービス利用時の自己負担割合

問39 介護保険サービスを利用した際の自己負担割合についてご回答ください。(1つだけ○印)

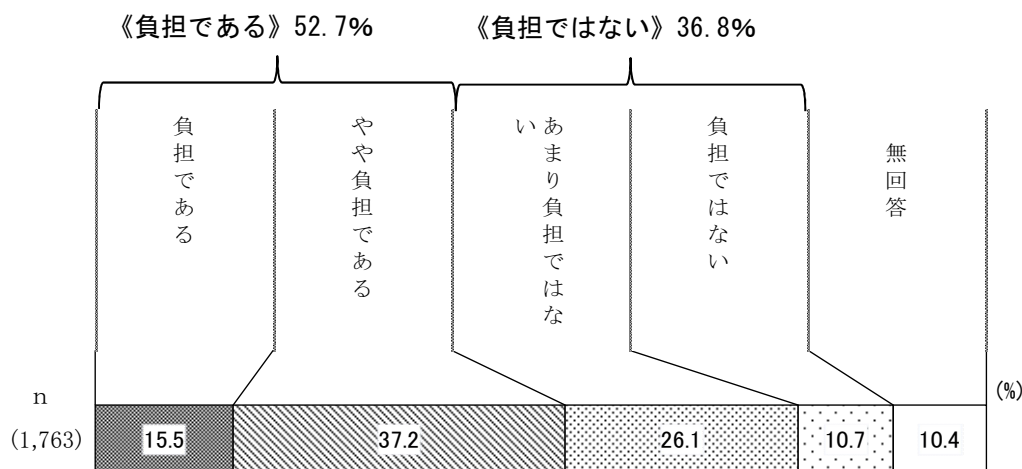
介護保険サービス利用時の自己負担割合は、「1割」が66.3%で最も多く、次いで「わからない」が11.1%、「2割」が8.5%となっている。



(14) 介護保険サービスの利用時の自己負担の負担感

問40 介護保険サービスを利用した際の自己負担(サービス費用の1割～3割相当分)について、どのように感じますか。(1つだけ○印)

介護保険サービス利用時の自己負担の負担感について、「負担である」(15.5%)と「やや負担である」(37.2%)を合わせると、「負担である(計)」は52.7%である。一方、「あまり負担ではない」(26.1%)と「負担ではない」(10.7%)を合わせると、「負担ではない(計)」は36.8%である。



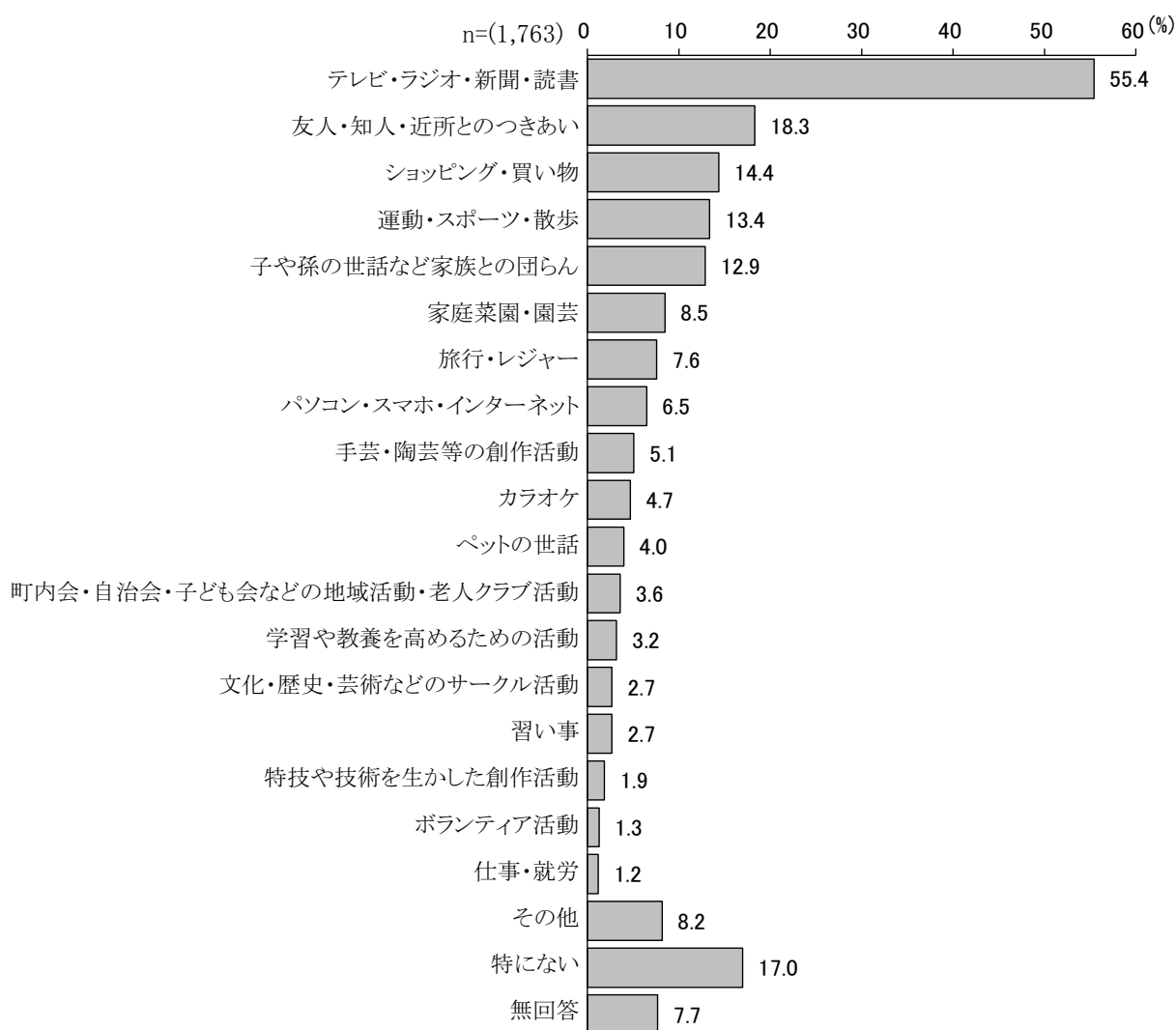
## 5. 生きがい・楽しみについて

### (1) 生きがい・今後してみたいこと

問41 (1) 現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。また(2) 今後してみたいことはありますか。(1)(2) それぞれにお答えください。  
(それぞれ複数回答可)

#### ① 現在、充実感や生きがいを感じていること

現在、充実感や生きがいを感じていることは、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が55.4%で最も多く、次いで「友人・知人・近所とのつきあい」が18.3%、「ショッピング・買い物」が14.4%となっている。





年齢別でみると、いずれも「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が4割以上となっている。

○現在、充実感や生きがいを感じていること／年齢別

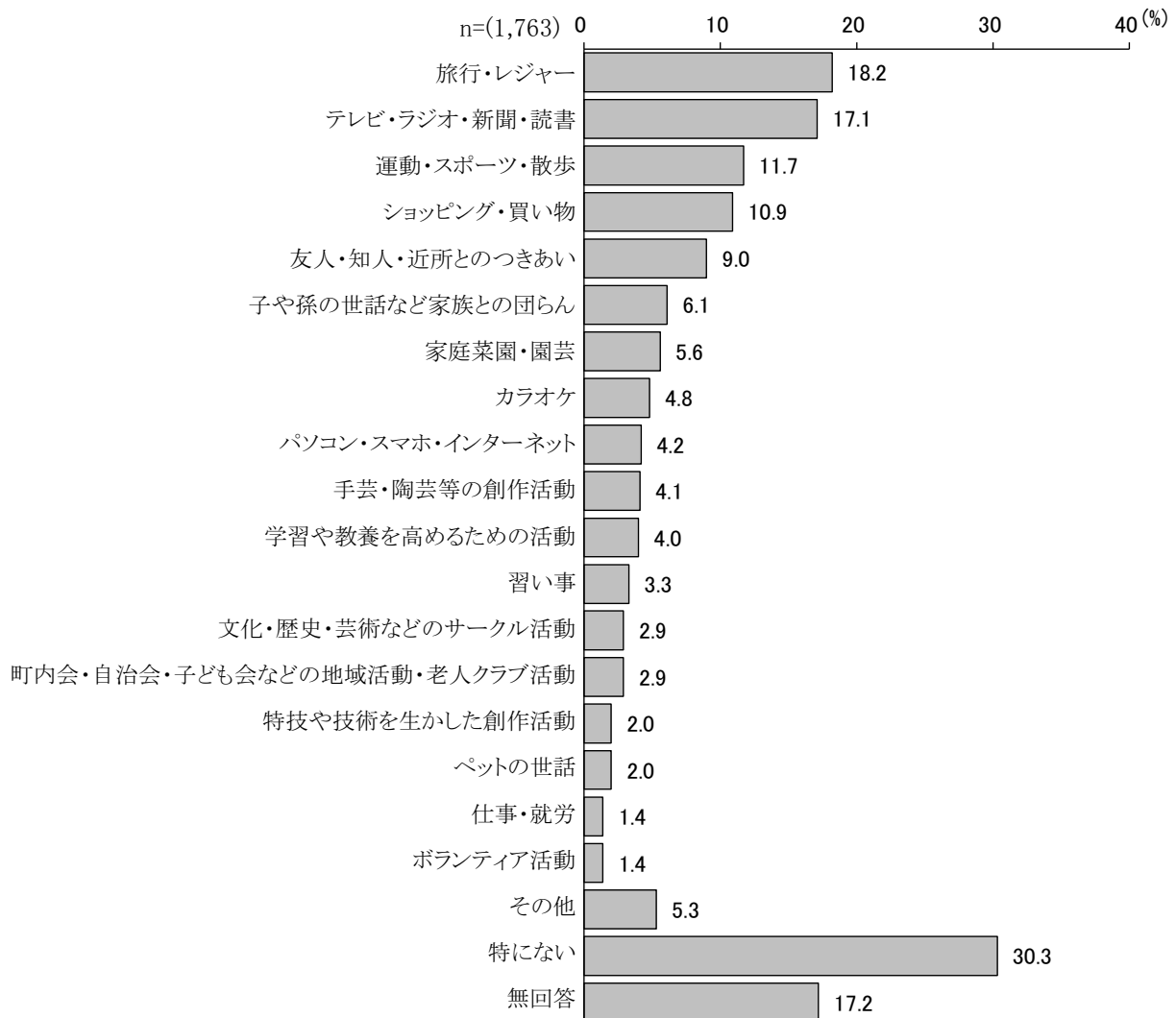
	調査数 (件)	テレビ・ ラジオ・ 新聞・ 読書	友人・知 人・近 所との つきあ い	シヨッ ピング ・買い 物	運動・ スポー ツ・散 歩	子や孫 の世話 など家 族 との団 らん	家庭菜 園・園 芸	旅行・ レジャ ー	パーソ ナル・ ネット ・スマ ホ・イ	手芸・ 陶芸等 の創作 活	カラオ ケ	ペット の世話	(%)
全体	1763	55.4	18.3	14.4	13.4	12.9	8.5	7.6	6.5	5.1	4.7	4.0	
問3 年齢													
65歳未満	25	40.0	8.0	-	4.0	8.0	8.0	4.0	-	-	4.0	12.0	
65～74歳	256	57.0	22.7	18.4	15.6	13.3	10.9	13.3	12.5	4.3	6.3	7.0	
75歳以上	1464	55.2	17.8	13.7	13.3	12.9	8.1	6.8	5.5	5.4	4.5	3.1	

	調査数 (件)	老人会 などの クラブ 活動	町内会 ・自治 会・子 ども の活動	学習や 教養を 高める ための 活動	文化・ 歴史・ 芸術な ど	習い事	特技や 技術を 生かした 創作活 動	ボラン ティア 活動	仕事・ 就労	その他	特にな い	無回答	(%)
全体	1763	3.6	3.2	2.7	2.7	1.9	1.3	1.2	8.2	17.0	7.7		
問3 年齢													
65歳未満	25	-	4.0	-	-	-	-	-	4.0	40.0	8.0		
65～74歳	256	2.7	5.1	2.0	4.3	1.6	2.3	3.9	3.1	13.7	6.3		
75歳以上	1464	3.9	2.8	2.9	2.5	2.0	1.2	0.8	9.1	17.3	7.8		

## 第2章 調査結果の詳細

### ② 今後してみたいこと

今後してみたいことは、「特にない」が30.3%で最も多く、次いで「旅行・レジャー」が18.2%、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が17.1%、「運動・スポーツ・散歩」が11.7%となっている。



年齢別でみると、『65～74歳』では「旅行・レジャー」が32.4%で最も多くなっている。

○今後してみたいこと／年齢別

	調査数 (件)	旅行・レジャー	テレビ・ラジオ・新聞・読書	運動・スポーツ・散歩	ショッピング・買い物	友人・知人・近所とのつきあい	子や孫の世話など家族との団らん	家庭菜園・園芸	カラオケ	パソコン・スマホ・インターネット	手芸・陶芸等の創作活動	学習や教養を高めるための活動	(%)
全体	1763	18.2	17.1	11.7	10.9	9.0	6.1	5.6	4.8	4.2	4.1	4.0	
問3 年齢													
65歳未満	25	8.0	16.0	8.0	4.0	-	8.0	4.0	-	-	-	4.0	
65～74歳	256	32.4	18.8	14.5	14.1	9.8	7.8	8.2	5.1	6.6	5.9	8.2	
75歳以上	1464	16.0	16.8	11.4	10.4	9.1	5.7	5.1	4.8	3.9	4.0	3.3	

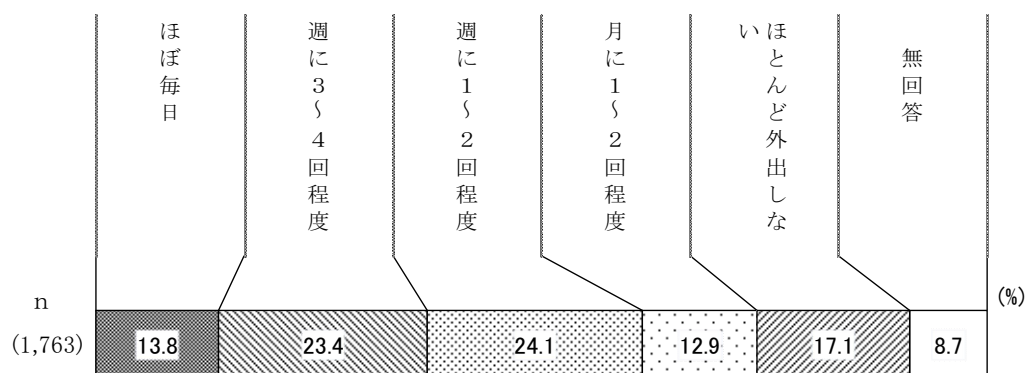
	調査数 (件)	習い事	文化・歴史・芸術などのサークル活動	町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動	特技や技術を生かした創作活動	ペットの世話	仕事・就労	ボランティア活動	その他	特にない	無回答	(%)
全体	1763	3.3	2.9	2.9	2.0	2.0	1.4	1.4	5.3	30.3	17.2	
問3 年齢												
65歳未満	25	-	-	-	-	4.0	-	-	-	60.0	12.0	
65～74歳	256	3.5	4.7	2.3	2.0	5.5	5.1	4.3	2.3	21.5	11.7	
75歳以上	1464	3.3	2.7	3.1	2.0	1.4	0.8	1.0	5.9	31.4	18.0	

## 6. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて

### (1) 外出頻度

問42 外出（散歩や通院も含む）はどのくらいの頻度で行っていますか。（1つだけ○印）

外出頻度は、「週に1～2回程度」が24.1%で最も多く、次いで「週に3～4回程度」が23.4%、「ほとんど外出しない」が17.1%となっている。

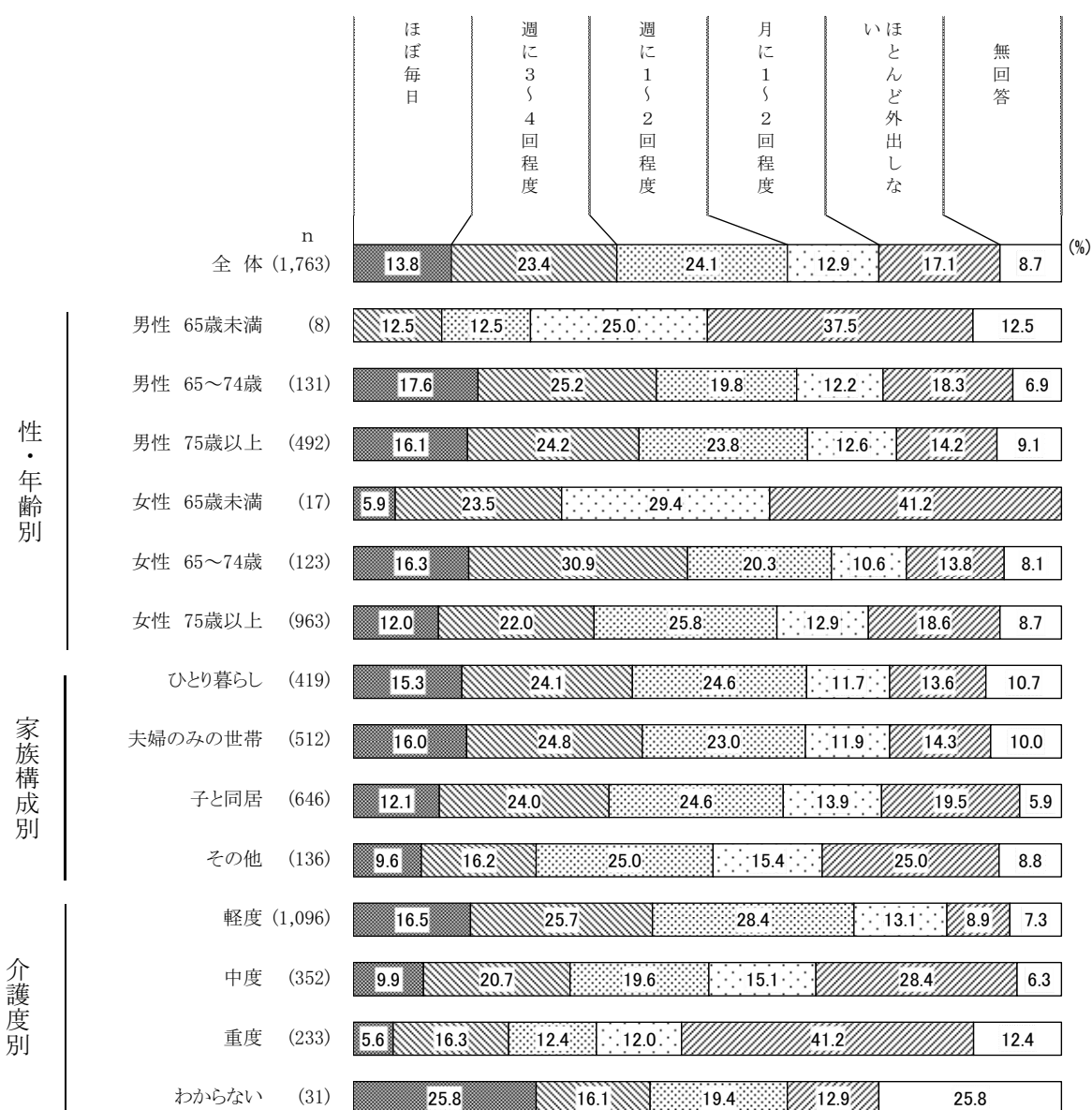


性・年齢別で見ると、『男性65～74歳』、『男性75歳以上』、『女性65～74歳』では「週に3～4回程度」がそれぞれ25.2%、24.2%、30.9%で最も多くなっている。『女性75歳以上』では「週に1～2回程度」が25.8%で最も多くなっている。

家族構成別で見ると、『ひとり暮らし』および『子と同居』では「週に1～2回程度」が24.6%で最も多くなっている。『夫婦のみの世帯』では「週に3～4回程度」が24.8%で最も多くなっている。

介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が多くなる傾向にある。

○外出頻度／性・年齢別、家族構成別、介護度別

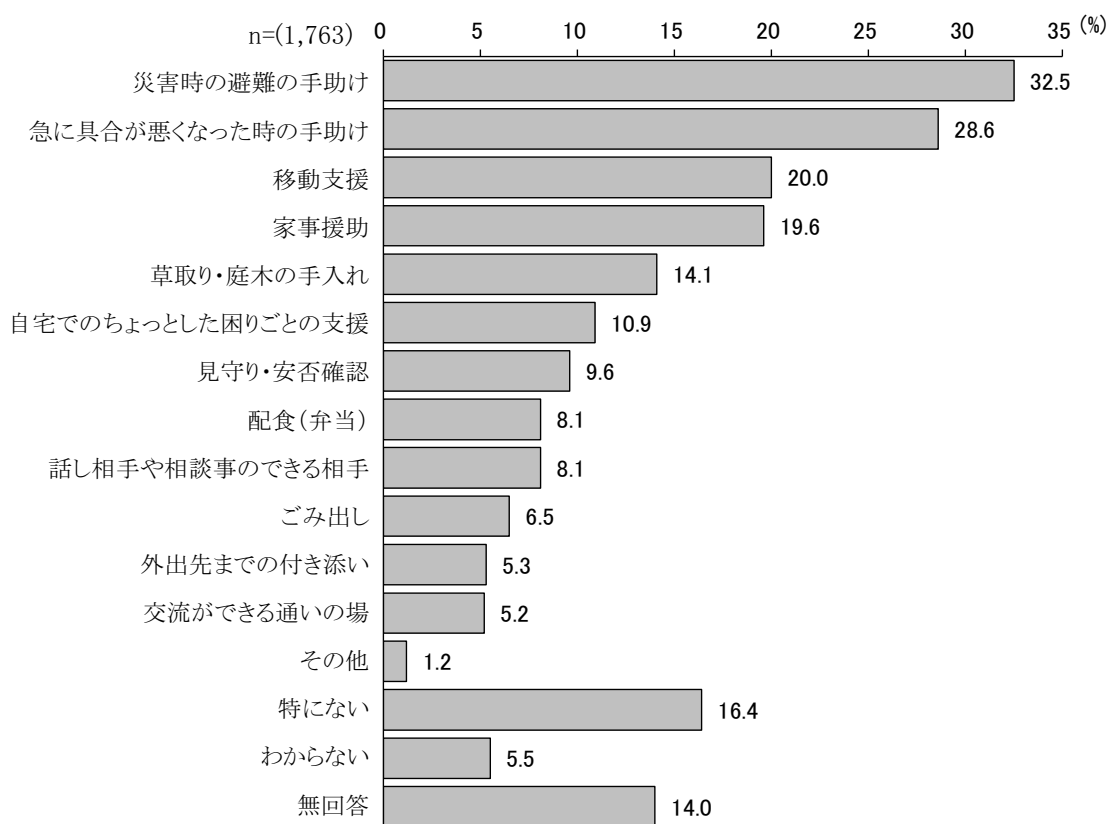


(2) 現在の住居であれば助かる地域の手助け

問43 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域にどのような手助けがあれば助かると思いますか。「1. 家事援助」または「6. 移動支援」と回答した方は、右の具体的内容にもお答えください。(複数回答可)

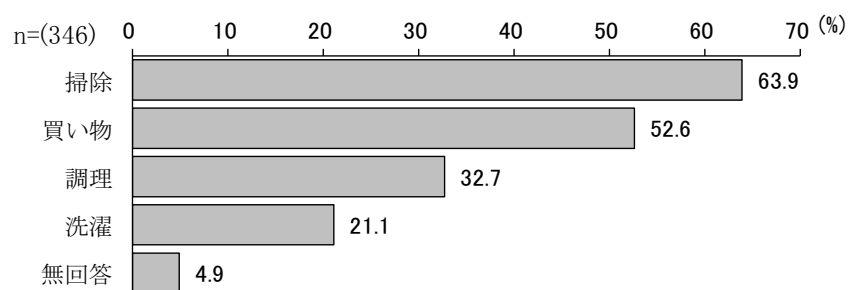
現在の住居であれば助かる地域の手助けは、「災害時の避難の手助け」が32.5%で最も多く、次いで「急に具合が悪くなった時の手助け」が28.6%、「移動支援」が20.0%となっている。

○現在の住居であれば助かる地域の手助け



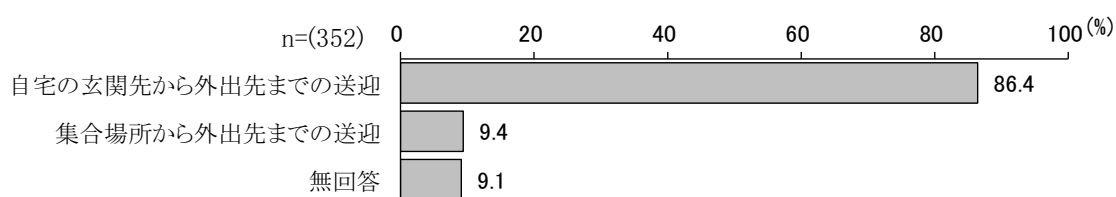
「家事援助」と回答した方に、具体的な家事援助の内容を聞いたところ、「掃除」が63.9%で最も多く、次いで「買い物」が52.6%、「調理」が32.7%となっている。

○具体的な「家事援助」の内容（問43で「家事援助」と回答した方のみ）



「移動支援」と回答した方に、具体的な移動支援の内容を聞いたところ、「自宅の玄関先から外出先までの送迎」が86.4%、「集合場所から外出先までの送迎」が9.4%となっている。

○具体的な「移動支援」の内容（問43で「移動支援」と回答した方のみ）



第2章 調査結果の詳細

家族構成別でみると、『ひとり暮らし』では「急に具合が悪くなった時の手助け」が37.5%で最も多くなっている。『夫婦のみの世帯』および『子と同居』では「災害時の避難の手助け」がそれぞれ35.7%、34.1%で最も多くなっている。

介護度別でみると、いずれも「災害時の避難の手助け」が3割以上で最も多くなっている。

○現在の住居であれば助かる地域の手助け／家族構成別、介護度別

	調査数 (件)	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	移動支援	家事援助	草取り・庭木の手入れ	自宅でのちょっとした困りごとの支援	見守り・安否確認	配食(弁当)	(%)
全体	1763	32.5	28.6	20.0	19.6	14.1	10.9	9.6	8.1	
問5 家族構成別										
ひとり暮らし	419	32.9	37.5	19.6	31.5	20.0	18.4	13.4	11.2	
夫婦のみの世帯	512	35.7	29.5	22.1	18.9	15.6	12.5	9.2	6.4	
子と同居	646	34.1	26.9	19.5	14.6	11.8	7.3	9.3	8.2	
その他	136	16.9	13.2	17.6	9.6	3.7	2.2	3.7	5.1	
問7 介護度別										
軽度	1096	31.8	30.5	20.8	22.5	16.4	12.2	9.2	7.6	
中度	352	37.5	27.8	20.5	15.6	11.6	11.6	13.1	8.5	
重度	233	34.8	25.8	18.0	13.3	9.9	6.0	9.0	9.9	
わからない	31	12.9	16.1	-	12.9	-	3.2	3.2	6.5	

	調査数 (件)	話し相手や相談事のできる相手	ごみ出し	外出先までの付き添い	交流ができる通いの場	その他	特にない	わからない	無回答	(%)
全体	1763	8.1	6.5	5.3	5.2	1.2	16.4	5.5	14.0	
問5 家族構成別										
ひとり暮らし	419	12.6	14.8	7.2	7.6	1.9	11.2	5.7	13.1	
夫婦のみの世帯	512	6.4	6.1	4.7	3.5	0.4	14.1	5.3	12.9	
子と同居	646	6.8	2.6	5.1	5.0	1.1	19.8	5.3	11.8	
その他	136	8.1	0.7	3.7	7.4	2.9	26.5	8.1	23.5	
問7 介護度別										
軽度	1096	8.6	7.6	5.9	6.4	0.9	16.5	4.4	11.9	
中度	352	8.5	6.8	4.5	4.5	1.4	16.2	4.8	14.5	
重度	233	5.2	1.7	4.7	2.1	0.9	18.5	9.9	17.6	
わからない	31	12.9	-	-	-	6.5	16.1	22.6	19.4	

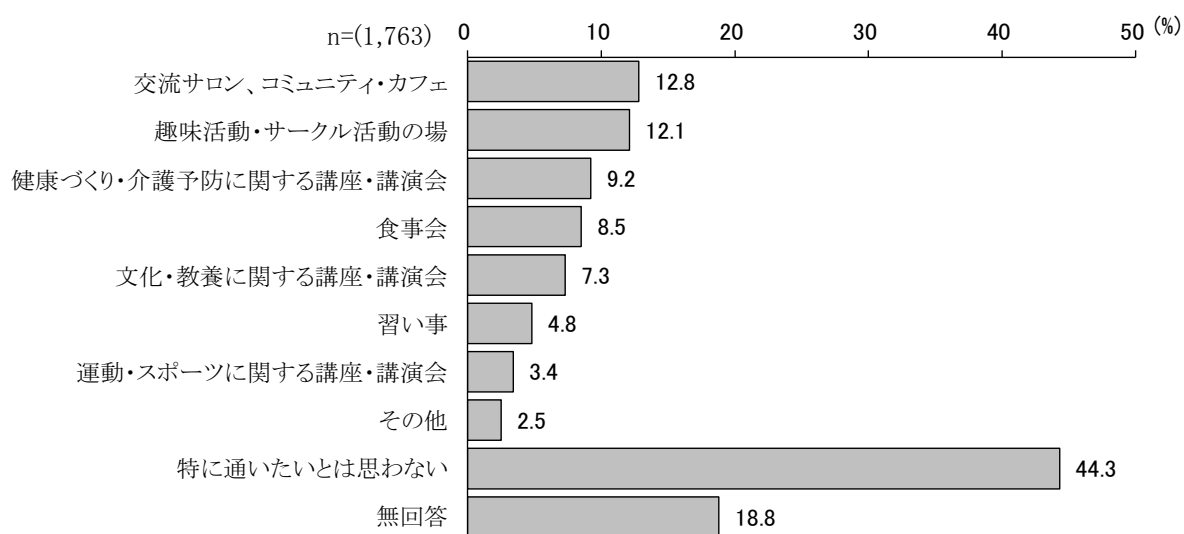


## 7. 介護予防・日常生活支援総合事業の検討

## (1) 通いたいと思う交流の場

問44 交流できる通いの場として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。現在通っているものも含めてお答えください。(複数回答可)

通いたいと思う交流の場は、「交流サロン、コミュニティ・カフェ」が12.8%、次いで「趣味活動・サークル活動の場」が12.1%、「健康づくり・介護予防に関する講座・講演会」が9.2%となっている。一方で、「特に通いたいとは思わない」は44.3%となっている。



第2章 調査結果の詳細

家族構成別でみると、いずれも「特に通いたいとは思わない」が3割以上で最も多くなっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「特に通いたいとは思わない」の割合は多くなる傾向にある。

地区別でみると、『明治』では「特に通いたいとは思わない」が5割以上となっている。

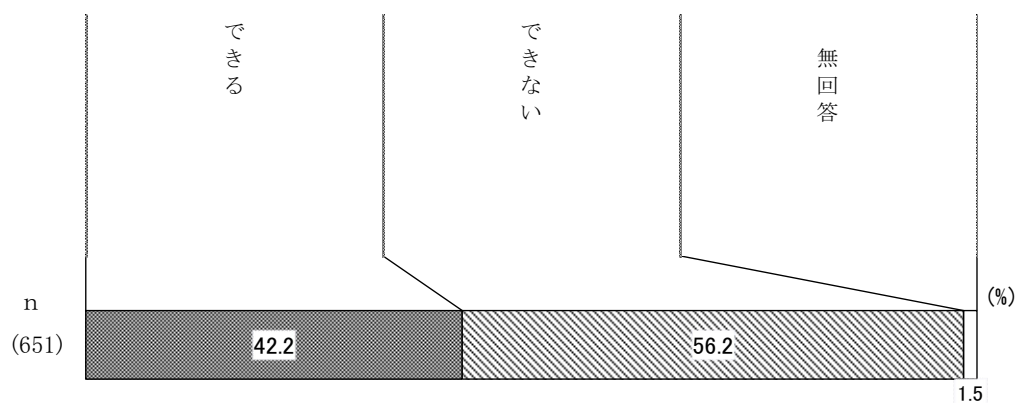
○通いたいと思う交流の場／家族構成別、介護度別、地区別

	調査数 (件)	フミ エ ユ ニ サ テ ィ ン ・ カ コ	交 流 の 場 ・ サ ー ク ル	趣 味 活 動 の 場 ・ サ ー ク	座 予 健 ・ 防 に づ く り る ・ 講 演 会 ・ 講 義 ・ 介 護	食 事 会	文 化 ・ 講 座 ・ 教 養 に 関 す る 講 座 ・ 講 演 会	習 い 事	会 関 連 の 講 座 ・ 講 義 ・ 講 演	運 動 の 講 座 ・ 講 義 ・ 講 演	そ の 他	思 わ な い と は	特 に 通 い た い と は	無 回 答
全 体	1763	12.8	12.1	9.2	8.5	7.3	4.8	3.4	2.5	44.3	18.8			
問5 家族構成別														
ひとり暮らし	419	14.6	13.6	11.0	11.2	10.5	5.5	3.6	4.3	37.7	18.6			
夫婦のみの世帯	512	13.7	12.5	9.0	8.0	7.8	4.9	4.7	1.8	42.4	19.1			
子と同居	646	11.5	11.1	9.8	7.7	5.3	4.0	2.9	2.0	51.4	15.2			
その他	136	12.5	11.8	4.4	6.6	7.4	7.4	1.5	-	44.1	25.0			
問7 介護度別														
軽度	1096	13.8	15.4	11.2	10.7	9.1	6.1	4.1	2.0	40.4	16.4			
中度	352	13.4	7.7	5.1	5.7	4.8	3.1	2.8	3.7	52.3	17.6			
重度	233	9.0	3.9	7.3	3.0	3.4	1.3	1.3	2.1	53.6	25.8			
わからない	31	9.7	6.5	3.2	12.9	3.2	3.2	6.5	3.2	35.5	32.3			
問4 お住まいの地区														
片瀬	103	11.7	8.7	8.7	9.7	9.7	2.9	1.0	2.9	47.6	15.5			
鶴沼	233	12.4	12.0	12.4	5.2	11.6	1.7	2.6	3.0	41.6	18.0			
辻堂	202	14.4	14.4	11.9	8.4	7.4	3.5	4.5	2.5	45.5	13.9			
村岡	103	9.7	11.7	11.7	9.7	5.8	4.9	2.9	-	49.5	18.4			
藤沢	243	14.0	7.0	4.9	7.4	5.3	5.3	1.6	3.7	45.3	24.3			
明治	61	21.3	8.2	4.9	9.8	4.9	3.3	3.3	-	55.7	14.8			
善行	150	13.3	19.3	14.7	8.7	10.0	8.7	2.0	1.3	35.3	18.7			
湘南大庭	125	13.6	13.6	5.6	6.4	2.4	1.6	4.0	1.6	48.0	19.2			
六会	141	13.5	7.8	7.1	10.6	6.4	7.1	3.5	3.5	49.6	15.6			
湘南台	112	8.0	17.0	10.7	8.9	7.1	8.0	2.7	2.7	41.1	17.0			
遠藤	28	14.3	7.1	17.9	21.4	7.1	7.1	14.3	3.6	46.4	7.1			
長後	140	9.3	15.7	6.4	9.3	5.7	5.0	5.0	3.6	45.7	18.6			
御所見	67	13.4	7.5	6.0	7.5	6.0	3.0	7.5	1.5	44.8	28.4			
わからない	12	16.7	16.7	8.3	33.3	16.7	8.3	-	-	33.3	-			

(2) 通いの場へ自身で通うことの可否

問45 《問44で「交流サロン、コミュニティ・カフェ」～「その他」のいずれか1つ以上選択した方のみ》  
 上記のような通いの場に、自宅からご自身で通うことはできますか。(1つだけ○印)

通いの場へ自身で通うことの可否は、「できる」が42.2%、「できない」が56.2%となっている。



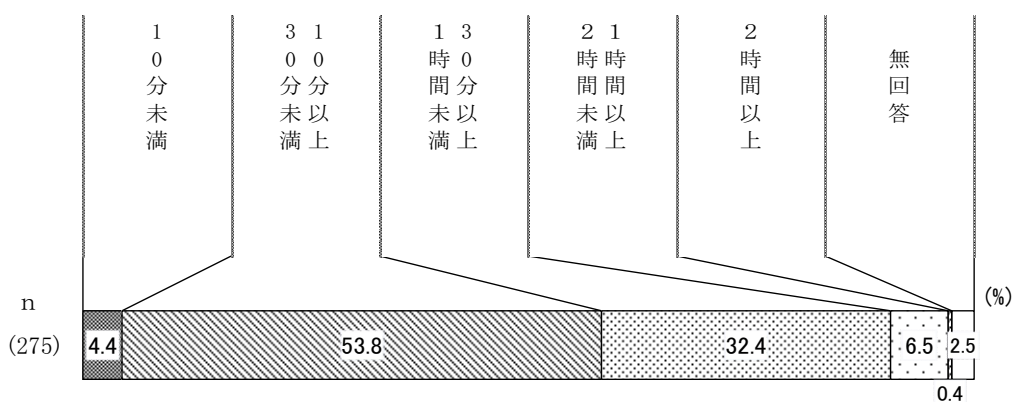
(3) 通いの場への移動時間及び移動手段

問46 《問45で「できる」と回答した方のみ》

自宅から通いの場まで、どのくらいの移動時間なら通いたいと思いますか。また、その際の主な移動手段もご回答ください。(1つだけ〇印)

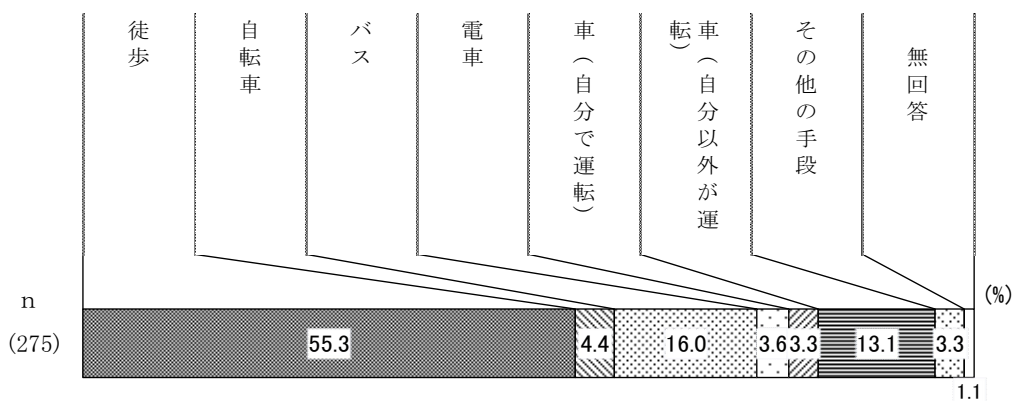
① 移動時間

通いの場までの移動時間は、「10分以上30分未満」が53.8%で最も多く、次いで「30分以上1時間未満」が32.4%、「1時間以上2時間未満」が6.5%となっている。また、回答の相加平均は23.8分となっている。



② 主な移動手段

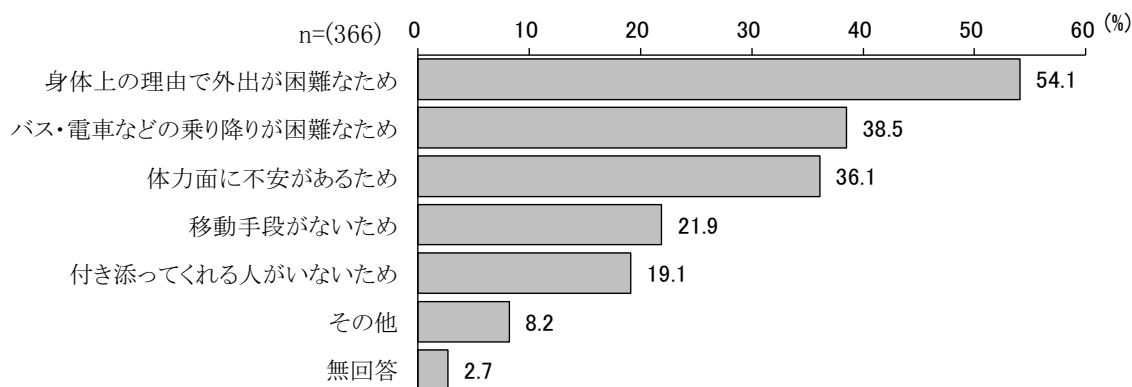
通いの場までの主な移動手段は、「徒歩」が55.3%で最も多く、次いで「バス」が16.0%、「車（自分以外が運転）」が13.1%となっている。



## (4) 通いの場に自身で通えない理由

問47 《問45で「できない」と回答した方のみ》  
ご自身で通えない理由は何ですか。(複数回答可)

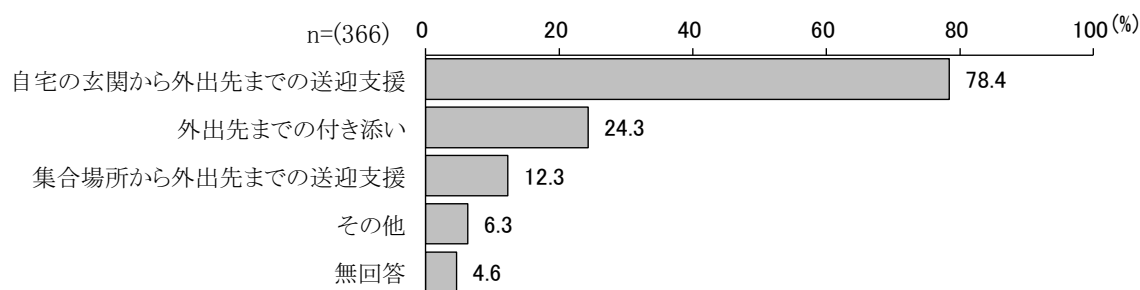
通いの場に自身で通えない理由は、「身体上の理由で外出が困難なため」が54.1%で最も多く、次いで「バス・電車などの乗り降りが困難なため」が38.5%、「体力面に不安があるため」が36.1%となっている。



## (5) 通いの場に通うための必要な支援

問48 《問45で「できない」と回答した方のみ》  
どのような支援があれば通えると思いますか。(複数回答可)

通いの場に通うための必要な支援は、「自宅の玄関から外出先までの送迎支援」が78.4%で最も多く、次いで「外出先までの付き添い」が24.3%、「集合場所から外出先までの送迎支援」が12.3%となっている。

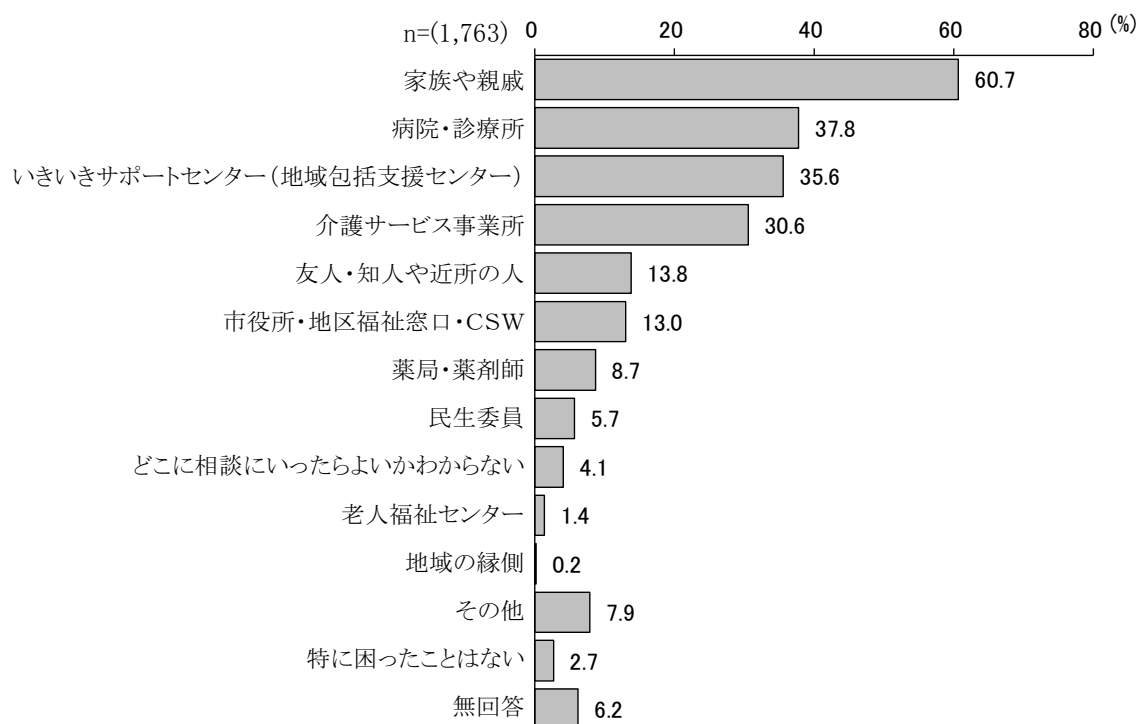


## 8. 介護保険制度全体について

### (1) 健康、福祉、介護のことで困ったときの相談先

問49 健康や福祉、介護のことなどで困ったときは、どちらに相談していますか。(特にあてはまるもの5つまで○印可)

健康、福祉、介護のことなどで困ったときの相談先は、「家族や親戚」が60.7%で最も多く、次いで「病院・診療所」が37.8%、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」が35.6%となっている。

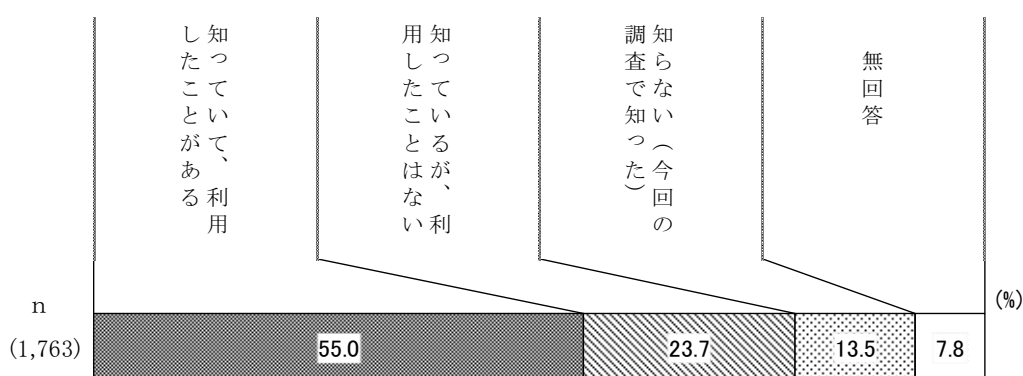


(2) 「いきいきサポートセンター」の認知度

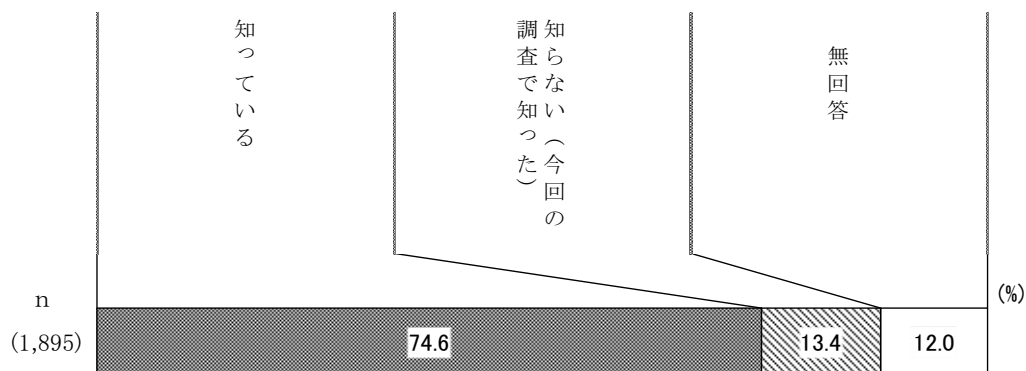
問50 市内18カ所に設置している「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」をご存じですか。（1つだけ〇印）

「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の認知度は、「知っていて、利用したことがある」が55.0%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が23.7%、「知らない（今回の調査で知った）」が13.5%となっている。

「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」合計は78.7%であり、前回調査結果の「知っている」（74.6%）よりも4.1ポイント増加している。



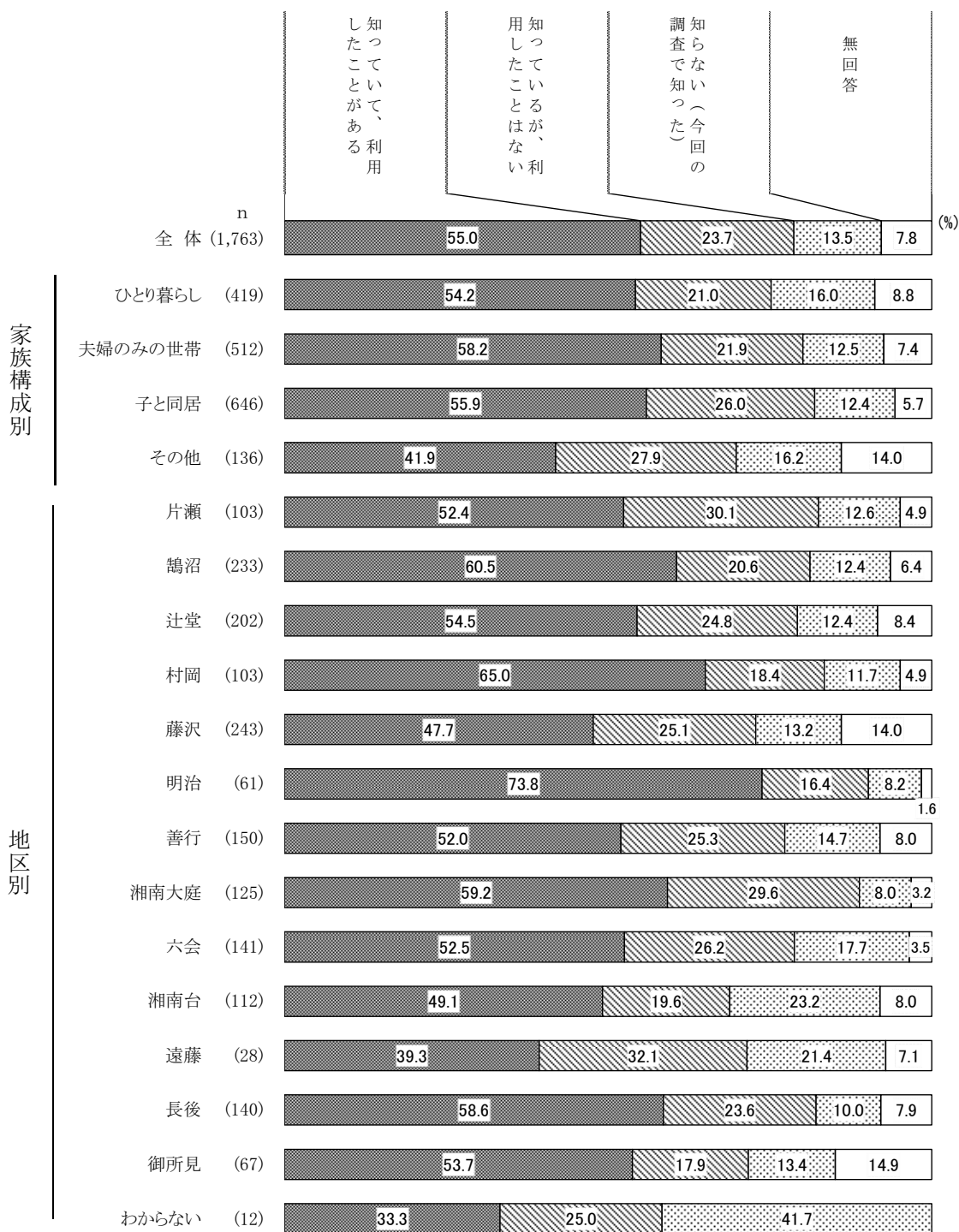
○【参考】 前回調査結果



第2章 調査結果の詳細

家族構成別で見ると、いずれも「知っていて、利用したことがある」が5割以上となっている。地区別で見ると、『明治』では「知っていて、利用したことがある」は7割以上となっている。

○地域包括支援センターの認知度／家族構成別、地区別

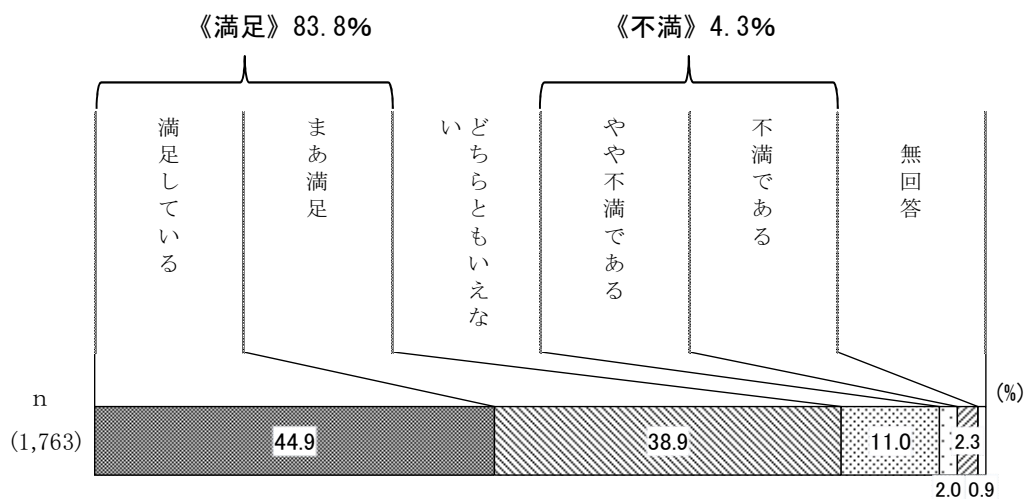




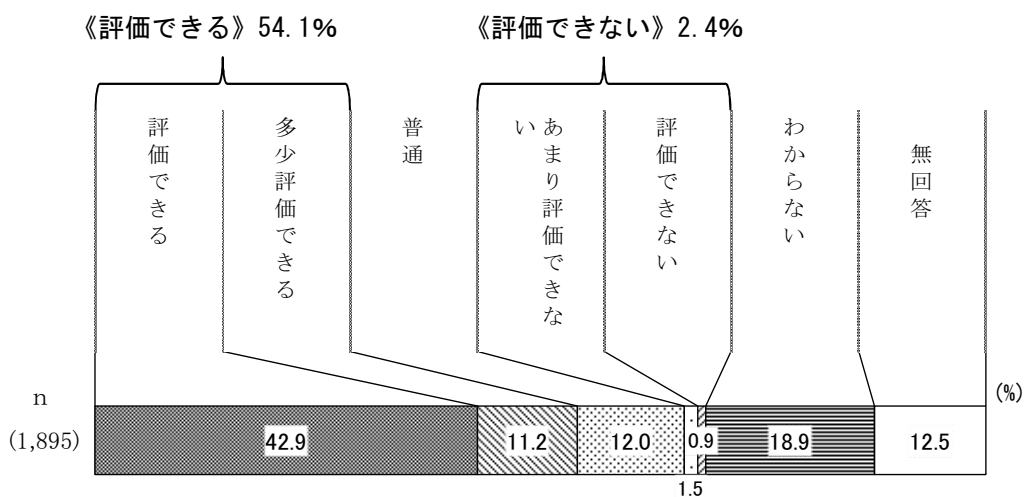
(3) いきいきサポートセンターの利用に対する満足度

問51 《問50で「知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ》  
 利用した結果に満足しましたか。(1つだけ○印)

いきいきサポートセンターの利用に対する満足度は、「満足している」が44.9%で最も多く、「次いで「まあ満足」が38.9%で、これらを合わせた“満足(計)”は83.8%となっている。



○【参考】 前回調査結果

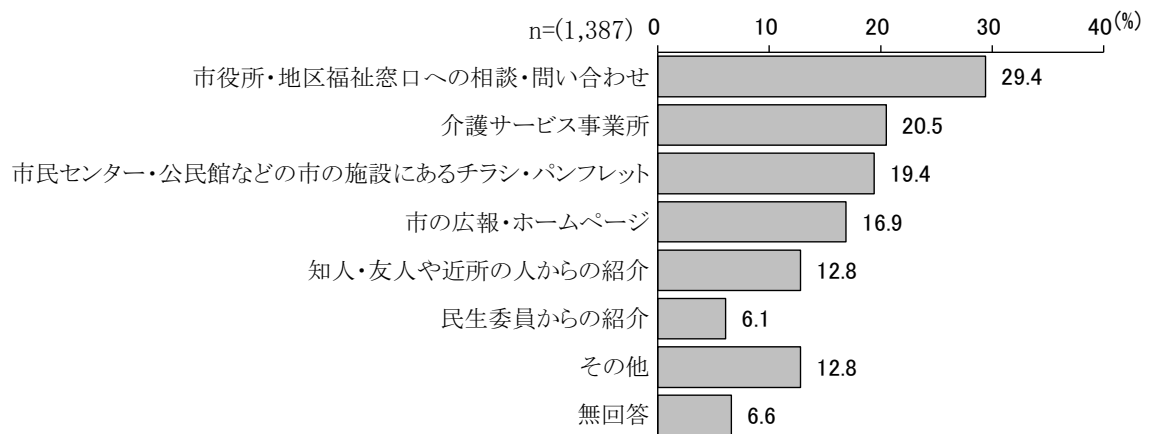


(4) いきいきサポートセンターを知ったきっかけ

問52 《問50で「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と回答した方のみ》

「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」を何で知りましたか。（複数回答可）

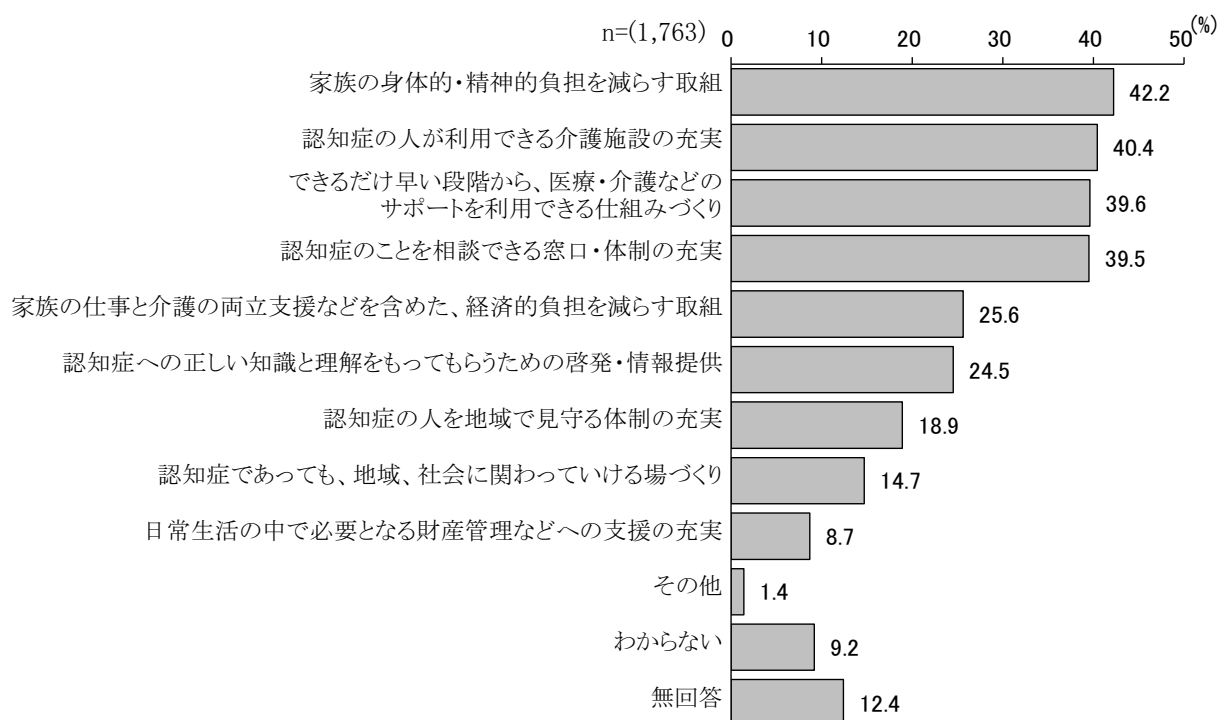
いきいきサポートセンターを知ったきっかけは、「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」が29.4%で最も多く、次いで「介護サービス事業所」が20.5%、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」が19.4%となっている。



## (5) 認知症の方に対する重点的施策

問53 今後、増加が予想される認知症の方への取り組みとして、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(複数回答可)

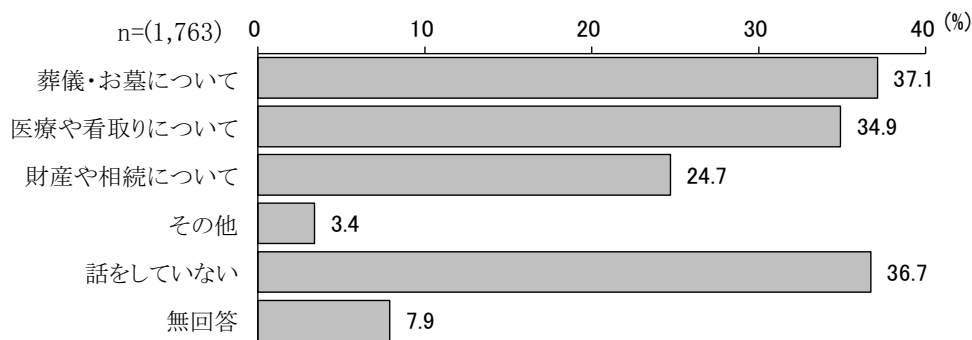
認知症の方に対する重点的施策は、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が42.2%で最も多く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が40.4%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が39.6%となっている。



(6) 人生最期の時に話しておくこと

問54 あなた本人の人生最期のとき（終活）について、次のようなことをご家族と話をしていますか。（複数回答可）

人生最期の時に話しておくことは、「葬儀・お墓について」が37.1%で最も多く、次いで「医療や看取りについて」が34.9%、「財産や相続について」が24.7%となっている。一方で、「話をしていない」が36.7%となっている。



性・年齢別でみると、『女性75歳以上』では「葬儀・お墓について」が39.9%で最も多くなっている。家族構成別でみると、『ひとり暮らし』および『夫婦のみの世帯』では「葬儀・お墓について」がそれぞれ41.3%、37.7%で最も多くなっている。『子と同居』では「話をしていない」が41.3%で最も多くなっている。

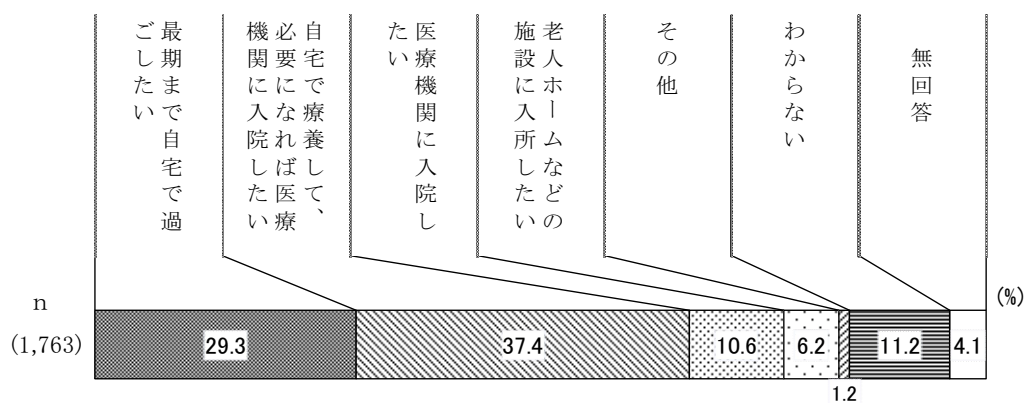
○人生最期の時に話しておくこと／性・年齢別、家族構成別

問54 人生最期のとき(終活)について家族と話していること							
	調査数 (件)	葬 儀 ・ お 墓 に つ	医 療 や 看 取 り に	財 産 や 相 続 に つ	そ の 他	話 を し て い な い	無 回 答
全体	1763	37.1	34.9	24.7	3.4	36.7	7.9
性・年齢別							
男性 65歳未満	8	37.5	12.5	12.5	-	50.0	12.5
男性 65～74歳	131	32.8	32.1	16.0	3.1	40.5	8.4
男性 75歳以上	492	33.3	34.1	28.0	2.8	37.2	9.6
女性 65歳未満	17	47.1	23.5	11.8	-	47.1	-
女性 65～74歳	123	32.5	32.5	18.7	4.1	38.2	8.1
女性 75歳以上	963	39.9	36.9	25.2	3.8	35.6	6.7
問5 家族構成							
ひとり暮らし	419	41.3	37.0	29.6	4.5	32.2	8.1
夫婦のみの世帯	512	37.7	37.1	25.6	3.1	33.2	8.8
子と同居	646	35.4	33.3	21.7	3.3	41.3	5.4
その他	136	31.6	32.4	22.8	2.2	42.6	11.0

(7) 最期を過ごしたい場所

問55 あなた本人が人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいですか。  
(1つだけ○印)

最期を過ごしたい場所は、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が37.4%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が29.3%、「わからない」が11.2%となっている。



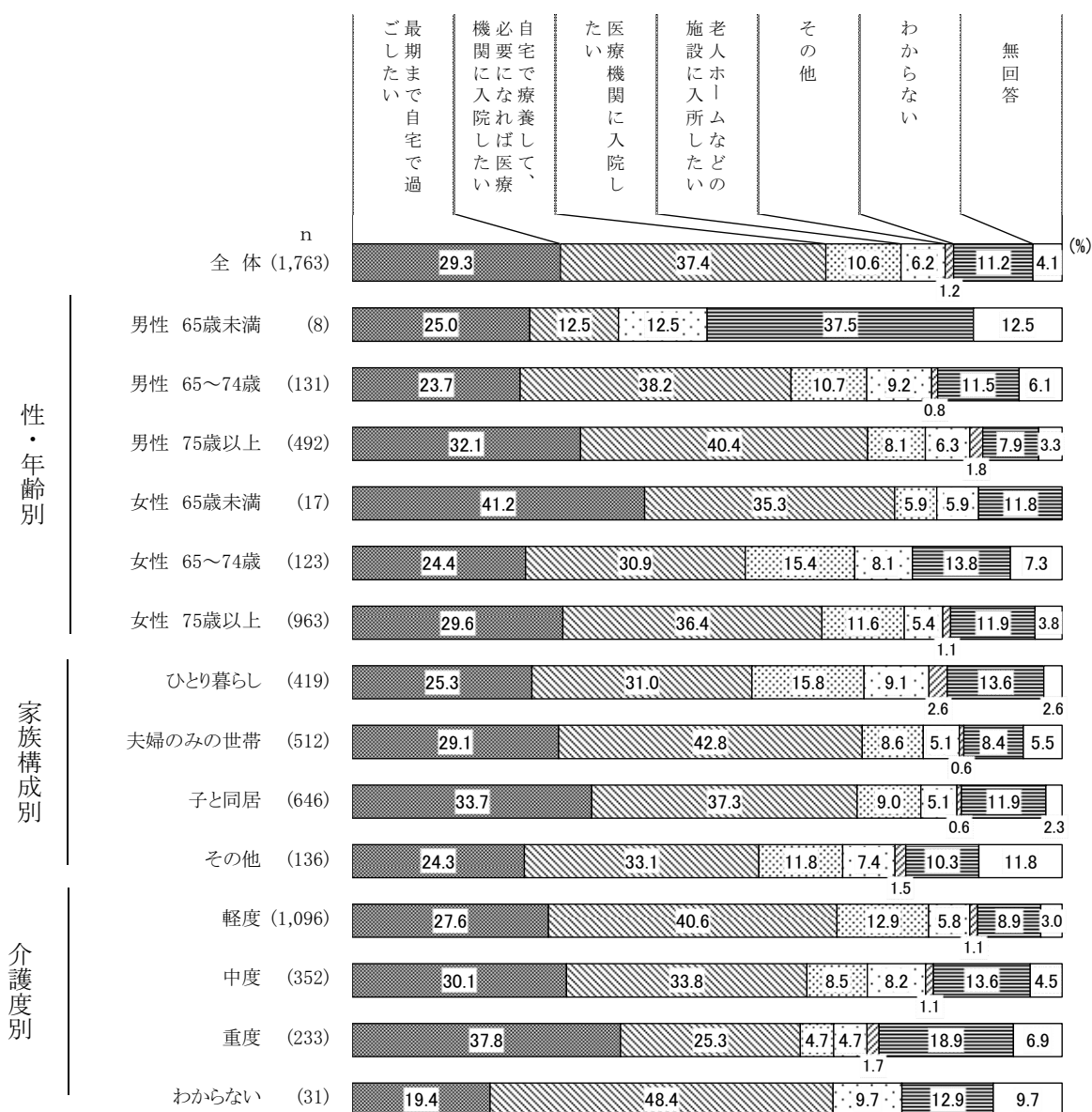
第2章 調査結果の詳細

性・年齢別で見ると、『男性65歳未満』を除く各年代で「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が3割以上で最も多くなっている。

家族構成別で見ると、いずれも「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が3割以上で最も多くなっている。

介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて「最期まで自宅で過ごしたい」の割合が多くなる傾向にある。

○最期を過ごしたい場所／性・年齢別、家族構成別、介護度別



## (8) 自由意見

問56 介護保険制度やサービスの内容についてご意見、ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

意見・要望等の自由回答欄には、回答者1,763人のうち、473人（記入の割合26.8%）の方に記入いただいた。本報告書では、紙面の都合上すべてを掲載することができないため、その一部を抜粋した。掲載内容は、恣意的な解釈が入らないよう、できる限り原文に近い表記とさせていただいた。

内容	件数
介護保険制度（認定手続きを含む）に関する事	116
介護サービスに関する事	61
介護職員（ケアマネジャー、ヘルパーを含む）に関する事	50
特別養護老人ホームなどの施設に関する事	48
アンケートに関する事	38
家族等介護者に関する事	32
介護保険料・利用料に関する事	30
情報提供に関する事	28
高齢者に配慮したまちづくり	10
介護サービス事業所に関する事	7
その他	68

※1人で複数の記載があるため、件数の合計と記入者数は一致しない。

## 【介護保険制度・認定手続き】

介護認定が厳しく思います。実際自宅等で介護をする者にとってもう少しサービスを色々受ける事ができれば家族の負担が少なくなる事を望みます。高齢者が増え財政が大変な事はよくわかります。ただ介護側の事をもう少しわかってほしいと思います。精神的、肉体的、負担が辛いです。

たいへん充実していて、感謝しています。でも認定で、本人の状態と結果が合っていないこともあります。歩行が非常に困難だけれど要介護1で車いすが借りれなかったり。そのあたり（認定調査）がもっとニーズが反映されるものになったらもっと良くなると思います。

介護認定がおきるまでの時間をもう少し短くして頂けると助かります。又審査時の訪問等を土日も行ってもらえると調整の幅が広がります。

介護保険被保険者証の送付が遅いです。今回要介→要支への区分変更があったため、慌てました。独居のため何か起きた時が不安です。定期的に「あんしんみまもりカード」を配布していただき、家に用意しておきたいです。家族より

藤沢市は介護保険行政が充実しています。引続き理解ある介護保険の施設やサービスの更なる充実をお願いします。

## 第2章 調査結果の詳細

### 【介護サービス】

今現在、夫婦とも深刻な状態にはなっていないので今のサービスで有難く思っています。今後年を重ねていくに従い不安はありますがその時に応じて考えたいと思っています。
食事制限がある場合、通所やショートステイを利用する事ができないのが不便です。
現在寝具乾燥サービスを受けていますが、少なくとも月1回にして欲しい（今は2ヶ月に1回です）。
高齢であればなんらかの医療が必要と思われるが、介護型のサービスでは、体調が悪くなった時、受け入れてもらえないので、介護医療型のサービスの充実を望みます。
藤沢市は各講習、相談窓口の充実など、とても細やかな介護サービスを提供していると思います。老後は不安も多くなりますが、増々のサービス向上を目指して下さい。よろしくお願い致します。

### 【介護職員】

ケアマネさんやヘルパーさんのおかげで、パートではありますが仕事も続けて介護ができる（娘）。本当にありがたく助けていただき、感謝しております。
仕組みは充実している。福祉に丸投げ感がある。福祉は、パート、アルバイトが多く、仕事に対する理解が乏しいため「かみあわない」。
介護サービス施設職員、ヘルパーの質の向上を資格制度の充実、職員の処遇改善も含めて、望む。入所すると入浴回数が週2回に減ってしまうのが困る。排泄を失敗することもあるので、もう少し回数を増やして欲しい。ヘルパーの誇りを持って働ける様な教育や、待遇向上を望む。現場が何よりも大切。

### 【特養などの施設】

私は去年9月に横浜市より引っ越して参りました。当地で要介護認定を受けましたが、結果は要支援2でした。老人ホーム入居を希望していましたが、要支援2では入居に制限があり、入れません。要介護でなければ入居できない所がほとんどです。要支援で入居できる老人ホームをもっと増やして欲しいと思います。
透析患者でも歩行困難になった時に入所できる施設があると家族の負担軽減になると思う。費用面と病院探す手間。
特別養護老人ホーム等の手厚い介護が可能で安い費用で利用できる施設の充実をさらに希望します。家族が介護サービスを受けたり施設に預けたりすることへの罪悪感がなくなるような社会になるよう制度のさらなる充実をはかり、高齢者本人、家族の介護に対する意識改革が必要だと思います。

### 【アンケート】

もっと簡単なアンケートにして下さい。頭がいたくなりました。
素晴らしい状況調査書です。感心致しました。ありがとうございました。
今回のような調査も無作為の3,000人との説明を読みましたが、高齢者の一人暮らしの場合などは除いて欲しいです。まず、手紙が届いただけで心配し、次に家族に連絡するのも時間が掛かり、期日までに提出するのも難しい時があるためです。



## 【家族等介護者】

家族の身体的、精神的負担の軽減。病院等への移動手手段の充実（バス等）
家族・親族には、かなりの介護負担がかかるので、少しでもストレスがなくなるような適切な対応を望みます。
介護者からのお願いです。晩婚化で介護と育児を両立している人が増えています。生活のために仕事もしています。夫の協力もないワンオペ育児で、たまに何もかも投げ出してしまいたくなります。老人も子供も急に体調を崩します。そういう時に付き添うためのサポートが欲しいです（救急搬送の時に残していられないから）。昨年、搬送する時に幼児連れで行くしかなく、他の患者さんにも医療現場でもイヤな顔をされて、辛かったです。好きで連れて行ったのではなく、誰にも預けられないから仕方なく、、です。連れて行くのも、病気をもらうリスクがあります。なんとかなりませんか？

## 【介護保険料・利用料】

藤沢市の介護保険料額が全国平均額よりも千円以上も安いとは驚きで有難いことです。要介護3は特別養護老人ホームへの入所を考える事もできるのですが要介護2は在宅で看なければなりませんので介護者の負担は長期化するに従い精神的にも肉体的にも想像以上に大変です。介護のことで困った時には相談できる窓口なり人を知っていると情報を教えて下さるので助けられます。介護する身にとって一番休息できるのは、2、3日連泊のショートステイ利用をしてもらえることなのですが料金をもう少し安くしていただけないでしょうか。まだ先にある老人ホーム利用となるとお金の問題等がでてくるのでそう安々とは利用できずにあります。
介護関係の負担割合が低収入であるのに高い。後期高齢者保険の医療費負担の様に、住民税負担に応じた負担割合としてもらいたい。
以前は医療費、国保のみで済んだが、75歳以上は後期高齢者医療保険になり、二重の負担となっており、医療費も3割負担で家計にとっては苦しい。後期高齢者医療保険の廃止を望む。二重負担は理解できない！！

## 【情報提供】

困った時にどこに相談に行ったらよいか。もっと、はっきりと具体的に広報誌などで知らせてほしい。
介護保険に関する郵便物の解読が難しくなっています。活字の小ささ、重要な内容がどこに書いてあるかわかりにくい（例えば請求書なのか領収書なのかわからない）。本人が読解できなくて（よくわからなくて）介護者がかわりに説明する前提のような書き方に疑問があります。ご検討をお願いいたします。
どのような介護サービスが受けられるかがすぐわかる（高齢の人にもわかりやすい）冊子が欲しい（アナログ、簡潔、字が少ない）。サービスを受けるのに必要なお金もすぐわかるようなものが良い。それを高齢者のいる全世帯に配布するとともにPDF形式で市のホームページにもアップし高齢者の家族にも調べやすいようにしてほしい。

## 第2章 調査結果の詳細

### 【高齢者に配慮したまちづくり】

高齢化社会に対応していく、バリアフリー化の推進を積極的に進めて頂きたい。公共設備で車イス利用可能なトイレの設置。歩道の傾斜や段差の解消。

通院の際の足の確保。市民病院へのバスが少ない！免許（車）返納のため、大変に不自由になっている。現在タクシーの朝の予約も受け付けてくれない。

家の前の歩道がでこぼこ道で、毎日必ず歩く道なので気をつけてはいるが、3年間で2度も転んで、股関節を傷め、毎日外科に通っている。片瀬山の方はきれいな道なのに、ここだけが安心して歩ける道にならない。早く同じ様な道にしてください。3年前にもお願いしました。

### 【事業者】

介護保険行政について他の市より良いところを耳にすることがよくあります。細かい点では、判別できないのですが、嬉しいこと、感謝しています。体が不自由になって感じる色が色々ありますので、ヘルパーの助けは有難いことです。ヘルパーの持ち時間が1時間では、大忙しと感ずることがあります。仕事の内容により、もう少しゆとりがないと大変だと感ずることがありますが、働いてもらう人が不足なのだろうと思っています。また、時間の組み方も大変なので、仕方ないのかもしれないですね。とにかく、買い物、料理等、助かっています。ポータブルトイレやごみの始末もなくてはならない大切な仕事ですし、よろしくお願いします。

先進的に福祉に取り組んで頂いていることを心から感謝しています。藤沢市に住んでいて良かった。あえて言わせて頂くとしたら、利用者を受け入れる事業所のスタッフ教育に力を入れて欲しい。専門職であること以前に、どんな状況であっても心を持った人間に対面していることを忘れないで、心に触れることを忘れないで欲しい。リーダー教育が大切！！

いつものヘルパーさんの時間外のヘルプを依頼しての事、先だって内容の聞き取りがあり、実行に成った折、内容と異なる仕事が増えた事に対しての会社側の対応に少し疑問がありました。ヘルパーさんは仕事の流れでスムーズにして下さいましたが、その件で忠告を受けました。あまりにもしゃくし定規すぎる対応に戸惑いました。人間同士の心持ちさえも…もう少し巾の有る解釈を望みたいと思いました（国の税金で成り立っている事、良くわかっていますが）。

# 資料編 調査票

# 藤 沢 市

## 介護保険サービス 利用状況調査

### ご協力をお願い

平成2年4月に介護保険制度は21年目を迎えます。藤沢市では、制度の運営にあたり、要介護(要支援)認定を受けられた方の介護保険サービスの利用実態を把握し、今後の介護保険制度の運営及び介護保険事業計画の改訂に向け、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

そこで、介護保険サービスについての利用状況調査を実施することにいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年1月

藤沢市長 鈴木恒夫

#### ● 注意事項 (アンケートの記入に際して)

- 1 このアンケート調査の対象者は、令和元年12月1日現在、要介護(要支援)認定を受けている方の中から、13生活圏域ごとに要介護度別に無作為に選ばせていただいた3,000人の方々です。
  - 2 お答えは、当てはまる回答番号に指定された数だけ○印をしてください。また、「その他( )」と回答される場合には、( )の中に具体的にその内容をご記入ください。
  - 3 1ページから最後まで、質問順にお答えください。  
また、※の指示に注意してご記入ください。
  - 4 質問中「ケアマネジャー」は、要支援1及び要支援2の方のケアプランを作成しているいきいきサポートセンター(地域包括支援センター)の職員などの方も含まれます。
  - 5 質問中「訪問看護」などの各サービス名称は、要支援1及び要支援2の方については「介護予防訪問看護」、「訪問介護」は「介護予防訪問型サービス」(介護予防・日常生活支援総合事業)など介護予防を目的としたサービス名を含みます。
  - 6 提出期限：2月5日(水)までに同封の返信用封筒に入れてポストにご投函ください。  
なお、本調査の回答は統計的に処理するもので、調査の目的以外の使用や個人にご迷惑をおかけすることはありません。
- ★ この調査について、ご不明な点がございましたら、介護保険課にお問い合わせください。

藤沢市役所 福祉健康部 介護保険課 電話50-3527(直通)

この調査票は、ご本人様（あなた）及び「主な介護者」の状況をお聞きするものです。  
 ※問 20 から問 26 は「主な介護者」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（あなた）がわかる範囲で、ご回答・ご記入をお願いします。

※ 質問中の「あなた」とは、要介護（要支援）認定を受けている方を指します。

あなたやご家族の生活状況について、おたずねします。

問 1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数回答可）

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. あなた本人         | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他              |

問 2 あなた本人の性別についてご回答ください。

- |      |      |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問 3 あなた本人の年齢についてご回答ください。（1つだけ○印）

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満  | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上  |           |           |

問 4 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。（1つだけ○印）

- |       |        |         |           |         |
|-------|--------|---------|-----------|---------|
| 1. 片瀬 | 2. 鶴沼  | 3. 辻堂   | 4. 村岡     | 5. 藤沢   |
| 6. 明治 | 7. 善行  | 8. 湘南大庭 | 9. 六会     | 10. 湘南台 |
| 11. 藤 | 12. 長後 | 13. 御所見 | 14. わからない |         |

問 5 あなた本人の家族構成についてご回答ください。（1つだけ○印）

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. ひとり暮らし  | → 問7へ |
| 2. 夫婦のみの世帯 |       |
| 3. 子と同居    |       |
| 4. その他( )  |       |

問 6 《問5で「2.」から「4.」のいずれかに回答した方のみ》

日中、一人になることはありますか。（1つだけ○印）

- |       |             |             |           |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ない | 2. 週に1～2日ある | 3. 週に3～4日ある | 4. ほぼ毎日ある |
|-------|-------------|-------------|-----------|

問7 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2
5. 要介護3	6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

問8 施設等への入所・入居の申し込み状況について、ご回答ください。また、申し込みをしている方は、何カ所申し込みをしているかもご回答ください。

該当するものに○印(複数選択可)	数字を記入
1. 特別養護老人ホームに申し込みをしている	( )カ所
2. 介護老人保健施設に申し込みをしている	( )カ所
3. 介護療養型医療施設に申し込みをしている	( )カ所
4. 介護医療院に申し込みをしている	( )カ所
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に申し込みをしている	( )カ所
6. 介護付き有料老人ホームに申し込みをしている	( )カ所
7. 住宅型有料老人ホームに申し込みをしている	( )カ所
8. サービス付き高齢者向け住宅に申し込みをしている	( )カ所
9. 入所・入居の申込みはしていない	

問9 あなた本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他( )
15. なし
16. わからない

問10 歯の数について、ご回答ください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 自分の歯は20本以上 | 2. 自分の歯は19本以下 |
|---------------|---------------|

※かぶせている歯も1本と数えます。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

問11 入れ歯の使用状況について、ご回答ください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 入れ歯を使用している | 2. 入れ歯を使用していない |
|---------------|----------------|

問12 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つだけ○印)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 何でもかんで食べることができる</li> <li>2. 歯や歯ぐき、かみ合わせなどに気になる部分があり、かみにくいことがある</li> <li>3. ほとんどかめない</li> </ol> |
|--|

**問13 要介護認定を初めて申請したときの目的は何ですか。(1つだけ○印)**

1. 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)を受けるため
2. 介護保険の住宅改修または福祉用具貸与・購入のサービスを受けるため
3. 将来に備えるなど、念のために申込みをしたため
4. 配偶者が要介護認定を受けるので、一緒に受けたほうが良いと思ったため
5. 知り合いが要介護認定を受けているため
6. 医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため
7. 病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため
8. 特に理由はない
9. その他( )
10. わからない

**問14 ご家族やご親族の方からの介護・介助(内容は問18を参照ください)は、どのくらいの頻度でありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護・介助を含む)(1つだけ○印)**

1. ない → 問27へ
2. 月に1~2日程度
3. 週に1~2日ある
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

問15から問19は、問14で「2.」から「5.」のいずれかに回答した方におたずねします。

**問15 《問14で「2.」から「5.」のいずれかに回答した方のみ》**  
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つだけ○印)

- |        |          |           |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者  |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他( ) |

**問16 《問14で「2.」から「5.」のいずれかに回答した方のみ》**

主に介護・介助している方(以下「主な介護者の方」と)との同居の有無について、ご回答ください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 主な介護者の方と同居している | 2. 主な介護者の方とは同居していない |
|-------------------|---------------------|



問17 《問14で「2. 」から「5. 」のいずれかに回答した方のいずれかに回答した方のみ》  
 主な介護者の方の年齢をご回答ください。(1つだけ○印)

1. 20 歳未満	2. 20 代	3. 30 代
4. 40 代	5. 50 代	6. 60 代
7. 70 代	8. 80 歳以上	9. わからない

問18 《問14で「2. 」から「5. 」のいずれかに回答した方のみ》  
 主な介護者の方から受けている介護・介助について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 食事の準備(調理等)
5. 入浴・洗身	6. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
7. 衣服の着脱	8. 屋内の移乗・移動
9. 外出の付き添い、送迎等	10. 服薬
11. 認知症状への対応	12. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他( )	16. わからない

問19 《問14で「2. 」から「5. 」のいずれかに回答した方のみ》  
 ご家族やご親族の中で、あなたの介護・介助を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか。

※ 現在働いているかどうかや勤務形態は問いません。(複数回答可)

1. 介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない
2. 主な介護者の方が仕事を辞めた(転職を除く)
3. 主な介護者の方以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)
4. 主な介護者の方が転職した
5. 主な介護者の方以外の家族・親族が転職した
6. わからない

問20から問26は、主な介護者の方におたずねします。

※ 主な介護者の方のご回答が難しい場合は、あなたがわかる範囲で、ご回答をお願いします。

問20 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで○印可)

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 日中の排泄               | 2. 夜間の排泄                |
| 3. 食事の介助(食べる時)         | 4. 食事の準備(調理等)           |
| 5. 入浴・洗身               | 6. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)       |
| 7. 衣服の着脱               | 8. 屋内の移乗・移動             |
| 9. 外出の付き添い、送迎等         | 10. 服薬                  |
| 11. 認知症状への対応           | 12. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) |
| 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き    |
| 15. 介護にかかる費用負担         | 16. 一人にしておくことができない      |
| 17. 状態の悪化              | 18. その他( )              |
| 19. 不安に感じていることは、特にない   | 20. わからない               |

問21 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○印)

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1. フルタイムで働いている     |          |
| 2. パートタイム(※)で働いている |          |
| 3. 働いていない          | → 問 25 へ |
| 4. わからない           | → 問 25 へ |

※ 「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問22から問24は、問21で「1.」「2.」のいずれかに回答した方におたずねします。

問22 《問21で「1.」「2.」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答可)

- |   |
|---|
| 1. 特に行っていない                                   |
| 2. 「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている |
| 3. 「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている                 |
| 4. 「在宅勤務」を利用しながら、働いている                        |
| 5. 2～4以外の調整をしながら、働いている                        |
| 6. わからない                                      |

## 問23 《問21で「1.」「2.」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○印可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 介護休業等の制度を利用しやすい風土・職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他( )
10. 特にない
11. わからない

## 問24 《問21で「1.」「2.」のいずれかに回答した方のみ》

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○印)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける   | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. わからない         |                     |

## 問25 主な介護者の方は、「ダブルケア」の状況にありますか。同居・別居は問いません。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※「ダブルケア」とは、未就学の子(孫)などの育児等をしつつ、親(義親)あるいは親族の介護を同時に担う状況にあることをいいます。

## 問26 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

1. 介護者の休息が取れるようなサービスの充実
2. 介護者が相談できる体制の充実
3. 介護者が悩み等を話せる交流の場の充実
4. 家族介護教室などの介護技術を学ぶ場の充実
5. 介護者に対する地域や職場の理解の促進
6. 介護保険外(配食や見守りなど)サービスの充実
7. その他( )
8. 特にない

介護保険サービスについて、おたずねします。

問27 令和元年12月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。

1. 利用した → 問 29 へ  
2. 利用していない

問28 《問27で「2. 利用していない」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 家族などが介護をしてくれるため必要ない
3. 病院など医療機関に入院している
4. 病院への通院など、医療やリハビリを受けている
5. 介護保険外のサービスで足りている
6. 以前、利用していたサービスに不満があった
7. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. 利用料を支払うのが難しい
10. 他人(サービス事業者)を自宅に入れたくない
11. その他( )

➡ 回答後、問 32 へ

## 問29 《問27で「1. 利用した」と回答した方のみ》

以下の A～M までの介護保険サービスについて、令和元年 12 月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

また、利用したサービスの満足度をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○印)					利用したサービスの満足度(それぞれ1つに○印)				
	利用していない	週1～2回	週3～4回	ほぼ毎日	わからない	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(回答例)	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
A. 訪問介護(訪問型サービス)	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
E. 通所介護(地域密着型・認知症対応型・通所型サービス)	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリテーション	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型訪問介護	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5
H. 居宅療養管理指導	0回	1～2回	3～4回	5回以上	不明	1	2	3	4	5

	利用の有無(それぞれ1つに○印)			満足度(それぞれ1つに○印)				
	利用していない	利用した	わからない(不明)	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
I. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	1	2	3	4	5
J. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	1	2	3	4	5
K. 看護小規模多機能居宅介護	1	2	3	1	2	3	4	5
L. 福祉用具貸与	1	2	3	1	2	3	4	5

	1か月あたりの利用日数(いずれか1つに○印)					満足度(いずれか1つに○印)				
	利用していない	月2～7日	月8～14日	月15日以上	わからない	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
M. ショートステイ	0日	2～7日	8～14日	15日以上	不明	1	2	3	4	5

問30 《問27で「1. 利用した」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用する場合には、サービスの計画(ケアプラン)に基づいてサービスを利用する必要があります。ケアプランを作成するのは、主にケアマネジャーと呼ばれる介護の専門の方ですが、あなたは、現在のケアプランやケアマネジャー等の対応に満足していますか。(1つだけ○印)

1. 満足	→ <u>問 32 へ</u>
2. まあ満足	→ <u>問 32 へ</u>
3. どちらともいえない	→ <u>問 32 へ</u>
4. やや不満	
5. 不満	



問31 《問30で「4. やや不満」「5. 不満」のいずれかに回答した方のみ》

どのようなことに不満がありますか。(複数回答可)

★ 1. 専門的な知識や経験が不足している
★ 2. ケアプラン内容やサービス利用の目的などの説明が十分でない
★ 3. 言葉遣いや態度が適切でない
★ 4. 本人・家族の希望や悩みなどをあまり聞いてくれない
★ 5. その他( )

➡ 回答後、問 32 へ

ここから再び、全員の方におたずねします。

問32 自宅で生活するうえで、今後利用したい介護サービスはどれですか。1～24の番号に○印をつけてください。(複数回答可)

番号	種別	内容
1	訪問介護 (のうち身体介護)	ホームヘルパーに自宅を訪問してもらい、食事や入浴、排せつ等の身体的な介護を受ける
2	訪問介護 (のうち生活援助)	ホームヘルパーに自宅を訪問してもらい、清掃、洗濯、調理等の日常生活の援助を受ける
3	夜間対応型訪問介護	夜間帯の定期的な巡回訪問や通報により、ホームヘルパー等に自宅に訪問してもらい、排せつ等の介護や日常生活の援助を受ける
4	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	日中・夜間(24時間)を通じてホームヘルパーや看護職員が連携して、1日複数回の定期的な巡回訪問や通報による訪問をしてもらい、介護・看護のサービスを受ける
5	訪問入浴介護	移動入浴車等で家を訪問してもらい、浴槽の持ち込みによる入浴介護を受ける
6	訪問看護	看護師に自宅を訪問してもらい、医師と連携を取りながら療養上の世話や必要な診察の補助を受ける
7	訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士等に自宅に訪問してもらい、医師の指示に基づき、必要なリハビリテーションを受ける
8	居宅療養管理指導	医師や歯科医師、薬剤師等に自宅を訪問してもらい、療養上の管理及び指導を受ける
9	通所介護 (地域密着型を含む)	デイサービスセンター(日帰り施設)等に通い、入浴・食事の提供と介護、機能訓練、日常生活の世話を受ける
10	通所リハビリテーション	介護老人保健施設や病院等に通い、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを受ける
11	認知症対応型通所介護	認知症専門のデイサービスセンター(日帰り施設)等に通い、入浴・食事の提供と介護、機能訓練、日常生活の世話を受ける
12	小規模多機能型居宅 介護	通いサービスを中心として、自宅への訪問や短期間の宿泊サービスを組み合わせたサービスを受ける
13	看護小規模多機能型 居宅介護	医療ニーズの高い方に対して、通いサービスを中心として、自宅への訪問看護や介護、短期間の宿泊サービスを組み合わせたサービスを受ける
14	特別養護老人ホーム (地域密着型を含む)	自宅での介護が困難な場合等に入所し、日常生活の世話、機能訓練、健康管理、療養上の世話を受ける
15	介護老人保健施設	看護、医学的管理下での介護、機能訓練等が必要とする場合に入所し、在宅への復帰を目指して日常生活の世話や機能回復訓練等を受ける
16	介護医療院 (介護療養型医療施設)	医学管理、看取り、ターミナルケア等を必要とする場合に入所し、日常生活の世話等を受ける
17	認知症対応型共同生活 介護	認知症の方が、共同生活をしながら、入浴・食事の提供と介護、機能訓練、日常生活の世話を受ける
18	介護付き有料老人ホーム	施設に入所し、掃除や洗濯など身の回りの世話や、食事や入浴、排せつなどの介助サービスを受ける
19	住宅型有料老人ホーム	生活援助や緊急時の対応などが受けられ、介護が必要な場合は、外部サービス等を利用しながら生活できる
20	サービス付き高齢者向け 住宅	安否確認やさまざまな生活支援サービスをうけることができる賃貸住宅
21	ショートステイ	特別養護法人ホームや介護老人保健施設等に短期入所し、日常生活の世話や機能訓練等を受ける
22	福祉用具貸与	車いすなどの日常生活の自立を助ける福祉用具の貸与を受ける
23	福祉用具購入・住宅改修	入浴援助用具や手すりなどにより住環境を整備する
24	利用したいサービスがない	

問33 現在、利用している『介護保険外サービス』の支援・サービスをご回答ください。  
(複数回答可)

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他( )
11.利用していない	

問34 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

(1) かかりつけの医師	1. いる	2. いない
(2) かかりつけの歯科医師	1. いる	2. いない
(3) かかりつけの薬剤師・薬局	1. ある	2. ない

※『かかりつけ医』とは、日常的な診療の他にも、健康相談等、日頃からなんでも気軽に相談ができ、いざというときには専門医を紹介してくれる住まいの近くにいる医師のことです。

問35 あなたは、令和元年12月の1か月間に、医師や歯科医師、看護師などからの訪問により、診療などを受けましたか。(1つだけ○印)

1. 受けた	
2. 受けていない	→ 問 37 へ
3. わからない	→ 問 37 へ

問36 《問35で「1. 受けた」と回答した方のみ》

ご自宅を訪問しているのはどなたですか。また、訪問回数はどれくらいですか。

(複数回答可)

1. 医師	(週	回)
2. 看護師	(週	回)
3. 歯科医師	(週	回)
4. 歯科衛生士	(週	回)
5. 薬剤師	(週	回)
6. 理学療法士・作業療法士など	(週	回)
7. その他( )	(週	回)



問37 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1. 高い   | 2. やや高い | 3. 妥当    |
| 4. やや安い | 5. 安い   | 6. わからない |

〈参考〉 保険料基準月額 藤沢市 4,700 円、神奈川県平均 5,737 円、全国平均 5,869 円

問38 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つだけ○印)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 保険料額が高くても、介護サービス量が充実している方が良い   |
| 2. 保険料額も介護サービス量も、今くらいが妥当である       |
| 3. 介護サービス量の充実は無くてよいので、保険料額は低い方がよい |
| 4. その他( )                         |
| 5. わからない                          |

問39 介護保険サービスを利用した際の自己負担割合についてご回答ください。(1つだけ○印)

- |       |       |       |          |
|-------|-------|-------|----------|
| 1. 1割 | 2. 2割 | 3. 3割 | 4. わからない |
|-------|-------|-------|----------|

問40 介護保険サービスを利用した際の自己負担(サービス費用の1割～3割相当分)について、どのように感じますか。(1つだけ○印)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 負担である     | 2. やや負担である |
| 3. あまり負担ではない | 4. 負担ではない  |

生きがい・楽しみについて、おたずねします。

問41 (1) 現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。

また、(2) 今後してみたいことはありますか。(1)(2) それぞれにご回答ください。

(1)現在、充実感や生きがいを感じていること (複数回答可)	(2)今後してみたいこと (複数回答可)
1. テレビ・ラジオ・新聞・読書 2. 家庭菜園・園芸 3. 手芸・陶芸等の創作活動 4. 運動・スポーツ・散歩 5. 文化・歴史・芸術などのサークル活動 6. 習い事 7. 学習や教養を高めるための活動 8. 特技や技術を生かした創作活動 9. 仕事・就労 10. ショッピング・買い物 11. 旅行・レジャー 12. 友人・知人・近所とのつきあい 13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動 14. ボランティア活動 15. 子や孫の世話など家族との団らん 16. ペットの世話 17. カラオケ 18. パソコン・スマホ・インターネット 19. その他 [ ] 20. 特にない	1. テレビ・ラジオ・新聞・読書 2. 家庭菜園・園芸 3. 手芸・陶芸等の創作活動 4. 運動・スポーツ・散歩 5. 文化・歴史・芸術などのサークル活動 6. 習い事 7. 学習や教養を高めるための活動 8. 特技や技術を生かした創作活動 9. 仕事・就労 10. ショッピング・買い物 11. 旅行・レジャー 12. 友人・知人・近所とのつきあい 13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動 14. ボランティア活動 15. 子や孫の世話など家族との団らん 16. ペットの世話 17. カラオケ 18. パソコン・スマホ・インターネット 19. その他 [ ] 20. 特にない

普段の生活の中での不安や心配ごとについて、おたずねします。

問42 外出(散歩や通院も含む)はどのくらいの頻度で行っていますか。(1つだけ○印)

1. ほぼ毎日 3. 週に1~2回程度 5. ほとんど外出しない	2. 週に3~4回程度 4. 月に1~2回程度
--	----------------------------

問43 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域にどのような手助けがあれば助かると思っていますか。「1. 家事援助」または「6. 移動支援」と回答した方は、右の具体的内容にもご回答ください。(複数回答可)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家事援助</li> <li>2. 配食 (弁当)</li> <li>3. ごみ出し</li> <li>4. 草取り・庭木の手入れ</li> <li>5. 自宅でのちょっとした困りごとの支援</li> <li>6. 移動支援</li> <li>7. 外出先までの付き添い</li> <li>8. 交流ができる通いの場</li> <li>9. 話し相手や相談事のできる相手</li> <li>10. 見守り・安否確認</li> <li>11. 急に具合が悪くなった時の手助け</li> <li>12. 災害時の避難の手助け</li> <li>13. その他 ( )</li> <li>14. 特にない</li> <li>15. わからない</li> </ol>	<p>「1.家事援助」と回答した方のみ 問43-1 具体的な援助内容は</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 買い物</td> <td>2. 調理</td> </tr> <tr> <td>3. 洗濯</td> <td>4. 掃除</td> </tr> </table>	1. 買い物	2. 調理	3. 洗濯	4. 掃除
1. 買い物	2. 調理				
3. 洗濯	4. 掃除				
	<p>「6.移動支援」と回答した方のみ 問43-2 具体的な援助内容は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自宅の玄関先から外出先までの送迎</li> <li>2. 集合場所から外出先までの送迎</li> </ol>				

介護予防・日常生活支援総合事業の検討のために、おたずねします。

問44 交流できる通いの場として、どのようなものがあれば通いたいと思えますか。現在通っているものも含めてご回答ください。(複数回答可)

<table border="0"> <tr> <td>1. 交流サロン、コミュニティ・カフェ</td> <td>2. 食事会</td> </tr> <tr> <td>3. 趣味活動・サークル活動の場</td> <td>4. 習い事</td> </tr> <tr> <td>5. 運動・スポーツに関する講座・講演会</td> <td>6. 文化・教養に関する講座・講演会</td> </tr> <tr> <td>7. 健康づくり・介護予防に関する講座・講演会</td> <td>8. その他( )</td> </tr> <tr> <td colspan="2">9. 特に通いたいとは思わない →問 49 へ</td> </tr> </table>	1. 交流サロン、コミュニティ・カフェ	2. 食事会	3. 趣味活動・サークル活動の場	4. 習い事	5. 運動・スポーツに関する講座・講演会	6. 文化・教養に関する講座・講演会	7. 健康づくり・介護予防に関する講座・講演会	8. その他( )	9. 特に通いたいとは思わない →問 49 へ	
1. 交流サロン、コミュニティ・カフェ	2. 食事会									
3. 趣味活動・サークル活動の場	4. 習い事									
5. 運動・スポーツに関する講座・講演会	6. 文化・教養に関する講座・講演会									
7. 健康づくり・介護予防に関する講座・講演会	8. その他( )									
9. 特に通いたいとは思わない →問 49 へ										

問45 《問44で「1. 」から「8. 」のいずれか1つ以上回答した方のみ》

上記のような通いの場に、自宅からご自身で通うことはできますか。

<table border="0"> <tr> <td>1. できる →問 46 へ</td> <td>2. できない →問 47 へ</td> </tr> </table>	1. できる →問 46 へ	2. できない →問 47 へ
1. できる →問 46 へ	2. できない →問 47 へ	

問46 《問45で「1. できる」と回答した方のみ》

自宅から通いの場まで、どのくらいの移動時間なら通いたいと思いますか。また、その際の主な移動手段もご回答ください。

(1) 移動時間	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="width: 30px; height: 20px;"></td> </tr> </table>				分くらい ※整数でご記入ください。
(2) 主な移動手段 (1つだけ○印)	1. 徒歩	2. 自転車	3. バス		
	4. 電車	5. 車(自分で運転)	6. 車(自分以外が運転)		
	7. その他の手段( )				

→ 回答後、問 49 へ

問47 《問45で「2. できない」と回答した方のみ》

ご自身で通えない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 身体上の理由で外出が困難なため 2. 体力面に不安があるため 3. バス・電車などの乗り降りが困難なため 4. 付き添ってくれる人がいないため 5. 移動手段がないため 6. その他 ( )
---

問48 《問45で「2. できない」と回答した方のみ》

どのような支援があれば通えると思いますか。(複数回答可)

1. 自宅の玄関から外出先までの送迎支援 2. 集合場所から外出先までの送迎支援 3. 外出先までの付き添い 4. その他 ( )
--

介護保険制度など全体について、おたずねします。

問49 健康や福祉、介護のことなどで困ったときは、どちらに相談していますか。  
(特にあてはまるもの5つまで○印可)

1. 家族や親戚
2. 友人・知人や近所の人
3. 民生委員
4. 市役所・地区福祉窓口・CSW
5. いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)
6. 介護サービス事業所
7. 老人福祉センター
8. 地域の縁側
9. 病院・診療所
10. 薬局・薬剤師
11. どこに相談にいったらよいかわからない
12. その他 ( )
13. 特に困ったことはない

※CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活圏の環境整備や住民のネットワーク化といった地域支援を行う者です。

問50 市内18カ所に設置している「いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)」をご存じですか。(1つだけ○印)

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない →問 52 へ
3. 知らない(今回の調査で知った) →問 53 へ

問51 《問50で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ》  
利用した結果に満足しましたか。(1つだけ○印)

- |            |          |              |
|------------|----------|--------------|
| 1. 満足している  | 2. まあ満足  | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 不満である |              |

→ 回答後、問 52 へ

問52 《問50で「1. 知っていて、利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」のいずれかに回答した方のみ》  
「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」を何で知りましたか。（複数回答可）

1. 市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ
2. 市の広報・ホームページ
3. 市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット
4. 民生委員からの紹介
5. 知人・友人や近所の人からの紹介
6. 介護サービス事業所
7. その他( )

問53 今後、増加が予想される認知症の方への取り組みとして、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。（複数回答可）

1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取組
6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実
7. 認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり
8. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実
10. その他( )
11. わからない

問54 あなた本人の人生最期のとき（終活）について、次のようなことをご家族と話をしていますか。（複数回答可）

1. 医療や看取りについて
2. 財産や相続について
3. 葬儀・お墓について
4. その他( )
5. 話をしていない

問55 あなた本人が人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいですか。  
(1つだけ○印)

<p>1. 最期まで自宅で過ごしたい</p> <p>2. 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい</p> <p>3. 医療機関に入院したい</p> <p>4. 老人ホームなどの施設に入所したい</p> <p>5. その他( )</p> <p>6. わからない</p>
--

問56 本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---

ありがとうございました。質問は以上で終わりです。  
2月5日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、ポストにご投函ください。





# 介護保険サービス利用状況調査報告書

発行：令和2年3月

藤沢市 福祉健康部介護保険課  
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1  
TEL：0466(25)1111（代表）